



ADI(国際アシスタンス・ドッグ協会)国際認定&元理事/NPO 法人グランプリ受賞//英国聴導犬協会アンジェート



(福)日本聴導犬協会新聞
長野県上伊那郡田村7030-1

発行人：有馬もと
編集：MAYUMI・矢澤昌子
村澤久美子・佐藤菜月
杉本雅子・増田千江子

発行：年2回

購読料：定価 200円

©(福)日本聴導犬協会
無断転載コピー厳禁

厚生労働省 関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 寄附控除および税額控除対象法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会新聞

当事者と共に実現する「障がい者福祉」と「動物福祉」を使命とし

「人と動物が共存できるまちづくり」をめざす

Tel: 02665-85-4615&5290 Fax 専用: 02665-85-5088 <http://www.hearingdog.or.jp>

2012年3 Big! ニュース・Big! I: 高円宮妃殿下が聴導犬をご高覧

高円宮邸にて、「聴導犬講座」をさせていただきました。高円宮妃殿下(前列中央)と承子女王殿下(前列右から2番目)に、聴導犬あきちやんとだいたすけ君のデモンストラーションもご高覧いただきました。ボランティアI様のご高配の賜物です。「全日本聴導犬ユーズーの会」の會長岸本宗也様と聴導犬しん君も大阪から参加。ユーズー体験もお伝えでき、感動のいっぱいでした。聴導犬はもっとも認知度の低い補助犬です。高円宮妃殿下にお言葉を賜りましたことは、聴導犬普及にとって大きな足跡となりました。深く感謝申し上げます。



Big! II. 三菱財団助成事業



▲聴導犬はわかるわがり冊子(無料配布) ▲聴導犬はわかるわがりDVD(定価500円)

▲高円宮妃殿下と、だいたすけ君。光栄です

「当事者(聴導犬ユーズー)による当事者(ユーズー希望者)のため」の冊子とDVDを『全日本聴導犬ユーズーの会』の協力を得て作成できました。三菱財団の助成事業として「当事者(聴導犬ユーズー)による当事者(ユーズー希望者)のため」の「聴導犬まるわかり冊子」(無料)と、「聴導犬はわかるわがりDVD Part2ユーズー編」(定価500円)が制作できました。今回は、たくさんのユーズーが登場してくれました。ご希望の方は送料(300円)で、お送りできます。詳しくは3ページに

Big! III. 日本初のADI 国際認定(更新)試験合格!

2006年、日本で初めて(世界22番目)にADI(現在、世界179団体加盟)の国際認定試験に合格。当時の試験官として、米国最大の聴導犬協会からRobin Dickson 会長を招日しての受験でした。今回は5年ごとの更新試験です。前回より厳密と聞いていただけに、緊張しました。ユーズー3名。ボランティア2名。役員2名。スタッフも面接を受けました。訓練能力も、電車乗車や買い物など実地でチェック。事務処理や総合力を審査されました。ご支援くださいますみなさまの応援と協会全員の努力で見事合格。認定証を、ADI(スペイン・バルセロナ)総会でスタッフ矢澤が授与頂きました。



▲ADI 会長と認定証授与記念撮影

おかげさまで2011年度も、つつがなく運営ができました 「寄付控除」「相続税優遇」に加え、「税額控除」対象団体になりました

厚生労働省関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会 会長 有馬もと



CW ニコル氏と地ビール称賛?

ご支援者のみなさまに感謝の言葉もありません。2011年度は、前年度と同様のご支援を賜り、つつがなく運営ができました。あらためて御礼を申し上げます。

2011年の震災後(それは当然なことなのですが)ご寄付が大幅に減りました。3月中旬から4月にかけてはほとんどゼロに近い状況でした。誰もが予想できなかつた被災。(福)日本聴導犬協会では、2011年度は創設15周年目であり、聴導犬貸与数の飛躍的な増加のために候補犬の頭数を増加したばかりでした。

未来が見えない状態となりました。そんな中でも、どなたもが行動されたように「微力でも、できることはさせていただきます」と、お手伝いになったかどうかかわかりませんが、被災地にスタッフがボランティアで教回、行かせていただけました。また、数年前にご依頼をいただいていたので台湾の聴導犬第一号の認定など ADI(国際アシスタントドッグ協会)関連での国際協力を行わせていただきました。年末は「日本初(2005年)で合格した ADI 国際認定試験の更新試験」を特別に1年延期していただき、その準備に追われました。(※この ADI 国際認定試験では準備段階で、日本 GE 様の翻訳ボランティアの方々のお力添えをいただきました、たいへん助かりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます)

予想される資金不足。今後の運営の不安定さを感じながらも「社会で必要とされている事業は、必ず支援される」と

いう、英国聴導犬協会で学んだ金言を信じて数カ月を忙しく過ごしました。不思議なのは、毎年100回以上の講演会依頼をいただいておりますが、被災後の数カ月間にご依頼はほとんどなかったにもかかわらず、全体で130回という多くの講演回数となりました。デモの内容も被災後に変化しました。たとえば、窓越しに姿が見えているにもかかわらず「避難」を伝えにくい聴覚障がいの方々にとつて、聴導犬が教える(壁であるろうと、ドアであるろうと)ノックによる呼び掛けは、命を守る役割に直結します。聴導犬の「リスク(危機時の)・コミュニケーション(意思の伝達役)」の働きを強調する講演会へと変わっていきましました。この聴導犬の「リスク・コミュニケーション」の役割を全うするためにも、ユーザーのアフターケアとしての環境整備に、さらに力を入れております。活躍する各地での聴導犬への理解と、あたたかみな支援の必要性をお伝えするたびに、あらためて多くの方々から応援をいただける幸せをかみしめる2012年です。

◆厚生労働省より「税額控除」適用団体の証明(2012年4月付け)を受けました(詳しくは14P)みなさまにご報告がございます。

2003年に社会福祉法人となり「所得控除」団体になりました。2012年4月から「税額控除」適用団体として証明を受けることができました。ご支援者のみなさまには「所得控除」か「税額控除」のいずれか一方を選んでいただきます。ご寄付を頂戴いたしましたみなさまには、領収書に控除の仔細について記入されており、そのまま税務署にお持ちいただけます。



▲草刈りの業務中!

ご支援のお願い

日頃より、(福)日本聴導犬協会の使命と活動にご理解いただき、あたたかなご支援をくださいます全国の皆様、心よりお礼を申し上げます。昨今の社会事情を考えますと、このようなお願いをさせていただきますが、活動資金の激減があり、聴覚に障がいのある方に聴導犬を、肢体障がいのある方に「介助犬を無料で貸与する「障がい者福祉」と、捨てられない犬から候補犬を選び、聴導犬・介助犬を育成をする「動物福祉」の推進が、厳しい状況となっております。恐縮でございますが、改めまして(福)日本聴導犬協会へのご支援をお願い申し上げます。

所、聴導犬こころアフターケア、ADTI国際認定試験官カナダから来日、ADTI国際認定試験(二日間)、兵庫県補助犬ユーザー審査会に有馬出席、駒ヶ根ふれあい広場打合せ、NCAにて講師、デブ・ライブジャパン「新家族、ハローもん太」取材、アズビルCS担当来所、候補犬こころ赤坂動物病院にて健康診断、尾張旭七色来所、候補犬きもち避妊手術、パピークラス&ピロロククラブ「北陸井沢旅行」、NHK「サラメシ」取材、聴導犬「かる」候補犬ふじ赤坂動物病院にて健診、長野県教育委員「南信教育事務所長」来所、『学院』活動：長野県動物愛護センター「ローアニマル」施設見学、講義「動物福祉」について

JAM甲信五二名ボランティア活動&パピークラス、北海道聴導犬ユーザー候補者の環境整備、聴導犬こころユーザーアフターケア、駒ヶ根フライングハイソにて訪問犬活動、協会修繕ボランティアご来所、厚生労働省補助犬検討会に有馬・MAAYUMI出席、協会車三台メンテナンス、生ゴミ処理機調整、聴導犬ユーザー希望者訓練体験、『学院』活動：講義「エリザベス、オリバー」動物保護活動の現状」・ARK研修 ●五月、草刈りボランティアご来所、協会施設レベーター点検、候補犬らんちゃん健診、ユーザー希望者自宅訪問、ユーザー協会にてトリミング講習受講、第一土曜日「無料しつけ教室」、「新家族」希望者宅訪問、協会修繕ボランティアご来所、NCAにて講師、ユーザーアフターケア、赤穂中学校職場体験打合せ、駒ヶ根祥風訪問犬活動、兵庫県動物愛護センター淡路支所にて候補犬アセス、宮田中学校職場体験、OCCAにて有馬講師、NCAにて講師、愛知県の大学へ有馬MAAYUMI訪問、アブライ・ネットワークご来所、ユーザー自宅ケア、ユーザー八王子事務所にてトリミング講習、駒ヶ根市赤穂中学校職場体験受入れ、伊那小学校犬のしつけクラブ①、愛犬しつけ個人カウンセリング、理事会、評議員会、江の島にてパピークラス、飯島中学校職場体験、『学院』活動：講義「荻原真理」パソコンの機能、「前野弘美」盲導犬ユーザーとして、「岸本宗也」聴導犬ユーザーとして ●六月、飯島中学校職場体験受入れ、第一土曜日「無料しつけ教室」、協会修繕ボランティアご来所、聴導犬まつ赤坂動物病院にて健康診断&ユーザーアフターケア、聴導犬こころアフターケア、ADTI国際認定試験官カナダから来日、ADTI国際認定試験(二日間)、兵庫県補助犬ユーザー審査会に有馬出席、駒ヶ根ふれあい広場打合せ、NCAにて講師、デブ・ライブジャパン「新家族、ハローもん太」取材、アズビルCS担当来所、候補犬こころ赤坂動物病院にて健康診断、尾張旭七色来所、候補犬きもち避妊手術、パピークラス&ピロロククラブ「北陸井沢旅行」、NHK「サラメシ」取材、聴導犬「かる」候補犬ふじ赤坂動物病院にて健診、長野県教育委員「南信教育事務所長」来所、『学院』活動：長野県動物愛護センター「ローアニマル」施設見学、講義「動物福祉」について

三菱財団助成事業として『全日本聴導犬ユーザーの会』が協力

〔福〕日本聴導犬協会著作制作の

「当事者のための当事者による」

「聴導犬がまるわかり冊子」と『はやわわわりDVD』

ができました。

アメリカの聴導犬

ユーザーである Jill が「聴導

犬と暮らせること

は人生でもっとも

幸せ」と述べたよ

うに、私たちユー

ザーは聴導犬

との生活で、多く

のすばらしい出会いや、人生が変わるほどのエネルギーをも

らえました。聴導犬は「犬」ですが、私たちにとってはかけが

えない家族であり伴侶です。

私たちも体験してほしいと心から願っています。

私たちが得た幸福な出会いを、同じ聴覚障がいのある

方々にも体験してほしいと心から願っています。

最後に、ご助成をいただいた三菱財団とこのようなユー

ザー中心の冊子とDVDを企画し著作制作した〔福〕日本聴

導犬協会に心から感謝を申し上げます。

聴導犬を知るための

① 「まるわかり冊子」無料・送料 300 円

② 「はやわわわりDVD」定価 500 円・送料 300 円

① と②を同時にご希望の方は恐れ入りますが、送

料 400 円となります。よろしくお願いたします。

担当：①「冊子希望」または②「DVD 希望」か③「冊子と

DVD 希望」と明記の上、inf@hearingdog.or.jp か、

Fax:0265-85-5088 にて、担当：杉本までお申し込みく

ださい。郵便振込 口座番号:00570-0-80538

にご入金をいただければ、お送りさせていただきます。

『全日本聴導犬ユーザーの会』は 2002 年に、聴導犬

ユーザーの総合力により当事者（聴導犬ユーザー）が自

分たちで聴導犬と暮らすための環境改善や支援を主張

するために創設されました。2010 年からは〔福〕日本聴

導犬協会内に事務局を置き、ホームページの開設や相

談窓口も設けています。聴導犬希望者のために当会員

（聴導犬ユーザー）が

当事者同士の気持ち

や経験で、面接や相

談にも関わっています。

日本にわがわが 40 頭

前後しかいない聴導

犬です。日本より1年

遅れてスタートした英

国には、1500 頭以上

が活躍しています。

▲全国ろうあ者大会にて

日本でもっとも聴導犬が活躍するためには、当事

者（聴導犬ユーザー）による当事者（希望者）のための

わかりやすい解説が必要と考えました。

三菱財団の助成事業として、〔福〕日本聴導犬協会が著

作制作する冊子と DVD への協力をさせていただきます



〔福〕日本聴導犬協会 活動報告

二〇二二年一月～六月（敬称略）

●一月、仕事始め、早太郎参り、第一土曜日「無料しつけ教室」、聴導犬ユーザー希望者宅訪問、グラントアークス新年食事に、会長有馬お招き、「新・家族」ひさアタケア、兵庫県動物愛護センター訪問、候補犬「あい」ユーザー候補自宅訓練、大阪コミニシケイアート専門学校（以下OCA）にて有馬講師、訪問犬活動先フラワー・イツ打合せ、日本発案寄付金贈呈（来所、名古屋コミニシケイアート専門学校（以下NCA）にて講師、J.A.上伊那那らのご担当者、来所、フラワー・イツにて訪問犬活動、大六本木にてパピークラス、雪かきボランティア（来所、日本聴導犬・介助犬訓練士学院（以下、学院）第三期生松本にて実技試験、講義・榎沼美紀先生「脳の発達」動物介在療法」「飼主のタイプ分け」、宮田中学生会二名施設見学 ●二月、第一土曜日「無料しつけ教室」、NCAにて講師、長野県青年経営者会出席、伊那那路・木曾路広城観光課推進懇談会出席、聴導犬「まつ」琉球新物病院にて健診、候補犬「らん」こうじ赤坂動物病院にて健診、候補犬「あい」こんユーザー候補者認定試験前滞任訓練、認定犬ユーザー候補者「訓練体験」こ来所、J.A.甲印打合せ、日本獣医生命科学大学より三名研修受け入れ（三週間）、ARKにて見学、八王子駅にてパピークラス＆募金活動日本GEボランティア参加、小林会計事務所よりご担当者へ来所打合せ、OCAにて有馬講師、諏訪植木植栽こ来所、日本聴導犬・介助犬訓練士学院（以下学院）活動・第三期生卒業式＆第四期生入学式、研修・国立障害者リハビリテーションセンター学院「介助犬・聴導犬訓練者研修」、同研修会と有馬もと講師、卒業生ボランティアこ来所 ●三月、平和の文化と女性展に有馬出席、第一土曜日「無料しつけ教室」、スワック施設整備、候補犬「そん」赤坂動物病院健康診断、「新・家族」希望者お見合い、面接、NCA講師会に出席、プロミス三名視察こ来所、日本GE訪問、パピークラス、候補犬ユーザー希望者、来所、宮田中学校職場体験打合せ、訪問犬「祥風」打合せ、候補犬「ころ」譲渡、第十七回 Poo Dog スクール①、理事会、評議員会、聴導犬「こん」ユーザーアタケア、川口RC表敬訪問、OCAにて高校生向け授業講師、聴導犬「あい」アタケア、学院」活動・講義・榎重直（医師）「身体構造と機能」、榎橋聰子（医師）「聴覚障害」、研修「愛知県動物保護管理センター」候補犬アセス ●四月、第一土曜日「無料しつけ教室」、Poo Dog スクール②③④⑤、地域狂犬病予防接種会場にて、ナール向上のチラシ配布、聴導犬「まつ」、「あい」アタケア、「学院」活動・補助犬ユーザー・宝田芳江「聴導犬ユーザーとしての体験」と和田隆正「自身の障がいと介助犬」「介助犬訓練の実演」、

聴導犬ユーザー 桑野 仁美

ADI 再認定試験と三菱財団助成事業に

関わられた 嬉しさ

聴導犬くん ユーザー 桑野仁美
ADI 国際アシタンスドック協会が実施する補助犬育成団体への国際認定試験の更新試験に合格おめでとうございます。



私は2012年2月に補助犬認定試験を聴導犬くんちゃんと一緒に受け、合格したあとも自宅内や周辺にて音の訓練や歩行訓練を続けております。今回のADIの更新試験に参加させていただき、事前訓練として普段の歩行を協会スタッフの方にみていただきました。その際、ゆっくり歩いて、くんちゃんが前に出ないように意識して一つ一つの動作を丁寧に指導を受けました。ユーザー自身では気づきにくく、日頃の慣れでやってしまうことも、修正できるアフターケアの大切さを実感いたしました。

また今回、三菱財団の助成のもと作成された聴導犬普及DVD、本についても関わられました。日常生活の中でもさまざまに聴導犬について聞かれます。個人的に説明するだけでなく、DVDや本のようなく、より多くの方に聴導犬の存在を知っていただける媒体により、聴導犬への理解を深めていただけると期待しております。最後までありがとうございました。

▲お母さん、洗濯機が止まったよ！

最後になりましたが、



ADI 更新試験、聴導犬普及媒体作成という貴重な体験にわずかかといえども参加させていただけたいことを、うれしく思います。ありがとうございました。

妻を支える、頼もしいくんちゃん

ユーザー家族 桑野 剛

聴導犬のくんちゃんに来てから、妻は自信を取り戻しました。

突然、聴力を失った直後は外出が思うようには出来ませんでした。今では電車に乗ることもできるようになりました。生活の中で発生する様々な音に気づくことができず落ち込む日々が続いていましたが、くんちゃんが知らせてくれるようになって、以前のように生活を楽しむようになりました。 ▲ねえ、タイマーがなっているよ



全身を使って嬉しそうにタッチして知らせてくれるくんちゃんは愛らしく頼もしい存在です。くんちゃんは補助犬というだけでなく、我が家にとっては大切な家族です。

聴導犬希望者を募集中です！！

FAX:0265-85-5088 メール:inf@hearingdog.or.jp

TEL:0265-85-4615 HP:www.hearingdog.or.jp

- 「聴導犬は『幸せ招き犬』。家の中が元気に、いきいきになりました」
- 「聴導犬まつ君との生活は、感謝と安心感でいっぱいです」
- 「聴覚障がいまでも受け入れてくれるもりちゃん、私の伴侶です」

(一緒に生活をされている聴導犬ユーザーの声より)



聴導犬・介助犬訓練士養成で国際基準を目指す「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」

スタッフ 佐橋 菜月 (学院第1期 卒業生)

日本聴導犬・介助犬訓練士学院の第1期生として卒業をし、協会スタッフとして働かせていただき、もうすぐ2年が経とうとしております。学院生として勉強をさせていただいていた時から、先輩スタッフ、ボランティアさん、ユーズーさんに支えられて今があります。学院生の時と異なるのは、ご支援をしてくださいます皆様、企業の方々とも関わらせていただき、多くの事を学ばせて頂いております。

2012年第4期生を迎え、毎日が賑やかで明るい声が絶えない日々が続いております。それぞれが経歴も出身地も異なり、初めは皆さん緊張をされておりましたが、お互いに協力をしあい、助け合いながら生活しています。だんだんと表情も凛々しくなれ頑張っておられます。

学院にお問い合わせを頂く方から、「訓練の経験がない”犬と生活をすることがないけれど、入学が出来ますか？”とよくご質問を頂きます。これまでの学院生の中にも訓練の経験がなかったり、犬との生活が初めてという方もおられました。学院に入学してから、犬の扱いなご副学院長の有馬、訓練主任の矢澤からは勿論、協会の候補犬達からも多くの事を学ぶことが出来ます。



また、手話が出来ないとい不安に思われている方もいらっしゃいます。私も手話を学びたい気持ちにはございましたが、学院に入学するまできちんと手話を学んだことはございませんでした。ですが、協

会スタッフで聴導犬ユーズーである村澤から毎日の会話の中で手話を教えていただき、協会のユーズーさん達とお話をさせていて頂く中で覚えていくことができます。まだまだ勉強不足ですが、ユーズーさんにお会いするたびに、手話が上達したね。と声をかけていただけのようになりました。

他にも、少人数の学院生のために日本を代表する先生方が協会にお出ましくださり、幅広い分野を学ぶことが出来ます。講義だけでなく、ユーズーさんやイベント



会場でお声をかけてくださる方からもたくさんのお話を頂ける事が出来ます。

▲司会をした第4期生入学式

ユーズーさん、ボランティアさん、協会犬達の笑顔から多くの力をもらい、困ったことがあれば協会スタッフにお声をかけていただき、学院生活の中で一つずつ自分のものとしていくことを増やしていったらと思います。

入学をすると慣れないことや初めての事ばかりで、戸惑う事も多いかと思いますが、得るものは多いです。訓練士学院にご興味のある方は、構えず気軽にお問い合わせをいただけたら幸いです。

(福)日本聴導犬協会附属「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」第4期生



【 24時間、協会犬と過せる貴重さ 】
小島舞美(愛知県から)

スタッフさんの指導のもと、礼儀やマナーは勿論、デモ同行やユーズーの方とお話しさせていただく機会もあり、24時間協会犬達と過ごす毎日、本当に貴重だと感じています。

初めて経験することも多く、不安や緊張を感じることもありますが、一日を大切に日々成長できるような精進していきたいと思っています。

▼そん君 トリミング中



【 実践的で充実した毎日 】
岡田 彩子(北海道旭川から)

初めて習う手話に苦戦しながら早くも3カ月。徐々に会話ができるようになってきました。障がいのある方の立場になって車いす生活をしたり、協会犬の訓練をしたりと、学ぶことがたくさんあります。そして、学院は協会と一緒に施設なので、実践的で充実した毎日を送っています。

【 訓練犬の成長に、嬉しさややりがい 】
伊藤 里英(岐阜県から)

協会に来て、早半年。学院生としては4ヶ月の月日が経ちました。協会では歩行訓練、音の訓練、介助動作、車イスでの訓練などをしております。

日々の訓練では、犬たちが聴導犬動作や介助犬動作ができるようになっていく嬉しさややりがいも感じております。これからもこのような充実した日々を送っていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



あさひちゃん
耳掃除

【 訓練犬と共に、自分の成長も感じる 】

奥嶋 千夏(九州大分から)

入学して3ヶ月が過ぎました。学院では訓練だけではなく、手話や礼儀を学ぶことができ毎日充実しております。

さらに県外でのデモ同行など貴重な経験をさせて頂いております。訓練犬と共に自分の成長も感じる事ができるこの学院で、今後も精進して参ります。



▼じん君、
歯みがき中



新・家族通信

「そのままでもいいよ！ Good dog せん！！」北原 敦

早いもので、せんが北原家の一員になって3年が経ちました。我が家は、4人家族です。住まいは日本聴導犬協会がある宮田村にあります。今まで、犬を飼ったことがない我が家にとって、協会は近くて遠い存在でした。

夢にも思わなかった犬との生活は、走ることが日課だったお父さんが体調を崩し、運動が制限されたこと、前々から犬を飼うことを熱望していた娘と息子の「お父さん、犬と散歩すればいいじゃん！」の一言がきっかけでした。とは言っても、犬を飼うということは、一つの命を預かることで生半可な気持ちでは許されません。何度か家族会議を行い、家庭犬を求めて協会の訪ねました。

さて、お見合い当日は、協会スタッフの皆さんが言うとおおり、小さい頃の兄弟犬からのいじめが原因で臆病でおとなしく、遠くでこちらを見ているだけのせん。部屋の隅にいて、最後までそばに寄ってはくれませんでした。



大好きなお兄ちゃん

でも、我が家はせんと暮らすことを決めました。それは、協会をあとにする私たちを怒越しにいつまでも、いつまでも見ている、一匹の犬がいました。その犬がせんでした。子供たちが言いました。「せんちゃんだけが見送ってくれたね」。その時、何も言わなくても家族みんなの気持ちはいっしょでした。

それから、3年、脱走すること5回以上。当初の捜索では、協会スタッフの応援を受けたり、傷だらけになったせんが協会の玄関で保護されたこともありましたが、最近はお父さんが、私が家に戻ってきました。毎朝、お父さんと2キロの散歩、休みの日は一番大好きなお母さんに甘えお昼寝、お姉ちゃんに甘えおなかを見せて、お兄ちゃんがお父さんに怒られると「クワンクワン」と鳴いて仲裁に入ります。せんのおかけで我が家は笑いが絶えません。



我が家は5人家族になりました。せんは立派な我が家の一員です。当然、表札の一番下段に「北原せん」って書いてありますよ。でも、今、本当にせんが幸せかはわかりませんが、「我が家が幸せ」なら「せんも幸せ」なんじゃないかと勝手に思っています。色々あったかもしれないけど、「そのままでもいいよ！ good dog せん！」これが我が家の合言葉です。せんは、今日も、クワンクワン鳴いて尻尾を振り家族の帰りを待っています。最後に感謝する共にも、多くの皆さんに聴導犬を知ってもらい素晴らしい協会になることを願っています。そして、宮田村民として協会のいつまでも応援しつづけていたいと思います。←「せんちゃんを慈しんでくださって、心からありがとうございます」協会スタッフ。

補助犬よりも、家庭犬向きの子たちの“新・家族”募集中！



みちくん(♂)
Mix H22.12生 16Kg
大きな耳と尻尾が特徴の子です。初めは人や音に吹えりまわりますが、ごほうびをもらったら、時間が経つと慣れくれます。一緒に遊んでくれます。



きちちゃん(♀)
セッターMix H23.5生 16Kg
種馬からの被産地犬です。とても元気で甘えん坊な女の子です。甘えん坊ですが、初めての人がとても苦手です。来客時に吠えてしまいがち。吠えの頻いならぬに家庭向きです。車酔いがありますので、お家で一緒にゆっくり過ごすことがお好きな子です。



すずくん(♂)
川上Mix H21.5生 14Kg
遊び好きな、どっつても愛らしい子です。人や犬で好きです。タイプが限られます。子犬時代は幅広く友好的でしたが、日本犬特有の氣質が強く出ましました。初対面は吠えますが、結構、気は良い子です。

🐾 ペット犬をお探しのご家庭に！ 補助犬にならないことを選んだ子たち。欠点のある子の、その欠点までも愛情で包み込んでくださる「新しいご家族」＝ “新・家族” を募集しています。

★新・家族のプロセス

- 第1次審査: 申込書記入
- ↓
- 第2次審査: 面接およびご家庭訪問
- ↓
- 第3次審査: ご家族と犬とのお見合い
- ↓
- 第4次審査: 1ヶ月のマッチング期間
- ↓
- 最終審査: ご家族と犬の“しあわせ度”チェック

★主な条件

- ① 家の中で一緒に生活してくださる方
- ② 犬を一人きりにする時間がない方
- ③ 愛情をもって一生懸命に暮らせる方
- ④ 小協会発行の新家族通函に手紙を送って下さる方
- ⑤ 時間の合う時に、協会のイベントに犬と一緒に参加して下さる方
- ⑥ これまでにかかった去勢、避妊手術代や、ワクチン代などの費用の一部として5万円以上のご負担をお願いします等。



聴導犬・介助犬になる子犬たちの育て親さんたちのハッピートーク



世話をした子が、いつか、だれかの助けになる 高野 楽子

私が聴導犬協会と知り合ったのは、かれこれ10年ほど前 TBS 系列「愛の劇場」シリーズの「すずがくれた音」というドラマに出演していた時でした。それは、聴導犬候補犬を育てるボランティアの物語でした。その時現場に協会の方が毎日、何頭かのワンコを連れていらつしやいました。撮影は1頭なのですが、兄弟の、見た目はそっくりのワンコ。これが、それぞれ性格が全く違い、どんなときでも平気でだれにでもなつく子と、「本番！」の声がかかりスタジオに緊張感が走ると、とたんにブルブル震える子もいたりして、「エッ！犬ってこんなにそれぞれ違って繊細なんだあー」と驚き、また興味をもちました。

また、その時デモンストレーションを見せて頂き協会の方々の熱心な態度、犬とのコミュニケーション、心の通わせ方、それと、なんといつても犬のけげなき、かじこさを見て「あー時間が出来たらこのボランティアやってみたいなあ」と。

それから、10年ちかいた時間がたちようやくソーシャライザーを始め1年がたちます。子供のところは家にいつもだいたい犬がいたのですが兄や弟が面倒を見ていて、私は犬じゃ



▲すみちやん&高野パパ
「仲良くお昼寝中？」

ないかー」とほかのニワトリやねこなんかと同じぐらいに

しかおもって関心がありませんでした。

ところが始めてみたらびっくり。自分がこんなに犬好きだったとはー。よく犬に話しかけている人を見て「わかるわけないじゃない」と心の中で笑っていたのにサテ自分が飼いはじめると、まるで小さいわがが子のように話しかけてるではないか！それも声まで裏返り幼児語で「どうちたの？」「ヨチヨチ」「あーんさびしかったの？」なんて。ああーこれじやいかん！この子たちは愛玩犬ではない、将来ある身なんだ。もつと普通に接しなければ。

でもだんだん慣れてきて3頭目ぐらいからようやく平常心？で接するようになり今は5頭目。もつともすみちやんとせいちやんは2回目ずつですが、散歩の時など「この子は聴導犬になるかもしれないんですよ。でも元気すぎるからちよつと無理かな？なにしろ聴導犬になれるのは600頭に1頭ぐらいなんですよ」と宣伝したり説明したり。なにしろ聴導犬は盲導犬や警察犬と違って犬の職業？としてはちよつとマナー。

でも、いつか、私が世話をした子がだれかの助けになれるかと希望と期待と喜びをかんじてます。またそれ以上に日々のかかわいさ、面白さを実感しています。1頭1頭の性格の違いなど、これは1頭を自分の愛玩犬として飼うより数段面白いのではないかと。最初は5頭ぐらいはがんばらうと思いましたが、まだまだ続きそうです。なんとたつて、みんなかわい

長野&東京、関西方面の方も募集中です！ 候補犬を育ててくださるソーシャライザー

◆ソーシャライザーへのプロセ

書類の記入と家族との面談
田・八王子・芦屋のいずれかより自宅
手ダク↓決定

※フード代、定期的な医療費は協会負担ですが、①のピーククラスの旅費は、自己負担になります。

⑤ 叱らない、たたかないを實踐できる、愛情深い家庭

④ 室内で、愛情深く育ててくださる家庭

③ ご家族構成は、問いません

② 留守がちでない家庭。子犬を一人きりにする時間が少ない家庭

① 月一度のピーククラスに、本部（長野県宮田村）か、事務所（東京都八王子、または、兵庫県芦屋）のいずれかまで子犬とお勉強に来られる方

◆条件：

（福）日本聴導犬協会のほとんどの候補犬は、もとは捨て犬。将来、聴導犬や介助犬の候補となる（子）たちを愛情豊かに育ててくださる、ソーシャライザー（ボランティア）さんを募集しております。1頭の子犬の預かり期間は2-4ヶ月間ですが、何回も継続できるご家庭が理想的です。

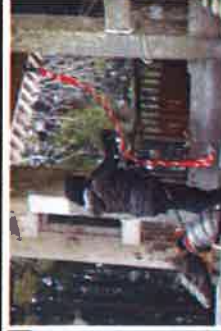




2012年前期も、たくさんのおみなさまのご支援に支えられています



ポラテンアイアさんと
からのおのしめ縄
手作りしました。



▲光前寺にて、
協会犬と初詣



▲川口RC様、聴導犬コミュニティと



日本アシスタントドッグ
支援協会 藤井先生、
聴導犬あいユーザさんと



今日もデモは絶好調!!!
会長有馬&だいきすけペア。



▲スタッフ村澤の母校、
松本ろう学校高等部様ご来所デモ



とっつても幸せ。
▼新・家族犬!3組



▲こまちゃん江の島にて



ぎすなちゃん
北野市川にて



プロミス様寄付金贈呈



JAM 甲信様 52名と一緒に記念撮影



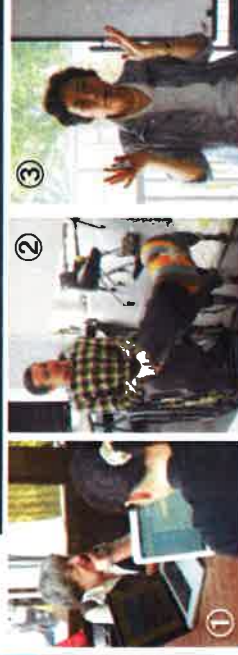
まゆちゃん
協会ご来所



ちよつと一休み



▲宮田村さくら祭にて、村長様と



学院講師:

- ①「動物福祉について」エリザベス・オパー先生
- ②「介助犬ユーザーとして」和田隆正先生&介助犬グリフ
- ③「作業療法と介助犬」原和子先生



1人欠席の4期生入学式
みんな緊張してるね!
(だいきすけ)



新潟県志田議員ご来所



普通救命講習も
大事な授業の1つ!



わんです



3期生卒業式
卒業おめでとう!!



前野弘美先生&
盲導犬クール



南信教育事務所長様ご来所デモ



やさしさをいただけの光栄と感謝。



日本 GE Family Day にて



君ご家族ご来所 →



取得の研修 単位の研習 犬生会協歩 犬医さんとの研習 犬生会協歩 犬医さんとの研習



君ご家族ご来所 →



日本発条様 寄付金贈呈



ソーシャライザー1様のご案内で素敵な江の島パベークラスII



候補犬社会化で、ご来所者も笑顔



舞阪地区民生児童協議会様と



NCAにて 講義



第一土曜日しつけ教室 駒ヶ根「杜」の市川にて



▲パプシコーラ様から協会支援自販機が出来ました!!第1号聴導犬自販機は日本 GE 様において頂けました。皆様、設置場所のご協力をお願い申し上げます。



豊田ネッサンス LC 様と 長野電力総連にてデモ (学院生同行)



SBC ラジオにて 中澤佳子アナと



デモだけじゃなく、事務仕事もが んばってます☆ あき▼



信州大学 医学部にて 会長有馬、講師



北軽井沢旅行。最後は、お玉リレー 走れ!走れ! みんな、がんばれ~



経理報告：2011年度収入は55,751,780円となります。心からお礼申し上げます

「今後の運営が危ぶまれるのではないかと、不安な2011年を過ごしました。その危惧も、講演会数130（ご来所のバス研修ツアー26件含）回など、補助犬へのご関心は昨年以上に高くなっていくことに安んじを覚えました。みなさまのお力添えの賜物で、2011年度の総収入額は、75,300,861円。そのうち経理区分間繰入金収入（協会内事業間での経理移動）19,549,073円がありますので、実収入は55,751,780円となります。運営が立ちいかなくなっている団体もある時勢を考えると、至らない(福)日本聴導犬協会へのこれほどたくさんの方の応援に、感謝の言葉もあります。ありがとうございます。

2012年度は、ユーザー希望者として北海道、沖縄の方の訓練開始に加え、お問合わせを新潟、神奈川などの方からお受けしています。聴導犬の「命を守る」働き。危機の時に、ユーザーの障がいや報告を代弁者（リスクコミュニケーション）の役割をもっと普及し、理解とニーズを高めたい所存です。また、2002年から訓練を開始した小型の介助犬育成では、ユーザー・ブリーダー・リトリバーとスタンダード・プードルのミックス：毛が抜けないの譲渡を始め「暮らしやすい介助犬」の訓練にさらに力を入れております。ADI国際認定試験に合格した、高い訓練理論とノウハウをもとに、ユーザーさんにとって「ハッピーな暮らし」と心をささえる伴侶育成に、今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。また、後進育成にも力を入れ、日本聴導犬・介助犬訓練士学院には、大分、旭川市、岐阜、愛知県からの入学生が、日々、講義の受講とレポート提出、訓練に励んでおります。



▲協会犬用無農薬キウイ

● 2011年度収支会計報告

(2011年4月1日～2012年3月31日 単位:円)

	社会福祉事業	公益事業	合計
補助犬認定事業収入	200,000	0	200,000
経常経費補助金収入	1,500,000	0	1,500,000
公益事業収入	0	5,713,332	5,713,332
寄附金収入	32,825,913	376,834	33,202,747
施設整備等補助金収入	0	0	0
施設整備等寄附金収入	6,621,535	0	6,621,535
雑収入	3,309,842	275,011	3,584,853
借入金利息補助金収入	0	0	0
受取利息配当金収入	7,026	1,295	8,321
会計単位間繰入金収入	821,000	0	821,000
経理区分間繰入金収入	19,549,073	0	19,549,073
積立預金取崩収入	4,100,000	0	4,100,000
収入計	68,934,389	6,366,472	75,300,861
人件費	13,363,091	1,796,263	15,159,354
事務費	12,964,660	2,654,119	15,618,779
事業費	5,699,525	2,723,775	8,423,300
借入金利息支出	0	0	0
経理区分間繰入金支出	19,549,073	0	19,549,073
会計単位間繰入金支出	0	821,000	821,000
固定資産取得支出	3,839,600	0	3,839,600
積立預金積立支出	10,721,535	0	10,721,535
支出計	66,137,484	7,995,157	74,132,641
当期資金収支差額合計	2,796,905	-1,628,685	1,168,220
前期未支払資金残高	13,619,162	3,319,540	16,938,702
当期未支払資金残高	16,416,067	1,690,855	18,106,922

● 2011年度財産目録

(2012年3月31日現在 単位:円)

	1.流動資産	社会福祉事業	公益事業	合計
現金貯金	12,317,552	2,442,762	14,760,314	
未収金	68,000	106,000	174,000	
貯蔵品	1,162,912	1,747,067	2,909,979	
立替金	50,234	0	50,234	
前払金	3,158,133	26,890	3,185,023	
仮払金	695	0	695	
その他の流動資産	5,936,994	113,388	6,050,382	
流動資産合計	22,694,520	4,436,107	27,130,627	
2.固定資産				
(1)基本財産	115,466,910	0	115,466,910	
建物	92,781,910	0	92,781,910	
土地	22,685,000	0	22,685,000	
(2)その他の固定資産	72,081,299	0	72,081,299	
建物	114,800	2,128,978	2,243,778	
構築物	27,914,930	0	27,914,930	
機械及び装置	71,817	0	71,817	
車輦運搬用具	1,052,237	79,400	1,131,637	
器具及び備品	6,927,867	94,678	7,022,545	
補助大育成基金	18,453,976	0	18,453,976	
施設準備金積立預金	5,700,374	0	5,700,374	
施設修繕積立預金	1,000,000	0	1,000,000	
広報出版基金	0	284,095	284,095	
イベント基金	0	196,941	196,941	
その他の積立預金	10,500,000	1,700,000	12,200,000	
その他の固定資産	345,298	0	345,298	
固定資産合計	187,548,209	4,484,092	192,032,301	
資産合計	210,242,729	8,920,199	219,162,928	
1.流動負債				
未払金	464,363	45,122	509,485	
預り金	68,690	14,680	83,370	
前受け金	20,000	2,358,330	2,378,330	
仮受金	2138	0	2,138	
その他の流動負債	5,723,262	327,120	6,050,382	
流動負債合計	6,278,453	2,745,252	9,023,705	
2.固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	6,278,453	2,745,252	9,023,705	
差引純資産	203,964,276	6,174,947	210,139,223	

みなさまのお力添えて、候補犬たちはスクスク&補助犬たちは元気です (2011年12月1日~2012年5月31日まで)

読んで、ご支援をいただきましたみなさまのお名前のご紹介をさせていただきます。(個人名は、ご迷惑がかかる場合がありますので、団体または企業名のみご紹介させていただきます) ※敬称略・順不同とさせていただきます。



仲良し3頭
のぶ(左)せい(右)そん(後)

<自動払込者数>

20名のみなさま

(郵便局から寄付等の定期的な自動振込みができます。ぜひ、ご協力のほどお願いいたします)

<導犬・介助犬育成 スポンサーシップ&ガーディアンシップなど>

セイコーエプソン、日新工業、アシユラン、ピロート、日立製作所労働組合ソフト支部、JAM 甲信、日本GE、日本小動物獣医師会、アブライ・ネットワーク、プロミス、ロート製薬

<ご寄付を頂きました皆様>

かすかわ動物病院、松岡クリニク、茶道裏千家淡交会岐阜支部いぶき青年部、富國地所、アニマルメディカルセンター、のぐち動物クリニック、戸田動物病院、土屋犬猫病院、しのさき動物病院、小林動物病院、セラ動物病院、柏心寺、上牧町社会福祉協議会手話スクール、たんぼぼ、静岡県立浜松聴覚特別支援学校、麻布セント・メアリー教会メアリー倶楽部、カイハラ動物病院、筑紫学園、信建工業、相模原市立瀬野森中学校生徒会、円応教清水教会、日本発条労働組合、プラルト、長泉小学校3年4組、南大阪みささLC、手話パフォーマンス はんど☆まいむ、マルギンインタナショナル、はぎや動物病院、東京リオネット販売、阿蘇動物病院、あけぼの歯科医院、岩永耳鼻咽喉科、長野県電力総連、

<協会募金箱のご送金をご協力を頂きました皆様>

まつや茶房、八ヶ岳わんわんパラダイス、荻谷動物病院 市川橋病院、とよおか動物病院、山本内科耳鼻科、ホーム動物病院、古田耳鼻咽喉科、工房アース、日産チェリー碧南販売、いのうえ動物病院、不二動物病院、東濃クリニク、Cat&Dog シヤスタ、セブンイレブン東部滋野店、ラネット、あきやま動物病院、釜利谷ペトクリニク、県立広島大学保健福祉学部コミュニティコミュニケーション障害学科、和ダイニング風ぐるま、ロン動物病院、メイショップ通り町店、佐々木あすなろ整骨院、ムッターペル、カインズ名古屋みなと店 3F しつけ教室、デイズワン小牧店内しつけ教室、メガネ時計ササガワ、ペンション南季の灯、満油商事、パジフィックエイジェイ内平野遊技業組合、是枝動物病院、はぎや動物病院、たか動物病院、孔明学園東北愛犬専門学校、ハセガワ動物病院、おもと工設大阪営業所、きよもと歯科クリニック、霞町蕎麦処ますだ屋、チャレンジャー、メガネの洋光、dog run+cafe slow、サークルK伊那西町店、ソワエンテックラファイネ、布の工房モリシヨウ、ローゾン伊那インター店、リサイクルサロンKはうす、まことおあがり亭、大阪コミュニケーション専門学校、南信州ビール「味わい工房」、明治亭本店、菓匠 Shimizu、つちかね整形外科クリニック、Aコープ駒ヶ根店、アツルランドデリシア駒ヶ根店、アトムボーイ駒ヶ根店、こまくさの湯、サロンド・サエ、すずらんハウス、そは処 蒼野ヤ、ペンションウツド・イーン、駒ヶ根ファームス、佐寿一中央スーパー、西駒郷、どんなもんじや伊那店、やません 門、錦辰、サークルK伊那上の原店、金丸菓子舗、支那そば よきな、松下歯科医院、北原製菓所、Aコープ伊那中央店、屋台村カラオケ You 遊・うまや、ベルシヤイン伊那店、ライオン薬局、永井仏壇センター、宮下歯科医院、小椋、久良運、Aコープ春富店、ヘアスタジオ マーキス、ユ一エスアイ、宮田村役場住民福祉課、斉藤診療所、みのりや、そは蔵宮田店、ニシサワシヨップス宮田店、みにぶらん、モンバルノ、フラワーユーズ、藤原商店、レストランかすが、友野菓子店、Aコープ宮田店、正木屋酒店、あさひや、北原医院、アピタ飯田店、日本GEバリア・フリー・ネットワーク、ヤブー、東証健保熱海保養所



▲じん君がご披露！
ご支援者から、15周年
お祝おせんべい！

施設準備金 総額 4,521,633 円(目標)になりました。 ご支援者 253 名(2008 年 12 月 18 日~)のみなさまに感謝申し上げます

ユ一ザーのみなさまと協会犬の福利厚生のための屋外訓練整備準備金の第1次目標額 2,500 万円を目指しております。工事内容は、隣の畑との境界線となる土留め、バリアフリーのための駐車場整備、フリーラン部分のタータン設置などです。2008 年 12 月 18 日~2012 年 6 月 30 日までに 253 名様から 4,521,633 円を頂きました。今回は、2010 年 12 月 1 日~2012 年 6 月 30 日までのご支援で、掲載許可を頂いたうえで(敬称略、順不同)ご紹介させて頂きます:八戸ライオンズクラブ小田秀彦、プリン、今田康介、須田歯科医院 須田聡・美保子、原野ハナ子、土井正典&ハッピー。ご芳名の掲載確認中のみなさまは、次回に掲載させていただきます。お力添えに心から御礼を申し上げます。

◆◆ 商品などのご提供を頂きました、スポンサー企業の皆様 (敬称略、順不同) ◆◆

<商品の提供を頂きましたスポンサー企業の皆様:協会犬の健康サポート、候補犬の育成と環境への配慮のために商品の提供を頂いております。厚く、お礼を申し上げます>



デビペットから栄養豊富で安全な「ドッグフード・缶詰」や犬用おやつ。日本ヒルズコルゲートから栄養と健康を考えた「犬用&猫用フード」。スマイルから施設用を衛生的に保つための「除菌アルコール」。ワンフーから自然治癒力を高める新鮮な「犬用&猫用フード」。北杜からおいしい鹿肉使用の「ペニントンダッグ」。サンテックオクトからペット用うち処理袋「ポイ太くん」。日本全業工業から「フロントラインプラス、カルドメックチュアブル、オートジャンプリー」。花玉から「アタック」「ハンドソープ」。キャリコから「IT 関係管理」。みちのくファームから安全なごほうびを頂戴しました。

<相模及びご支援>赤坂動物病院、せいしん特許法律事務所、小林会計事務所、スワック建設 お力添えを賜りますこと、スタッフ&協会犬一同、心より、御礼を申し上げます。

▲ 聴導犬いんちゃん ペットシーツ、うち袋のスポンサー企業を探しています。ご協力をお願い申し上げます。

2006年+2012年！2度目のADI(国際アシスタンスドッグ協会)国際認定



1996年。(福)日本聴導犬協会は、長野県伊那保健所の推進と「育成頭教」や「犬へのファン・トレニング」で当時から聴導犬育成において世界一を自負する英国聴導犬協会の全面的な指導により、任意団体(当時、ジャパン聴導犬協会)として発足しました。3カ月にわたるスタッフの英国研修に加え、英国聴導犬協会CEOやシニア・トレーナーの招日による3度の訓練指導を通じて、「動物福祉」と「当事者(聴覚障がい者)の為の聴導犬育成」を目標に掲げました。しかし、当時は資金不足や英国と日本との慈善団体への考え方の違いから、理想と現実とがなかなか合わなかった。日々、候補犬の選別、訓練、そして、ご支援者へのアピールやNPO活動としての運営方法など課題は、続出でした。

▲ADIロゴマーク

この時期の前後から、犬の訓練は「ファン・トレーニング」が効果的であるという常識が浸透し始め、更に、男女雇用機会均等法の改正やNPO(特定非営利活動促進)法、個人情報保護法などが成立。NPO活動に期待が高まる中で、日本聴導犬協会もNPO法人(内閣府認証)となりました。その後の社会福祉法改定で、福祉は「措置」から「契約」へと大きく転換し、日本聴導犬協会がめざす障がい者支援の「当事者主権」への追い風にもなりました。ADI(Assistance Dogs Interenational, Inc.: 1987年にアメリカの聴導犬育成7団体により創設。2012年5月現在、世界178加盟補助犬育成団体のうち認定は89団体)に出席したのは、何を具体的に実践すればよいのか迷っている最中でした。資金は底をつきながらも、運営に四苦八苦していた活動開始から2年目(1997年)。英国聴導犬協会CEOのアンソニー・プラント氏からのすすめで、はつきりとした目的がないままに自分で、ADIに参加しました。ADIが目的とする、1、補助犬スタンダード(基準)の向上、2、知識と情報交換と提供、3、補助犬の普及啓発推進の機能という、明確なビジョンに出会いました。

2002年、身体障害者補助犬法が施行され、法律による規制が強い反面、当事者の利益が見えにくいという混沌とした日本の補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)の状況に、当時からの目標を見出せなくなってきました。しかし、補助犬先進国であるアメリカのIAADP(補助犬ユー

ザーの会)会長であるEd, Eames氏が常に繰り返していた‘About Us, Without Us, Without Us」私たちのことは私たち抜きに語るな」'で言い尽くされる差別撤廃(ADA)法に基づく「当事者主権」の理念に賛同し、日本聴導犬協会は、国際認定試験であるADIの認定試験合格を目標に掲げました。その折に、すでに会長の有馬は英語圏外として初めてのADI理事(2002~2005年)に就任しておりました。ADIの認定試験の受験では、多くの手助けをいただきました。元ADI会長でアメリカ最大の聴導犬団体Dog for the Deaf(オレゴン州)会長のロビン・ディクソン女史やNEAD(マサチューセッツ州)元会長のシエラ女史。ADI理事で世界最大の介助犬育成団体(カリフォルニア州)CCIのCEO、コリー・ハドソン氏から、認定試験の関係書類などをいただいたことで2005年秋に受験。前述のディクソン女史が試験官として来日し、3日間にわたる組織運営、ユーザー教育、訓練犬の質の審査、運営ミッションや施設環境も英語通訳付きで行われ、世界22番目の補助犬育成団体として、2006年1月にADI認定証をアメリカで授与されました。

5年毎のADI国際認定(更新)試験は、2011年の東日本大震災の影響で、2012年6月に延期されました。システムや認定試験内容は前回よりはるかにシステム化され、申請のために事前に提出するプリ・パッケージでは、①経営管理(非営利の証明、組織、定款、理念、経理報告、危機管理、緊急対策、個人情報保護法、苦情処理など)、②プログラム基準(ユーザー申込の方針、教育ツール、アフターケア、後任犬の優先権、候補犬アセス、候補犬健康管理、訓練およびユーザーアフターケア記録など)および、③施設基準などを英訳。準備のため6カ月間余りかかりました。申請書類の第一次審査を経て、2012年6月上旬にカナダから試験官が来日。面接ではボランティア2名、ユーザー2名、スタッフ3名、理事2名、会長への質疑応答などが行われました。提出書類の数倍におよぶ関係書類チェック。訓練記録、危機管理を中心とした施設管理などの精査、基礎訓練、聴導作業、介助作業訓練、社会化やユーザーの電車やバスやスパーなどでの管理能力や聴導動作の働き等を英語通訳を交え、3日間に及ぶADI更新試験が無事終了いたしました。「協働、共生、共存」を理念に、「ユーザーと補助犬のハッピーのお手伝い」を実践し、実現する(福)日本聴導犬協会。その精神までも、ADI認定(更新)試験の合格に影響できたことを謹んでご報告いたします。みなさまの応援に心より感謝申し上げます。

講演会・デモンストレーション、パブリシティ

取材&パブリシティ ■ (敬称略、順不同)

(2011年12月～2012年7月まで)

【2011年】

◇12月 聖教新聞～“共感する心”もつ人材育てたい～
/信濃毎日新聞～聴導犬 漫画交えて紹介～/いいだ社
協情報 おマメで/AJU声 NPO名難聴会報 164号

【2012年】

◇1月 日本聴力障害新聞「新年のご挨拶」/ろうあ信
州「新年のご挨拶」/ 福祉新聞「年頭所感」/ 月刊か
みいな「第17回Pro-Dog School受講生募集」/ JA上伊
那発行の～らるVol.188代表犬タカガの「聴導犬って、ね」
◇2月 TV:駒ヶ根ケーブル「日本聴導犬・介助犬訓練
士学院 卒業式&入学式」/ 信濃毎日新聞 「3期生
1人卒業 新たに4人入学」/ ～らるVol.189(連載)/
中日新聞「聴導犬 マンガで紹介」

◇3月 TV: 日本テレビ スッキリ「聴導犬こんの認定
試験まで」/ ～らるVol.190(連載)/ 中川村社会福
祉協議会チラシ「書き損じハガキ、未使用切手で聴導
犬を応援しよう!」/ 人権教育指導資料集

◇4月 パートナーシップわかやま Vol.5～聴導犬の役
割について紹介とデモンストレーション～/ 「聴覚障害
者が犬・猫と暮らす」(NPO神戸ろうあ協会)～働く犬た
ちで紹介～/ ソシオ・スコープ(デイルー・サーピックス 小
学4年社会)/ ～らるVol.191(連載)

◇5月 中日新聞「この人」で会長有馬もと人物紹介/
～らるVol.192(連載)/ 秀学社発行 英語ワーク「E
-PLUS」にて聴導犬しん君写真掲載

◇6月 中日新聞～宮田の聴導犬協会に寄付 飲み物
1本で5円募金自販機を設置～/ ARK No.85/ ～ら
るVol.193(連載) ●ADI国際認定試験関連: 長野日
報「ADIから再認定 日本聴導犬協会国際試験に合
格」/ 信濃毎日新聞～日本聴導犬協会が国際機関か
ら再認定～/ 中日新聞～ADI再認定試験に合格 宮
田の日本聴導犬協会訓練の質など評価～

◇7月 TV:NHK 全国「サラメン」/ ～らるVol.194(連
載)/ これからの空手2012 第27号 聴導犬あいちゃん
貸与/ 信濃毎日新聞～聴導犬の写真あしらった自販
機 宮田の協会「役割知ってほしい」～/ラジオ:FMい
いだ～飯田ふれあい広場～



NHK「サラメン」取材中

デモンストレーション&講演会 ■ (敬称略、順不同)

(2012年1月8日～2012年7月15日まで)

※略させていただきます。ライオンズクラブ⇒LC。デモンスト
レーション⇒デモ。

◇1月 長野県動物愛護センター・ハローアニマル「新春
おたのしみ Day」(長野)/宮田村本部:補助犬相談会&オ
ープンデイ(長野)/信州大学医学部地域医療推進学講座
「第20回地域医療推進学講座セミナー」会長 有馬もと講
師(長野)/八王子聴覚障害者協会(東京)/新春ユニオン
フェスタ 本田技研工業 三重支部(三重)

◇2月 伊那市路木曽路広域観光推進ご来所デモ(長
野)/岡谷市社会福祉協議会 こども福祉教室(長野)/宮
田村本部:補助犬相談会&オープンデイ(長野)/ユニバ
ーサルデザイン発表会(三重)/白岡町聴覚障害者協会ご
来所デモ(長野)

◇3月 目黒区社会教育館①②(東京)/東京都聴覚障害



軽井沢「手のひらの会」様ご来所

者連盟(東京)/東京都聴覚障害者連盟第41回耳の日記念文
化祭(東京)/海老名中新田諏訪神社役員ご来所デモ(長
野)/日本ドッグトレーナー協会にて会長有馬講義(東京)/宮
田村本部:補助犬相談会&オープンデイ(長野)/ブリティッシ
ュスクール・イン・東京(東京)

◇4月 日本 GE Family Day (東京)/シモン/学園 入学式
(東京)/宮田村本部:補助犬相談会&オープンデイ(長野)/
長野県電力総連第8回ふれあいフェスタ・ハッピーライフ
(長野)/ 梅公園お花見イベント(長野)

◇5月 足立区ろうあ協会ご来所デモ(長野)/宮田村本
部:補助犬相談会&オープンデイ(長野)/ 宮田中学校
職場体験(長野)/ 津市身障者福祉連合会ご来所デモ(長
野)/赤穂中学校 職場体験(長野)/長野県電力総連 女
性部ご来所デモ(長野)/ 飯島中学校職場体験(長野)

◇6月 全国ろうあ者大会(京都)/ 聴覚障害者のつどい
(東京)/宮田村本部:補助犬相談会&オープンデイ(長野)
/榛原地区民生児童委員協議会ご来所デモ(長野)/富士
フィルム富士宮工場構協連ご来所デモ(長野)

◇7月 軽井沢「手のひらの会」ご来所デモ(長野)/ 松本
ろう学校高等部ご来所デモ/ 宮田村本部:補助犬相談会
&オープンデイ(長野)/ 八王子事務所:補助犬相談会&
オープンデイ(東京)

◇ 研修ツアー(お一人500円:資料代金)をお受けしてい
ます。昨年 26 件のみなさまにご来所いただきました。>

当協会へのご寄附は、所得税・相続税・法人税の税制上優遇が受けられます

＜個人様の場合＞みなさまからの(福)日本聴導犬協会へのご寄附は、確定申告により、1.所得控除や 2.税額控除(平成24年4月1日～平成29年3月31日までの5年)を選ぶことができるようになりました。所得控除と税額控除はいずれか一方の選択が可能ですので寄附者にとって有利な計算方法をご選択ください。

1、寄附控除(所得控除)を受けられる場合(総所得金額等の40%相当額が限度)

● 計算方法: 寄附金合計額(総所得金額等の40%相当額が限度) - 2,000円 = 都府金控除額

例: 10万円のご寄附では、10万円-2千円=98,000円が都府金控除の金額となります。「98,000円×その方が適用されている所得税率」が税金の軽減額となります。所得税は「累進課税」ですので、所得が多いほど税率が高くなります。つまり所得税率が10%の方であれば、98,000円×10%=9,800円。20%であれば、98,000円×20%=19,600円が税金の軽減額です。

2、税額控除を受けられる場合(所得税額の25%が限度)

● 計算方法: 寄附金合計額(総所得金額等の40%相当額が限度) - 2,000円 × 40% = 寄附金特別控除額
 例: 10万円のご寄附では、(10万円-2千円) × 40% = 39,200円が税金の軽減額となります。ただし所得税額の25%が控除限度額となりますので、所得税が8万円の人であれば、20,000円が税金の軽減額の上限です。

3、相続税

相続により取得した財産の一部または全部を、(福)日本聴導犬協会にご寄附頂いた場合、寄附した財産に相続税が課税されません。相続税の申告期限は被相続人が死亡したことを知った日の翌日から10カ月以内とされています。それまでにご寄附頂いた財産の相続税が非課税となります。非課税の扱いを受けるには、寄附先団体からの領収書と証明書が必要です。

＜法人様の場合＞法人様で、(福)日本聴導犬協会にご寄附いただいた場合は、確定申告によって次の限度内で法人税が課税されません。下記、法人の1、2の限度額は併用することができます

1、一般寄附金(損金算入限度額)

(資本金等の金額 × 事業年度月数 / 12 × 2.5 / 1000 + 当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 1000) × 1 / 4

2、社会福祉法人等に対する寄附金(特別損金算入限度額)

(資本金等の金額 × 事業年度月数 / 12 × 3.75 / 1000 + 当該事業年度の所得金額 × 6.25 / 1000) × 1 / 2

※確定申告には日本聴導犬協会からの領収書が必要です。ご送付した領収書は大切に保存下さい。

日本聴導犬協会ご寄付いろいろ

＜郵便振込 口座番号 00590-1-93275 社会福祉法人日本聴導犬協会＞

寄付および支援の種類	使途目的	寄付額	特典
「タッチ&スマイル」サポーター	運営費全般	4000円(年間)以上	サポーターカード発行。協会新聞、協会犬お札状の送付。当協会職導犬・介助犬訓練士学院座学1コマ(1時間半)受講。ウェブサポートでの壁紙・はがき無料ダウンロード
聴導犬「あしながおじさん」	聴導犬訓練事業	3000円/月 × 12、 36000円/年額	
介助犬「あしながおじさん」	介助犬訓練事業		
「企業・団体」サポーター	運営費全般	50000円以上	企業・団体名が協会新聞に掲載、協会新聞・協会犬お札状送付
一般寄付	運営費全般	おまかせ	協会新聞・協会犬お札状送付
施設整備準備金	訓練施設整備のための建設費用	おまかせ	高額ご寄付者(10万円以上)名をご支援者パネルに永続的掲示
スポンサーシップ	訓練費用1頭分	80万円以上	職導犬または、介助犬コートにお名前を刺繍
ガーデニング	ケア費用1頭分	80万円以上	協会新聞、協会犬お札状送付
タカラちゃん基金	医療費	おまかせ	協会新聞、協会犬お札状送付
自販機(ペプシコーラ CSR 日本聴導犬協会特製)設置	運営全般	自販機契約時に決定	協会新聞、協会犬お札状送付
インターネット募金。詳細は日本聴導犬協会 HP へ http://www.hearingdog.or.jp			
クレジットカード募金	一般寄付と同じ	おまかせ	協会新聞送付、協会犬からの手紙
電子マネー「ちょコム」			
Yahoo!ポランティア募金			

聴導犬・介助犬育成のための募金箱設置をお願いします!

詳しくは、別紙の「募金箱設置申し込み用紙」をご覧ください。か、(福)日本聴導犬協会までお問合せ下さい。
 ※募金箱の発送料(着払い)は、ご負担いただけますよう、お願い申し上げます。

■ E-mail: inf@hearingdog.or.jp ■ TEL: 0265-85-4615 ■ FAX: 0265-85-5088
 (募金箱設置申込書はホームページ <http://www.hearingdog.or.jp> より、印刷してご使用いただけます)





～Pro-Dog(愛犬家またの名を犬吉) Club

事務局 気賀澤 敬子

歴代2位? 参加者30組!!
Pro-Dog School 最終日に記念撮影



雨上がりの芝生に満開のバラが美しい時季となりました。みなさまお変わりなくお過ごしでしょうか? わが家の庭の手入れはかまけていても、犬と散歩しながら、よそのお庭のきれいな花や庭木を拝見することは楽しみです。もちろん道端の小さな花もかわいいですね。

2012年3月25日から始まりました恒例のPro-Dog スクールには30組の申し込みがあり、多くの受講生と一緒に毎回楽しく学びました。“犬は大切な家族”と思い、そのように暮らしたいという



ボール運びバトル!
目指せ1位結果は...

ご家庭が増えていることを実感できました。迎えた我が子に“この子がいるから幸せ”と言えるようになつたらいいですね。いえ。みなさま熱心な受講生。きつとなれるでしょう。

春のスクールのあとも、

毎月第一土曜日の10時からしつけ教室を行っています。時には町歩きをしたり、6月の教室は昔の台(駒ヶ根市)の杜の市会場で行いました。人もいっぱい、犬にもたくさん出会い、山の中でよい緊張感を持ちながら良い体験ができました。月1回のこうした時間を大切に考え、受講生の皆様と共に私たちも経験を積み上げていきたいと思えます。

訪問犬活動

も日本聴導

犬協会犬と

スタッフ。

小林さん

(パニラち

ゃん)、外松

さん(ジョ



北軽井沢旅行にて(Pro-Dog Club)

ニー君とラウル君)、白鳥さん(チヨコラちゃん)、気賀沢(クー)で頑張っています。野溝さん(まめさん)は、今、お休みしています。施設からの要請は多いそうなので、時間を調整して、施設で暮らすみなさまとふれあえる時間を1回でも多く作り、笑顔のある楽しい時間を共有できたらいいなと思っています。

愛犬家のみなさん、愛犬とご一緒に社会貢献されませんか?

(※Pro-Dog Club&School では、参加者をいつでも募集しています。お気軽にお問い合わせ

ください。いつでも大歓迎です)

Pro-Dog Club に入会して、愛犬との楽しい思い出を作りませんか?



Pro-Dog Club は主に Pro-Dog School 卒業生が組織する愛犬家のクラブです。協会の候補犬たちの社会化の為に毎月、宮田村や表参道、六本木ヒルズ(東京)など長野県内外で行われるパピークラスへの参加や、6月には定例で実施される「愛犬連れ旅行」では、他の愛犬家のみなさまとの交流や愛犬パレードなどを行います。愛犬と一緒にヨットに乗ったりと楽しい体験がいっぱいです。また、伊那小学校のクラブ活動への参加や現在ご依頼を受けております3～5か所の福祉施設に訪問するための「訪問犬コース」もあります。

【問合せ担当】(福)日本聴導犬協会 気賀澤【会費】1名 5,000円

【問合せ】TEL:0265-85-4615&5290 FAX 専用:0265-85-5088

E-mail: inf@hearingdog.or.jp (メールの方は“Pro-Dog Club 申込”とお書添えの上お申込みください)

〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 7030-1





にゃん太通信:年の差なんて年代の違いよ

今じゃ、寝る時も一緒!



ボク(にゃん太)13歳にやん。たけちやん2歳。なんと10歳の差はある。初めはちよっと匂いをかぐだけで「フ——ツ」って、爪むき出しで怒ってたたけちやんも、体も気質も丸くなり、今は尻尾をからめて一緒に寝るまでになったにやん。

協会猫であるボクたち2頭。仕事は、訓練している協会犬の前を行ったり来たりすることや、取材や見学者の方に「訓練猫です」という紹介で胸をはってみせること。時々、集合写真に笑顔で参加したりもする。「良く訓練された猫ですねぇ」とだれもが褒めるボクたちなんにや。昔は、夜遊びで何日も協会に帰ってこなかったボクだけど、美しいたけちやんが来てからは、外泊も減ったにやん。ボク的にはにゃんともハッピーな「純愛にや!」。「年代の違いでしょ。アタシは何にも考えてないけど」(たけ談)

心から、お礼を申し上げます

2011年12月14日～2012年6月20日まで
 <物品内容> 切手 281,242円、書き損じ葉書 5,784枚、商品券 11,500円、テレホンカード 445枚、図書券 5,500円、お米券 5枚、JR東日本レジンカード 1,500円、外カード 6,000円、ビール券 13枚、京王電鉄バスネット 1,000円、JTB旅行券 1,000円、テレビきシート、ハズタオル、クレスマスカート、おもちや、洗濯洗剤、ペットシート、ウェットシート、スポンジ、マット、缶詰、お菓子、コーヒー、味付けのり、みかん、ロン、シトレン、セノール、タッパ、箸置き、防災グッズ、事務用品、セリー、グ、いくら、カステラ、キャンドル、ティッシュ、ラップ、毛布、肌着、羊毛トック、名札入れ、加ヒキラー、カラスケル、ガムテープ、消臭スプレー、ブリーチ、ゴミケツ、ハザー用品など。
 これからも、よろしくお願ひ申し上げます。

ぜひ、送ってください。お願ひします。

書き損じハガキ、未使用切手、未使用テレカ、商品券、ビール券、ガツインスタートで使える金券、各種プリペイドカード、修正液、薄手のペットシート、食器用洗剤、液体の洗濯洗剤、ブリーチ、リステリン(オキシゲル)、中型から大型までの犬用ケウンや洋服(新品のみ)、ガムテープのり、油性ペン、筆ハサミ、洗濯ピンチ、クリアファイル、クリアブック等。●毎年恒例の協会感謝ダイヤ(10月)でのハザー用品にご協力下さい。

書き損じハガキ大募集!!

書き損じハガキ 2枚で、
 協会新聞1通分の通信費にになります。
 ご協力をお願ひ申し上げます。

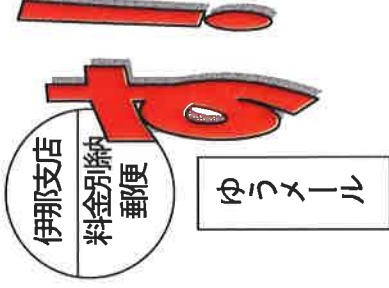


※1000通郵便を送るのに郵送料ハガキ 14000枚が必要で、ご協力を願ひします。

<ご寄付振込口座:郵便局>

社会福祉法人日本聴導犬協会 00590-1-93275
 施設準備金、運営全般、聴導犬、介助犬、公益等使用目的のご指定願ひます
 クレジットカードご寄付も受付中(HP://www.hearingdog.or.jp より)

しよっちゅう/豊中?! 応援お願ひしま



ADI(国際アシスタンス・ドッグ協会)国際認定&元理事/NPO法人グランプリ受賞/英国聴導犬協会アンジェート

厚生労働省 関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 寄附控除および税額控除対象法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会新聞

当事者と共に実現する「障がい者福祉」と「動物福祉」を使命とし

「人と動物が共存できるまちづくり」をめざす

Tel:0265-85-4615&5290 Fax 専用:0265-85-5088 http://www.hearingdog.or.jp



2006年度 2012年度
日本聴導犬協会新聞
(福)日本聴導犬協会新聞
長野県上伊那郡田村7030-1

発行人:有馬もと
編集: MAYUMI・矢澤昌子
村澤久美子・佐橋菜月
杉本雅子・増田千江子
伊藤理英・岡田彩子・奥嶋千夏

発行:年2回

購読料:定価200円

©(福)日本聴導犬協会

無断転載コピ厳禁

おかげさまで、2012年下半期 News 1:創立15周年式典、実施できました!

2012年は創設16年目になりました。おかげさまで1年間延期していた創立15周年記念式典を協会感謝デイ(10月の第1土曜日)に実施できました。100名以上のご来賓を頂戴することができました。記念講演を予定していた山根一眞様『はやぶさ』の著者・ノンフィクションライター)と、多くのご支援者のみなさまが高速事故のために通常の倍もかかってお出ましくいただきました。感激でした。みなさまのお力添えに報いるように、20周年に向けて精進を重ねてまいります。



▲ノンフィクションライターの山根一眞氏(右端)とご支援者

News 2: 8年がかかりで実現! 沖縄県2頭目けいちゃん 地元で認定試験

沖縄県第1号聴導犬のまつ君貸与(8年前)から、沖縄のユ一ザーの負担を少しずつ軽減するために、3点の改善を図り続けてきました。①航空会社の受入;自宅訓練(認定前に行われる)のための客室への候補犬搭乗の許可 ②乗車訓練のための沖縄の公的機関の協力;認定前の乗車訓練のため ③県内での認定委員:認定試験を行う地元専門家の協力。①については2012年にJALが条件付き



で候補犬の搭乗に協力してくださいました。②については、聴導犬まつ君の活躍もあり、東陽バスと沖縄都市モノレール社の快諾を得て乗車訓練を重ねられました。③沖縄県身体



▲認定試験でモノレールのマナーも抜群

News 3: 会長有馬 ADI Mentor (相談役)として台湾へ。国際認定を授与

会長の有馬が、ADI(国際アシスタンス・ドッグ協会)のMentor(相談役)として、台湾の国立屏東科技大学付設「工作犬訓練学校」から再度お招きをいただきました。(福)日本聴導犬協会の訓練方法や育成をご披露し、できうるアドバイスをさせていただきました。1度目の訪問(2011年6月)には、ユ一ザーとの絆や社会性で国際認定ができなかった台湾第1号聴導犬に、(福)日本聴導犬協会から国際認定、訓練士である Ming に国際聴導犬インストラクター資格授与をさせていただきました。おめでとうございます。



▲台湾初! 第1号聴導犬アレー君と訓練士 Ming さん

大きな節目。新たな芽ぶき。新生・(福)日本聴導犬協会へ

厚生労働省関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会 会長 有馬もと

▼頑張る会長有馬もと。健康管理は万全ですか？



2012年7月。日本聴導犬協会の第1号聴導犬である「みかん」が13歳7カ月で亡くなりました(追想は10頁へ)。沖繩の第1号聴導犬まつ君も12歳で元気なまままで引退。各々2頭目の聴導犬が役割を果たしているとはいえ、大きな節目を迎えております。

■後継者育成システムのさらなる充実

「身体障害者補助犬法」は、補助犬受け入れや育成団体支援にも効果を発揮しました。同伴がしやすい環境が増えるにつけ、ユーザーへの高い管理能力も求められます。訓練中には体験しなかった多様な場所や出来事にユーザーは戸惑うことも多くなります。アフターケアとしての再指導の必要性も高まるでしょう。貸与後

の補助犬(聴導犬・介助犬)の質を保つためにも、沖縄から北海道まで全国にわたるユーザーの満足感を得るための東奔西走です。サービスの質を高めるためには、協会の「共生」「協働」の理念の元、福祉サービスの担い手として、新しい日本聴導犬協会を創っていく後継者の育成が急務です。

「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」での実践的なカリキュラムと必須授業のさらなる充実に加え、各地でのAAA(アシスタンスドッグ・アシスタンス・アシエーション)協会ボランティアさんの広報やユーザー増加のための活動にも力を注いでいます。

■当事者同士での「相談・改善・主張」

『全日本聴導犬ユーザーの会』による当事者同士での「相談・環境の改善・改善のための主張」に協働しています。聴導犬貸与に至る前段階で「聴導犬は補助金対象ではない」「他の障がい者が優先」といった自治体の無理解への改善要求や議員への働きかけも経験しました。言語障がいゆえに、同伴の権利を主張できにくい「聴導犬ユーザー」への文字説明の冊子やカードの提供。ホームページやブログでの情報公開も行っています。聴導犬貸与には「聴覚障がい」への理解が不可欠です。これからも当事者(聴導犬ユーザー)と共に、当事者(希望者)のための環境改善を行っていきます。

◆ ◆ ◆ ご支援のお願い ◆ ◆ ◆

日頃より、(福)日本聴導犬協会の使命と活動にご理解をいただき、あたたかかなご支援をいただきます。全国の皆様は、心よりお礼を申し上げます。被災地の方々の状況を考えますと、このようなお願いをさせて頂くのは本当に、心苦しいのですが、ユーザー増加に伴い、ケア充実のため、運営費が必要になっていきます。聴覚に障がいのある方に聴導犬を、肢体障がいのある方に介助犬を無料貸与する「障がい者支援」と、飼い主の見つからない犬から候補犬を選び、聴導犬・介助犬を育成をする「動物福祉」。この2つの福祉を推進するために、恐縮でございますが改めて日本聴導犬協会へのご支援を、お願いを申し上げます。

校「犬のしつけクラブ⑤」第一生命労働組合松本支部寄付金贈呈式、NHK「ろうを生きる」取材打合せ ●十月・創設十五周年記念式典に約百名のご来賓をいただく。兵庫県動物愛護センター淡路支所にて候補犬アセス、OCAにて講師、NCAにて有馬講師、宮田福祉まつり、新・家族候補「きもち」トライアル、聴導犬「こん」と「あい」アフターケア、学院希望者見学、介助犬ユーザー希望者ご来所、NCAにて講師、愛犬しつけ・個人カウンセリング、学院入学試験、台湾国立屏東科技大学より聴導犬育成メンターとして有馬招致、台湾第一号聴導犬の国際認定授与、パピークラス&八王子募金活動、聴導犬「あい」アフターケア、「広報みやだ」有馬取材、OCAにて講師、OCA兵庫動物愛護センター淡路支所研修、NCAにて講師、候補犬「けい」ユーザー候補者訓練(沖縄) ●十一月・候補犬「けい」ユーザー候補者自宅訓練(沖縄) 聴導犬「あい」ユーザーアフターケア、無料しつけ教室、OCAにて有馬講師、ARKにて有馬訪問訓練指導、朝日新聞取材、学院講義・柿沼美紀先生「脳の発達と文化」、ピアノ駒ヶ根観光協会ご来所、のしつけクラブ⑦ご来所、聴導犬「いこま」ユーザーアフターケア、「大人と子供のための読み聞かせの会」中井貴恵ご来所、厚生労働省「補助犬受入」についての検討会に有馬出席、OCAにて有馬講師、ソーシャルライザー希望者宅訪問、朝日生命ご来所、学院講義・川口和清先生「ペットと食を考える」、日本GEBバーベキューに参加 ●十二月・無料しつけ教室、兵庫県動物愛護センター淡路支所から候補犬「たん」みつちや「ん」譲渡、候補犬「けい」ユーザー候補者自宅訓練(沖縄)、沖繩にて初の聴導犬認定試験実施、日本財団にてNPO勉強会参加、さいたま市動物愛護ふれあいセンター、ARKにて候補犬アセス、ユーザー希望者面談、学院講義・柴内裕子先生「補助犬の健康管理・毎日のケアで体調の変化を見つける」、学院講義・藪田慎司先生「動物の行動学」、愛犬しつけ個人カウンセリング、OCAにて講師、学院希望者見学、候補犬「ふじ」ユーザー候補補任訓練(本部)、協会新聞発送

がんばってます！ 補助犬ユーザー報告 「みんなかぞく」

く千かげちゃんの小学校では、聴導犬あいひらがなです)ちゃんが出来てから学校をあげて「聴導犬」についての勉強を始めてくれました。それは、「聴覚障がい」についての理解への喚起でもありました。千かげちゃんは、それまでいじめにあっていたことを黙っていました。千かげちゃんが来てから自分から職員室に行き、先生にいいました。お母さんをお願いします。捨て犬だったあいちゃんが、一所懸命お母さんを支えている姿に勇気がわいたのだらうと、お母さんは言いました。聴導犬効果が、ユーザーさん家族にも役立つこと、日本聴導犬協会にとっても育成の励みにつながっています>

「みんなかぞく」

聴導犬ユーザー長女 ふじい 千かげ
アイちゃんは、ことしの一月はじめごろ家にやってきました。それまでは、さんかん日はおばあちゃんがきていました。おおかさんとアイちゃんがきてくれるようになって、うれしいです。

弟が生まれるまえ、お母さんは車にひかれかけたことがありました。今は車にのっている人もアイちゃんがちようどう犬でことがわかってよけてくれます。クラクションがなっているときは、お母さんのこしをかるとたいいて、知らせます。

家では、チャイムとか、スパゲッティをゆでるときにタイマーがなったとき、おなじように知らせてくれます。

おしえてくれたとき、お母さんはにっこりわらっています。

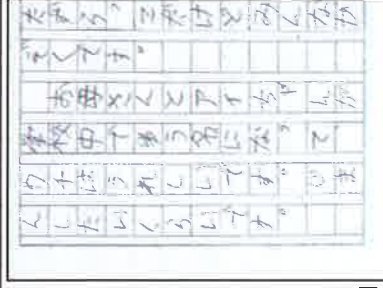
お父さんが休みのときはアイちゃんとみんなでイオンに行ったり、さんぽに行ったりしています。

ウチが、かえってきたらかばんのうしろからドントンとおしえてよろこんでいます。「あそんで！」でいっているようです。

アイちゃんはもうふをかむくせがあつてよくおこられています



▲聴導犬あいちゃんと地下鉄利用



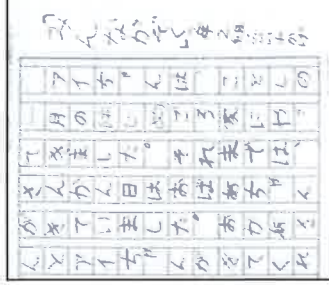
す。お母さんが気づかないときは、ウチとおどろどろとふをひっぱってとりあげています。

おどろともアイちゃんもいたずらっこだけどもんかぞくです。

お母さんとアイちゃん

が学校中でゆう名になって、ウチはうれしいです。

じまんしたいくらいです。



▲公演会場にて聴導犬ユーザー一藤井様 ▲藤井様ご家族

(復)日本聴導犬協会

二〇一二年(七)十二月活動報告(敬称略)

●七月・南信教育事務所学校教育課長ご来所、名古屋コミュニケーション専門学校(以下NCA)にて講師、伊那小学校「犬のしつけクラブ③」、東京リオネットご来所、第一土曜「無料しつけ教室」(以下無料しつけ)、日本聴導犬・介助犬訓練士学院(以下学院)講義・原和子先生「介助犬使用者をとりまく現状と今後の課題」、あさひ国際旅行下見ご来所、ご支援者・第一生命ご来所、日本獣医生命科学大学にて有馬講師、大阪コミュニケーション専門学校(以下OCA)一年生特別講義、OCAにて講師、帝京科学大学より研修生一名受入れ(5日間)、ベイビー・ブーご来所、愛犬しつけ出張カウンセリング、ARKにて候補犬アセス、聴導犬「まつ」ユーザーアフターケア、聴導犬ユーザー希望者訓練体験(八王子事務所)、聴導犬「あい」ユーザーアフターケア、有馬SBCラジオに出演(2週)、NCAにて講師、「パンプキン」取材ご来所、学院講義・伊南行政組合消防本部「普通救命講習」、パピークラス、愛知県障害福祉課打合せ、名古屋市総合リハビリテーションセンターご訪問、ふれあい広場打合せ、OCAより研修生一名受入れ(2週間)、ADI(国際アシスタンス・ドッグ協会)パルセロナでの総会で国際認定を授与される、OCAキャリアセンターご担当者ご来所、学院・夏休み●八月・上伊那地区「ひきこもり児童」の受入れ、衆議院会館に聴導犬普及のために表敬訪問、OCA高校生向け授業、無料しつけ、伊那谷地域社会システム研究所活動報告会に参加、中川村社会福祉協議会より職場体験受入れ、NCAにて高校生向け授業講師、「いぬのきもち」新・家族「もん太」取材立合い、朝日新聞取材、聴導犬「いこま」アフターケア、扶桑町社会福祉協議会打合せご来所、候補犬「ふじ」滞在訓練(本部)、伊那東部中学校職場体験受入れ、伊那小学校「犬のしつけクラブ④」、ふれあい広場打合せ、ベイビー・ブーにて候補犬「きん」アセス、日本発条伊那支部より寄付金贈呈ご来所、「国際クラブ」有馬取材、東京都港区打合せ、ロート製菓CSRご訪問●九月・無料しつけ教室、候補犬「けい」ユーザー候補者訓練(本部・八王子事務所)、ユーザー自宅指導(けい)・JAL候補犬受入れ、OCAにて有馬講師、宮田小学校二年二組体験学習ご来所、兵庫盲導犬協会所長ご来所、アプリイ・ネットワークご来所、聴導犬候補犬「けい」JR訓練乗車後に八王子駅長に表敬訪問、NCAにて講師、朝日生命寄付金贈呈ご来所、訪問活動「フラワーハイアセス」ARK英国大使館祝賀会にて聴導犬あい・こんと参加、新・家族候補犬「きち」お見合い、学院入学試験、伊那東部中学校職場体験受入れ、愛犬しつけ出張カウンセリング、伊那小学

補助犬最新事情：

所変われば・・・。社会進出のために

(福)日本聴導犬協会 事務局長 MAYUMI

日本聴導犬協会での講演会(巡業?)数は、年間に130回にのぼります。2012年は、沖縄から北海道までお招きをいただき、普及活動に励ませていただいたくともに、ユーザーさんと一緒に(訓練チェックも兼ねて)楽しい時間を過ごさせていただけました。各地で痛感するのは、所かわれば(品ならぬ)受入れ事情が変わること。特に、今回のご対応は「想定外!」でした。

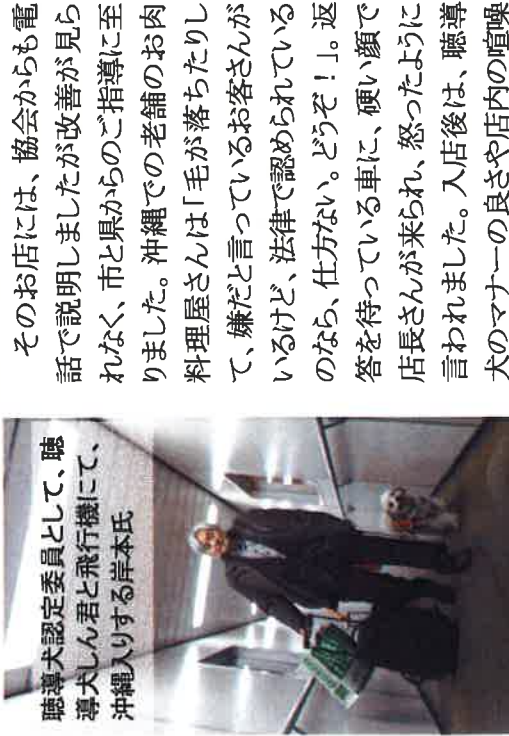
◇ 同伴への対応は、各店でさまざま

『人権フェスタ』北九州で訪問した小倉市。補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)ユーザーとイタリアンレストランで食事をしようとした時でした。スマホで場所を探し、初めての店なので補助犬に関する事前説明のためにお電話を入れました。いつも、断られるのではないかいというドキドキ感、本当に嫌なものです。

「盲導犬のように、聴覚障がいのある方をサポートする聴導犬です」と説明し、同伴の旨を伝えました。その折のご対応は「どうぞ、いらしてください」。通常いただくお答でした。聴導犬2頭とユーザーさん2名、4歳のお子さん1名とスタッフ2名。お話し、楽しく食事をさせていただき、デザートの時でした。

「盲導犬などが来てくれるお店にしたいので、写真を撮ってお店のホームページに載せてもいいですか?」給仕をしてくださった女性がデジタル持参でニコニコと、来てくださいました。心がホッと温かくなりました。下関のお魚料理のお店では、電話に「うれしい〜。来てくださいな」と。店に着くと、2、3人の若い女性店員さんが店の前で待っていてくれました。「かわいい。お行儀いい」と。ユーザーの身になって、ありがたかったです。

他方、埼玉からは同伴拒否のご相談が絶えません。同伴拒否のお店に、ユーザーさんが日本聴導犬協会「同伴マニュアル」を提示して法律で認められていると説明しても入店できず。後日、店長さんから届いたメールでは「昨日はご来店いただきありがとうございました。・・・聴導犬の件ですが、店外デッキ部分でしたらそのままご利用いただけます。店内に関しては、聴導犬の優秀さ、衛生管理が徹底されている事にご説明を頂きよくわかりました。が、衛生面、安全面において 万が一があってはならない事をご理解下さい。犬用のケージをお持ちいただいております。ご利用いただきたくお思います。ご理解の程宜しくお願い致します」。



聴導犬認定委員として、聴導犬しん君と飛行機にて、沖縄入りする岸本氏

そのお店には、協会からも電話で説明しましたが改善が見られなく、市と県からのご指導に至りました。沖縄での老舗のお肉料理屋さんには「毛が落ちたりして、嫌だと言っているお客さんがいるけど、法律で認められているのなら、仕方ない。どうぞ!」。返答を待っている車に、硬い顔で店長さんが来られ、怒ったように言われました。入店後は、聴導犬のマナーの良さや店内の喧嘩



8年前、まつ君が沖縄入りしたカーフェリー?にて感激と感謝の記念撮影

などにまったく動かない訓練能力の高さに、店長さんの表情も笑顔にかわり「また、寄ってくださいね」と。受入れ側からしますと、補助犬の情報不足による不安や戸惑いが拒否という現状を助長しているのも事実です。ただ、残念だったのは「盲導犬も今までは、外につないでもらっていただけでね」でした。次のユーザーさんのために「全日本聴導犬ユーザーの会』と協働で、環境の改善を図る必要性と逆に、改善しなくてはならない意欲が高まっています。

◇ 約8年がかり。沖縄県内での認定試験を実施

約8年前になります。沖縄からユーザー希望者の手があった時、様々な心配がありました。

まず、沖縄の暑さ対策。それと、自宅訓練のための候補犬の移送に航空会社の協力が得られるのか。また、認定試験のために必要な、事前乗車訓練や同伴訓練は地元で可能なのか。さらに、自宅訓練後に再度、認定試験を受けるために長野に来ていただくユーザーへの負担でした。「身体障害者補助犬法」では、不特定多数が利用する施設や公的交通機関では候補(訓練)犬の場合は、受入れ側の考え次第で、受入拒否も出来ます。日本聴導犬協会としては、認定試験に合格可能な訓練レベルの候補犬なので、自宅訓練を行う沖縄まで飛行機の客室搭乗での移動希望をいたしました。それが、候補犬にとって最も精神的にも安心で安全な方法と判断したからです。

更に、管轄の厚生労働省からは「(福)日本聴導犬協会は厚生労働大臣指定法人なので、仮認定証のようなものを発行しても構わない」とのご助言を頂いた上で、当時、航空3会社に協力依頼などの文面を出しました。結果、1社から「他の大手航空会社同様に、同伴は出来ない」との返答がありました。B社へは、直接おうかがいし、ご担当者のお時間をいただきましたが「法律がかかわらない限り、努力義務だとしても搭乗できません。聴導犬を普及するために、協会で沖縄に支部をつくつたらいいんじゃないですか?」といわれました。

残り1社は、文面を書留速達で2回出し、担当者からは

補助犬最新事情、所変われば・。補助犬の社会進出のために

配送されたことが確認されているにもかかわらず、電話では、「届いていません。当社では対応できません」でした。

結局、当時、沖繩への聴導犬候補犬の移動は、航空会社3社に受け入れられず、フェリーの有村産業のご理解とご協力のもと大阪から那覇港までの航路となりました。飛行機も新幹線も欠航になるほどの、暴風雨をおしての就航。大揺れの船内では、候補犬まつ君は船酔いもまったくなく平常心。同伴したスタッフ2名はまっすぐに歩けないほどの船内で31時間、船酔いで飲まず食わずになりました。

◇ 運命のフェリーに再会

暗示的だったのは、11月上旬に日本旅客船協会から『船舶における高齢者などの安全講習プログラム』の講師依頼をうけましたが、会場はいつもフェリー内なのが、まつ君をあの時化(しけ)の中で乗せてくださった有村産業所有の船だったのです。それも、船が創られたのは協会と同じ1996年。偶然にもほどがある(?)と、講演中に、思わず涙と鳥肌で感激と感謝のお話をいたしました。聴導犬まつ君を沖繩へ貸与できたのもフェリーの関係者に、聴覚障がいへの理解と受入があったからとユーズンさんからお礼をお伝えできました。

ここで、ご参考までに当協会の聴導犬育成プログラムをご説明すると、①2週間の滞在訓練(協会本部、東京事務所、または、関西事務所) ②協会指導による3カ月間～5カ月間の自宅訓練の後 ③認定試験を受験し、認定委員全員の合格を受けられて初めて、正式の「聴導犬」とユーズンになれます。

まつ君の後任として、けいちゃんや沖繩に自宅訓練に入ることになりました。今回は、JALのご協力が得られました。厚生労働大臣指定法人の仮認可を受けた候補犬であること。聴導犬希望者と訓練士が同行し、JAL担当者による航空会社のカウンターや搭乗前待合室などのチェックに合格すること。その間も、けいちゃんや自信を持ち、落着いて行動できるとの確信を頂き、無事に客室に搭乗できました。足元でもゆったりと横たわっているけいちゃんや人の姿を見て、笑みを浮かべる乗客や客室乗務員からも『素晴らしい!』と絶賛でした。



▲ユーズン・アフタケアは最重要(新潟県内ユーズン宅にて) ▲屋台でグット・マナーの聴導犬。

◇ 16年前からの地元応援があったからこそ

今年で聴導犬訓練事業をはじめてから16年目。長野県内では、全国でもいち早く、16年前から伊那バスや松本電鉄、そして、7、8年前から各地のJR、今回から沖繩のモレールや東陽バスからも乗車訓練にご協力を頂けるようになりました。ヨチヨチ歩き頃から快く、当協会を温かい応援で育ててくださったみなさまに心より感謝を申し上げます。ご恩に報いるようにユーズン教育では、乗り物に限らずレストランやホテルなどでも、当初から現在に至るまで「できることは行い」をモットーに、使用した座席や床、部屋は毛取りローラーをかけています。

(福)日本聴導犬協会では育成した聴導犬が「日本初!聴導犬JR乗車!」、「日本初!聴導犬航空3社搭乗」、「日本初!聴導犬同伴出勤」など、聴導犬ユーズンと聴導犬と協会と、そして、ご支援をくださったみなさまとの共同作業で地道に積み上げてきた実績があります。ご支援をいただいたからこそ「壁を崩し、ドアを開け、社会を動かす大きなエネルギー」につなげてまいりました。

これまでの成果があったからこそ、2012年12月11日、12日の2日間をかけて、沖繩で聴導犬の認定試験が実施されました。1日目は、『全日本聴導犬ユーズンの会』岸本会長と国際聴導犬インストラクターである有馬会長により、自宅での聴導犬としての働き(目覚まし時計、料理タイマー、玄関チャイム、ドアノック、人を呼んでくる等)、基礎訓練確認およびパブリック・アクセス(バス及びモレール乗車、飲食店や買い物)能力や食べ物拒否など。2日目は、合計6人の専門家による面接です。ここでは、聴導犬ユーズンとしての聴導犬に対する社会的義務、健康管理、QOLや聴導犬作業の確認試験が実施されました。沖繩の方が認定試験を受ける場合は、一番近い所で兵庫県になります。時間と経費がかかります。ユーズンの利便性を考慮しますと地元での認定試験実施が理想的です。沖繩県身体障害者更生相談所のご高配で、聴導犬認定に必要な言語聴覚士、障害者相談員、社会福祉士を自主的に申し出ていただけました。ご担当者をはじめ、多くの方々のご尽力により念願の『地元での聴導犬認定試験』を実現できました。

聴導犬を同伴するという理由で特別な措置や席が用意されるのではなく、わけ隔たりのない、同等の対応をしてくださる社会が来ますように願います。ユーズンは補助犬に対して極力負担が少なく、やさしい心遣いのある対応と健康管理、社会的マナーを守るように、私ども補助犬育成団体は、質の良い補助犬の提供とアフタケアの充実を図るべきです。ユーズンのお役にたてる補助犬として、やりがいとハッピーな生活が送れるような社会創りへの寄与をしてまいります。

聴導犬・介助犬になる子犬たちの育て親さんたちのハッピートーク

ソージャライザー通信

14年目を迎えたソージャライザーです。

矢野 雅子

日本聴導犬協会は、設立16周年を迎えました。私たち家族は、設立して2年目のまだまだ小規模の協会の頃から、ソージャライザーとして関わらせていただいたています。施設を持った今も、運営費集めは大変なのですが、それまでの協会は、もともとと資金の厳しい中でも、着々と活動の基盤を整えられてきました。



▲大好きな矢野パパとともちゃん

今も変わらないスタッフのいそがしさの中で、生後数カ月から数年の候補犬たちを通して、我が家は活動の一端にも関わらせていただき、家族だけの生活ではできない経験もさせてもらっています。

候補犬たちと一緒に生活も長い期間となりました。お預かりする子は聴導犬や介助犬の候補犬として選ばれた子達なのですが、それぞれに驚くほど個性的です。

今、お預かりしている『とも君』は、気質の良い、甘えん

坊で慎重な子です。自信をつけて、どんな場面でも堂々としてくれるようになって欲しいと思いつながり一緒に生活しています。

「返さなくてはならない犬たちを預かることはできない。」
 言い続けていた夫を説得して始めたソージャライザーですが、今では私の方が別れる時の寂しさに「使命のある子なのだから・・・」と、自分にいきかせている始末です。



ユージャーさんたちから、
 「聴導犬との生活で、多くのすばらしい出会いやエネルギーをもらえました」

おっしゃるのを伺うにつけ、私もこの子達から貴重な体験をさせてもらっていることを、改めて思い起こします。
 がんばれ〜。候補犬たち！



ボク、がんばるね！

長野&東京、芦屋いずれかに月1度来られる方。お手伝いください！ 候補犬の育て親大募集

◆ソージャライザーへのプロセス

書類のご記入↓家族との面談
 宮田・八王子・芦屋のいずれか↓自宅
 シェイク↓決定

※フード代、定期的な医療費は協会負担ですが、①のピーククラスの旅費は、自己負担になります。

◆条件：

- ① 月一度のピーククラスに、本部(長野県宮田村)か、事務所(東京都八王子、または、兵庫県芦屋)のいずれかまで子犬とお勉強に来られる方
- ② 留守がちでないご家庭。子犬を一人きりにする時間が少ないご家庭
- ③ ご家族構成は、問いません
- ④ 室内で、愛情深く育ててくださいるご家庭
- ⑤ 叱らない、たたかないを実践できる、愛情深いご家庭

(福)日本聴導犬協会のほとんどの候補犬は、もとは捨て犬。将来、聴導犬や介助犬の候補となるこの子たちを愛情豊かに育ててくださる、ソージャライザー(ボランティア)さんを募集しております。1頭の子犬の預かり期間は2〜4ヶ月間ですが、何回も継続できるご家庭が理想的です。





新・家族通信



つきを迎えて。協会のイベントにも参加 中村 佳世



幸せいっぱいの中村つきです

「つき」を迎えて12月25日で2年の大きさを判っていないなかったのかチワワ達が踏まれになります。私が初めて「つき」の事たり、ぶつかって脳震盪を起こしたりと大変な事も知ったのは2009年10月頃でした。ありましたが、今ではチワワ達が上手に「つき」を日本聴導犬協会のブログで新家族 避けて歩く様になりました。

募集中であることを知りました。あと、大変なのは食事です。初めの頃はドッグフ

お誕生日が10月15日で私の誕生日の10月14日と1日違いというのも何かの縁では無いかと感じました。

(娘はこじ付けだと笑っていましたが・・・)

家には2匹のチワワがいます。大型犬を育てた経験も無いので、大型犬と、小さなチワワが一緒に生活できるのかなど悩み、何か月かが過ぎました。

でも、どうしても「つき」が諦め切れません。年明の2010年の2月頃から「フルタイムで仕事をしていて、週末しかお休みがない。毎日のお散歩に連れて行ってあげることまでできないし、遊んであげられる時間も少ない」と、心配していた主人と娘の説得を始めました。

やっとOKが出て協会にご連絡をとり、「つき」に初めて会ったのが10月の終わりでした。その時に初めて、協会にもお邪魔しました。有馬さんとまゆみさんに温かく迎えて頂きました。「つき」も、初めから私に懐いてくれた様で、少し歩き方の練習をさせて頂いただけで、帰る時には、協会の門の中から「つき」がずっと見送ってくれていました。とても嬉しく思い、でも別れるのが辛くて少し涙が出ました。

その後1カ月のトライアル期間もありました。家に来て2日間は、協会が恋しかったのか玄関のドアノブをガチャガチャやって開けようとしたり、キューンキューンとないたりしていました。3日目ぐらいからは、ごはんもおやつも良く食べ、ぐっすりと寝て、すっかり家の娘になってくれました。心配だったチワワとの生活ですが、初めのうちは「つき」が自分の身体

▲ドッグカフェにて仲良し3人組



▲私と一精で素敵なツリーでしょ？

ードに肉や野菜を足したものをあげていますが、チワワ達には手作りごはんも食べさせてあげたくなり、すべて手作りに変えました。でも、とにかく量が多いので、ドッグフードにしておけば良かったと後悔する事も有りましたが、今ではいろいろと工夫をしたり、少しの手抜きをしたりと楽しみながら作れる様になりました。つきはとても優しくても優しくてチビ達が悪さをすると、間に入ってきて怒らないでというように、私や主人の顔を舐めてきます。とても甘えん坊で家中、私の姿を探して歩きまわったり、少し姿が見えないとキューンキューンとないたりします。その声を聞くとこんなに私の事を大好きなんだととても嬉しく幸せな気持ちになります。

週末は皆で麻布十番の商店街や南青山の方にもお散歩に行ったり、ワンちゃんOKのお店に食事に行ったりと楽しく過ごしています。お散歩も大分飛びつきが無くなってきましたし、どこのお店に行ってもとてもおとなしく良い子にしています。つきと出会えた事で、色々な方とお知り合いになりました。(福)日本聴導犬協会のパピークラスや犬連れ旅行に行ったりと私の生活も少しずつ変わった様な気がします。

これからも毎日楽しく笑って過ごして行けたらと思っております。

その後も継続して協会のイベントに参加しています。

補助犬よりも、家庭犬向きの子たちの“新・家族”になってください！

★その欠点までも愛情で包み込んでくださる「新しいご家族」＝“新・家族”を募集しています。

★新・家族のプロセス

- 第1次審査: 申込書記入
- ↓
- 第2次審査: 面接およびご家庭訪問
- ↓
- 第3次審査: ご家族と犬とのお見合い
- ↓
- 第4次審査: 1ヶ月のマッチング期間
- ↓
- 最終審査: ご家族と犬の“しあわせ度”チェック

★主な条件

- ① 家の中で一緒に生活して下さる方
- ② 犬を一人きりにする時間が少ない方
- ③ 愛情をもって一生涯一緒に暮らせる方
- ④ 小協会発行の新家族通信に手紙を送って下さる方
- ⑤ 時間の合う時に、協会のイベントに犬と一緒に参加して下さる方
- ⑥ 大歓迎 (協会の活動にご理解のある方)
- ⑦ これまでにかかった去勢、避妊手術代や、ワクチン代などの費用の一部として5万円以上のご負担をお願いします等。





たくさんのおみなさまのご支援に支えられた 16年間



台湾国立 屏東科技大学付設「工作犬訓練学校」にて。
副学長(左)。有馬から国際認定書の授与を Ming (右から3番目)に



▼初の沖縄県内認定試験。受験生けい君

▼東京都聴覚障害者大会にて



▲非常勤講師として有馬講義 (帝京科学大学)



▲「説明ご理解できました？」ふじ談
(東京事務所オープンデー)



▲たましるの郷 ご来所デモ



▲ご指導をいざなく 赤坂動物病院 柴内先生と。学院
生も嬉しい (インターペット 幕張メッセにて)



▲NCAにて。聴導動作訓練中。
タッチ・タッチ・タッチ・タッチ！
(のぶ・りん・ふじ・あさひ)



▲「新人は気を遣いますよね?ポク、たんちゃん。よろしくね」



▲朝日生命長野支社長ご来所。
寄付金贈呈に感謝!



▲母強し。乳母車
に、聴導犬あいに
旅行かばん。



▲学院講義：藪田先生(帝京科学大
学教授) 「動物の行動学」
8



▲学院講義：川口講師 (デ
ビフペット)「ペットと食を
考える」

やさしさをいただけける光栄と感謝

▼JR 東日本、乗車訓練に協力。
八王子駅長さんに表敬訪問



▼兵庫県動物愛護センター
視路支所から候補犬



▼15周年式典。ユージー勢揃い



1年遅れの15周年記念式典！！
たくさんの方々に、お出ましいただけました。応援をありがとうございます。皆様、本当にありがとうございます。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。



▲ボランティアさんへ
心より感謝をこめて...



▼NPO 資金調達
セミナー参加



▲アブライ・ネットワーク
ご来所支援犬こうちゃん



▲ご支援者「大人と子供のための読みきかせの会」
のみなさまと中井貴恵様ご来所



▲式典で、山根一真先生の講和...



▲聴導犬こん&ユージー
講演会・パピークラスにも積極的に



▲GD チャリティゴルフにて引地社長様・梅宮辰雄様と



▲獣医学フォーラムにて



⇒渋谷で募金活動&パピー
クラス「たくさんの方に会
てきたよでん。」



▲緑・事業防犯組合様ご来所デモ



▲国際色豊かな補助犬シール



日本で初めて公的交通機関（JR西日本）の同伴許可を得た 聴導犬みかん（13歳7カ月）、天国に旅たちました。

「こんなにも思わなかった 夢にも楽しく、安心できる生活」

岸本淑子（『全日本聴導犬ユーザーの会』理事 元聴導犬みかんユーザー＆聴導犬しんユーザー）

日本聴導犬協会のお蔭様で無料貸与していただいた聴導犬みかんちゃんと後任の聴導犬しん君と一緒に生活して来て、本当に良かったと思います。

みかんちゃんが来るまで、生活の中で、私は失敗が多くて、暗い表情も多かった様です。聴導犬のみかんちゃんが来てから失敗もなくなり、自信がもてるようになりました。

みかんというワンちゃんに出会えたことで、こんなに楽しく、安全で安心できる生活がおくれるなどは、夢にも思っていませんでした。

みかんちゃんと一緒に居られて、私たち家族は本当に一番の幸せをたくさんもらえました。数年前から、聴導犬のしん君が、引退したみかんちゃんの後を引きついで頑張ってくれています。

我が家だけでなく、みかんちゃん存在は、日本での聴導犬の象徴的存在でした。その愛らしい外見と素直な性格、賢明な行動で「日本初(2001年)！聴導犬が公的乗物(JR西日本)への同伴試験合格」という快挙を成し遂げてくれました。世界一といわれる英国聴導犬協会から「国際認定聴導犬」として、英国国内を自由に歩ける認定までもいただきました。聴導犬の普及活動に多大な貢献をなしたと思います。

みかんちゃんは、この7月に亡くなりました。

先立だったタカちゃん、ななちゃん、クロちゃんに天国で再会し、仲良く遊んでいると信じています。みかんちゃんは今も私たちの毎日をきっと天国から見守ってくれているでしょう。

この16年間、有馬会長はじめスタッフの献身的な努力は立派です。聴導犬育成と普及は、障がい者の自立と権利擁護の確立に大きな役割を果たしています。

(福)日本聴導犬協会の16年間にわたる地道な活動に、心より敬意

と感謝を申し上げます。次第でござります。誠にありがとうございます。協会のみかんちゃんよりお祈り申し上げます。

みかんちゃん
は、世界一！
りっぱな聴導犬
でした。



聴導犬みかんと岸本淑子様

「岸本家のみなさまのおかげです」

(福)日本聴導犬協会 会長 有馬もと

およそ14年前。岸本家に貸与されるはずだったのは「さわ」ちゃんでした。淑子さんとさわちゃんとお見合いも順調に済み「かわいい子」と、後3カ月と貸与が待たれる時の急死でした。急性化膿性腎炎でした。悲しいお別れでした。

その頃、茨城県から「この子は絶対に普通の犬と違う」と、スパーの前で保護した元捨て犬のみかんを連れて来てくださったのが、亀山さんでした。「候補に選ばれない犬の方が多い」と前置きをし、路上で適性検査を開始しました。突然、宮田村小学校の新入生がやってきて、みかんちゃんを取り囲みました。「先生、危ないですよ」と言う間もなく、もじのような小さな手のみかんちゃんを取り巻き、そのヒラヒラした動きの中で、みかんちゃんはいれそうに尻尾をブルン・ブルンとふっていました。その場で、候補犬として選んだ時、亀山さんには「ここが、私の来るべき場所よ。連れて来てくれてありがとう」とみかんが言っているような気がしたそうです。さわちゃんがなくなり、どの子を岸本家に貸与するか迷いました。みかんちゃんは訓練をすぐに修得し、最短で貸与レベルまでに達しました。そして、岸本家へ。私には「これは私が与えられた使命だったのよ。ありがとう」と、みかんがほほ笑んでいるようです。みかんが、これだけすばらしい聴導犬となれたのは、淑子さんの強いきずな故です。みかんを幸せに育ててくれた岸本家のみなさま、ありがとうございます。



聴導犬みかん

聴導犬・介助犬訓練士養成で国際基準を目指す「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」

第4期生:伊藤里英・岡田彩子・奥嶋千夏

(福)日本聴導犬協会付属「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」第4期生の伊藤、岡田、奥嶋と申します。

入学してから11カ月が経ちました。

現在は聴導犬・介助犬の基礎訓練、聴導訓練、介助訓練、高度な社会化。パブリックアクセス(乗車訓練)などあつと言う間に1日が過ぎていきます。講演会や普及活動にスタッフと同行。毎日の手話の実習に、日本を代表する講師の講義後は、レポートの提出もあります。日々学ぶことが沢山あり充実した毎日を送っております。

2012年度は、日本聴導犬協会「15周年記念盛典」。カナダから認定委員を招いてADIの再認定試験の受験。バルセロナでのADIカンファレンスに参加。そして、ADIの相談役として有馬会長の、台湾の国立屏東科技大学付設「工作犬訓練学校」へ同行など、素晴らしい出来事が沢山ありました。多忙な中でも、敬語や謙譲語に心がけた実践的会話法。お辞儀の仕方、お客様へのお茶の出し方など礼儀作法も学ばせていただいております。少しずつですが、自分たちの成長を感じられるようになりました。

候補犬訓練では学院生で各々の犬の性格や癖から、どのような工夫が必要かを話し合い、訓練に生かせるようになりました。以前、あるイベント



▲買い物訓練 (伊藤さん&だいすけ)

▼駒ヶ根ふれあい広場にて (岡田さん&りん)



自然と身に付いているようです。

さらに学院生は、保護団体からの譲渡犬の乳母という大役もあり、抱っこ袋に子犬を入れ、2回目のワクチンをするまでは、母犬がわりをします。

子犬の1日の成長はとも速くトイレ訓練から、ヒール・ウォーク(横につく歩行)の訓練もこの時期にしますので、学習成果が楽しみでなりません。

バス研修ツアーなど、ご来所での講演会では、お客様にわかりやすく伝えられるのかを、常に考えながらみなさまに講演をさせていただきます。

最近では1月の卒業試験に向けて、買い物訓練、バス・電車の乗車訓練を重ねています。卒業まで残り2カ月を切りましたが、全員で無事に卒業できるように、また卒業式では成長した自分達の姿を披露できるように更に学習に力を注いでゆきたいと思っております。



▲初めてのお母さん役 (奥嶋さん&ころ)

「学院生の向上心から学ぶ」 訓練主任 矢澤昌子

今年は冬の訪れがはやく、寒さも一段と厳しいように感じます。

長野では寒さが一番厳しい2月に、入学式と卒業式を迎える訓練士学院です。第4期生にとりましても、はやいもので残すところ1ヶ月余りとなりました。遅く成長されたみなさまは、卒業試験や研究発表の準備にも頑張っておられます。1年間の短い学院生活ですが、日本を代表する講師陣から特別授業をいただけます。スタッフに同行してのユーズー訓練やアフターケア。講演会でのデモなど、実際の学院生活は、確かに時間的にも厳しいものですが、指導をさせて頂く立場として、たくさんの体験を通して学び、感じることでご自分の知識と経験の引き出しを増やして頂けたらと常に願っております。

いつの間にか気がつくと、入学当初の学院生さんとは表情や物事に向き合う姿勢が随分変わって、頼もしい存在となられています。学院生のみなさまの姿から、向上心を持ち続ける大切さを感じて私自身も学ばせて頂いております。卒業後、入学生4名のうちの数名がスタッフとして協会を盛りたててくださいます。第1期生からスタッフになった佐橋先輩を見習って、大きく成長してほしいと願っています。これまでの学院生でも、スタッフとして一緒に歩んでくださる方、また学院で学んだ中からご自分なりの道を歩まれる方も、社会で役立つ人材に成長されると確信しております。後は、卒業試験と卒業発表です。



▲学院生のデモンストラーションでの説明の練習中

みなさまのお力添えで、候補犬たちはスクスク&補助犬たちは元気です (2012年6月1日～2012年11月20日まで)

謹んで、ご支援をいただきましたみなさまのお名前のご紹介をさせていただきます(個人名は、ご迷惑がかかる場合があります)ので、団体または企業名のみご紹介させていただきます。ライオンズクラブ様はLC、ロータリークラブ様はRCと略させていただきます。敬称略・順不同とさせていただきます。▼時節柄、静電気にはご注意ください。聴導犬しん

<自動申込者数>

20名のみなさま(郵便局から寄付等の定期的な自動振込みができます。ぜひ、ご協力のほどお願いいたします)

<聴導犬・介助犬育成 スポンサー・ショップ&ガーディアンシップ>
国際ソロプチミスト大阪・みささぎ、アシユラン、グランドデュークス
シーガルフォアインヴァイターショナル事務局、東京田無LC、
朝日生命保険相互会社社長野支社

<団体・企業サポーター>マルゲンインターナショナル
<ご寄付を頂きました皆様>

南大阪みささぎ LC、小豆島動物病院、手話サークルたんぽぽ、松岡クリニック、メガネの洋光、池田耳鼻いんこう科医院、森耳鼻咽喉科医院、ヒューマン・グリーンサービズ、摂津手話サークルもくもく会、ピュア動物病院、綾部動物病院、岐阜県耳鼻咽喉科医会、第百通信工業、山本耳鼻咽喉科、高松牧場、神戸動物植物環境専門学校、竹山地区社会福祉協議会、日本基督教団城西教会城西教会学校、東戸塚アーバンコンフォートペット飼育委員会、有志、大鹿村社会福祉協議会、尾張旭LC、ホテルラベル INN、日本発条労働組合伊那支部、下平損害保険事務所、2R 横浜コスモポリタンLC、LC 国際協会 334A 地区 6-1Z、多治見クラジック、第一生命労働組合松本支部、武蔵野美術大学校友会大阪支部、DOG GARDEN BABY-BOO、安城南LC、手話で結ぶ友の集い実行委員会、琵琶地区民生児童委員協議会、加茂民生児童委員協議会、LC 国際協会 334-A 地区 4R、LC 国際協会 334-A 地区 2Z LC、LC 国際協会 334A 地区 1Z、豊田ルネッサンスLC、LC 国際協会 334-A 地区 2R 3Z ZC、飯田工業高校ボランティア委員会、中沢乳業、ミヤイン

<協会募金箱のご送金のご協力を頂きました皆様>

松原クリニック、高牟礼耳鼻咽喉科、アルブレツサ日建産業岐南センター、田口クリニック、加藤耳鼻咽喉科、長野大学付属図書館、魔女の家、岡田医院耳鼻咽喉科、秋田耳鼻咽喉科、こやま動物病院、稲川耳鼻咽喉科、しのだぎき動物病院、鳥羽シヨビツピングクラブ、和ダイニンジック風ぐるま、あきやま動物病院、県立広島大学コミュニケーション障害学科、アジマヤ靴店、シバタ動物病院、チャペンピオンカレー、満油商事、まるい園茶舗、中村文具店、ふる里交流プラザ、ホーム動物病院、佐々木あすなろ整骨院、しろね動物病院、写真の店山、ぱんだ動物病院、外科・内科耳鼻咽喉科、あけぼの歯科医院、ラネット、トマテズリペットアトリエ、ペンション南季の灯、美容室ぺるる、あけぼの歯科医院、ハケ岳わんわんパラダイスニングセンター東京、霞町蕎麦処ますだ屋、パロット動物病院、八ヶ岳わんわんパラダイス、丹波田中畜産 牛屋たなか、神奈川リオネット販売、アーツ動物クリニック、長野ろう学校、四興楼、くに旅行サービス、アルプス中央信用金庫本店、ベルシヤイン伊北店、ニッサワシヨツパース辰野食品館、つちかね整形外科クリニック、ペットのあしあと、こまきさの湯、サークルK 伊那上の原店、軽井沢ホテル音羽の森、布の工房モリショー、松乃本店、サークルK 西町店、たのめ生鮮食品館、石川犬猫病院、アピタ高森店、ホテルニューオータニ大阪、ヤフー、中部ペパジニューズ販売 岡谷支店、日本 GE

応援ありがとうございます。



施設準備金 4,860,133 円(総数 226 名)になりました。 ご支援者 208 名(2008 年 12 月 18 日～)のみなさまに感謝申し上げます

ユーザーのみなさまと協会の福利厚生のための屋外訓練整備準備金の第1次目標額 2,500 万円を目指しております。工事内容は、隣の畑との境界線となる土留め、バリアフリーのための駐車場整備、フリーラン部分のタータン設置などです。2008 年 12 月 18 日～2012 年 11 月 30 日までに 226 名様から 4,860,133 円を頂きました。今回は、2012 年 7 月 1 日～2012 年 11 月 30 日までのご支援で、掲載許可を頂いたうえで(敬称略、順不同)ご紹介させていただきます。今田康介、平尾秀夫、澤田 賢、関 奈保子&ミント、azbil みつばち倶楽部、アズベル株式会社。ご芳名の掲載確認中のみなさまは次回に掲載させていただきます。お力添えに心から御礼を申し上げます。

◆◆ 商品などのご提供を頂きました、スポンサー企業の皆様 (敬称略、順不同)
<商品の提供を頂きましたスポンサー企業の皆様:協会犬の健康サポート、候補犬の育成と環境への配慮のために商品の提供を頂いております。厚く、お礼を申し上げます>

日本ヘルズコルゲートから優れた栄養バランスの「犬猫フード&トリーツ」。スマイルから施設内を衛生的に保つための「除菌アルコール」。ワンフーから原料にこだわり新鮮な「犬用&猫用フード」。デビアペットから健康を考えた安心な「ドッグフード・缶詰や犬用おやつ」。花王から「アタック」「ミット」「ピオレ」。みちのくファームから安全でおいしいお肉の「にぼらび」。北杜からヘルシー「食材鹿肉使用の「ペニントンドッグ」。キャリコから「IT 関係管理」。を頂戴しました。
<相談及びご支援>



聴導犬がけい君

赤坂動物病院、せいしん特許法律事務所、小林会計事務所、ソフトウェア建設
お力添えを賜りますこと、スタッフ&協会犬一同、心より、御礼を申し上げます。
ペットシーツ、うんち袋のスポンサー企業を探しています。ご協力をお願い申し上げます。

講演会・デモンストレーション、パブリシティ

■ 取材&パブリシティ ■ (敬称略、順不同)

(2012年7月～2012年11月まで)

◇7月 社協報にこりんNo.116～聴導犬協会訪問～/やすらぎ通信～「聴覚障がいによる不安を取り除き、安全と安心をもたらす聴導犬～」

◇8月 公明新聞「聴導犬の普及促進へ 古屋議員、日本聴導犬協会会長と意見交換」/JA上伊那発行の「らるVol.195代表犬タカ」の「聴導犬って、ね」(連載)/朝日新聞 私の名は「さち」被災犬2世～「家族の一員に迎えて」～

◇9月 「らる」Vol.196(連載)/パンブキン10月号「生きること」を支える聴導犬やさしい福祉を日本へ、未来へ!/公明新聞「障がい者と交流深めよう聴導犬の働きぶりも実演」/社協報にこりんNo.117「夏のボランティア体験 聴導犬協会(宮田村)訪問」/地元パチンコ店で社会化訓練⇒信濃毎日新聞「聴導犬パチンコ店で初訓練」/TV:伊那MAYウェブニュース(伊那ケーブルTV)「聴導犬がパチンコ店で社会性訓練 日本聴導犬協会が初訓練」

◇10月 国際クラブ10月号「障がい者を元気に～幸せ招き犬～/いぬのまねらに11月号「ハンデイクイック犬との生活 第21回生まれながらにして両耳が聞こえないハロ一もん太くんのお話」/らるVol.197(連載)/クラブライフ案内(さなげカントリークラブ)2012年10月Vol.52/日本聴力障害新聞 第754号「聴導犬に出会うために 聴導犬まるわかりマニキュアル聴導犬はやわわりDVDを發行」/(財)人権教育啓発推進センター発行 アイユ Vol.257 11月・12月の人権啓発行事予定/デフラフイフジャパン 2012 Vol.15「聴導犬にならなかつた・・・耳の聴こえない王子様もん太」/フワアワーハイン通信訪問犬との交流/15周年記念式典について⇒長野日報「聴導犬育成へ意欲 宮田協会が15周年祝い」/信濃毎日新聞「日本聴導犬協会が15周年11年遅れ式典 施設拡充へ寄付募る」/TV:駒ヶ根ケーブルTV

◇11月 南信州新聞「聴覚障がいと聴導犬を知ろう」/川路小・公民館が人権講座/らるVol.198(連載)/月刊かみいな/中部経済新聞「親睦と相互理解奉仕の源に」

■ デモンストレーション&講演会 ■ (敬称略、順不同)

(2012年7月18日～2012年12月30日まで)

※略させていただきました。ライオンズクラブ⇒LC。デモンストレーション⇒デモ。

◇7月 舞阪地区民児協ご来所デモ(長野)/第34回ふれあい広場 さんどびあ飯田(長野)

◇8月 日本聴導犬協会を支援する会 第8回ガーデナーチャリティバザー(長野)/宮田村本部:補助犬相談会&オープンデイズ(長野)/宮田村園長会ご来所デモ(長野)/宮田村生涯学習教室 宮田大学院ご来所デモ(長野)/たのしい夏まつり(愛知)/インターペット募張メッセにて(千葉)/第6回ふれあい広場 伊那(長野)/宮田小学校2年2組(長野)

◇9月 第28回ふれあい広場 駒ヶ根(長野)/住吉地区



▲デモ先でたくさんの方との笑顔にお会いできます。

民児協ご来所デモ(長野)/磯子区民生委員児童委員協議会ご来所デモ(長野)/伊那市畜産地区民生児童委員協議会ご来所デモ(長野)/6R-1Z 新善チヤリテイーゴルフ大会(愛知)/子ども点字・手話教室 八王子市心身障害者福祉センターにて(東京)/宮田村本部:補助犬相談会&オープンデイズ(長野)/たましの郷ご来所デモ(長野)/マルギンインターナショナル(長野)/動物愛護フェスティバル 2012 インこもろ(長野)/赤磐市熊山地区民生委員児童委員協議会ご来所デモ(長野)/第14回日本臨牀獣医学フォーラム年次大会 2012(長野)/動物ふれあいフェスティバル 2012(埼玉)/厚生労働省主催:身体障害者補助犬法施行10周年記念!!「身体障害者補助犬法ってなんだろう?」ららぽーと甲子園にて(兵庫)

◇10月 第1086回例会(献血・健康診断)(愛知)/第18回 福祉ふれあいまつり(長野)/松川村教育委員ご来所デモ(長野)/LC 国際協会 334-E 地区(長野)/マルギンインターナショナル(長野)/市民祭(愛知)/宮田村本部:補助犬相談会&オープンデイズ(長野)/枇杷クラブご来所デモ(長野)/岐阜県要約筆記サークル「かがり火」(岐阜)/上伊那市町村教育委員会事務局職員研究協議会研修会(長野)/伊賀良まちづ



▲聴導犬ユーザーと大きな荷物を持ち、人権週間講演会に向かう当協会会長

くり協議会 健康福祉委員会ご来所デモ(長野)/浜松雄踏赤十字奉仕団ご来所デモ(長野)/軽井沢中部小学校(長野)/加茂地区ご来所デモ(長野)/雄踏地区民児協ご来所デモ(長野)/LC 国際協会 334-A 地区 2Rチャリテイーゴルフ大会(愛知)/長野県 LC 女性のつどい(長野)

◇11月 緑・事業防犯協会ご来所デモ

(長野)/高遠城址クラブハウス (長野)/船舶における高齢者等の安全講習プログラム(沖繩)/日本獣医師生命科学大学 日獣祭ペットショー(東京)/スマイルハートフェスタ in au NAGOYA(愛知)/LC 国際協会 334A 地区 4R 聴覚チャリテイーゴルフコンベンペ(愛知)/丹波市地区民生児童委員協議会ご来所デモ(長野)/塩尻市立丘中学校 PTA 講演会(愛知)/6R・2Z 新善聴導犬育成チャリテイーゴルフ大会(愛知)/塩尻市立丘小学校(長野)/ふれあい学級 原村中央公民館(長野)/山手学院中学校(神奈川)/県民の日/人権教育啓発推進センターと山梨県の共済事業(山梨)/第59回東京都聴覚障害者大会(東京)/グランドデュークスインヴァーシヨナルチャリテイーゴルフ(東京)/LC 国際協会 334-A 地区 7R2Z 合同チャリテイーゴルフ大会(三重)/川路小学校「人権教育講演会」(長野)/LC 国際協会 334-A 地区 1R1Z 7 クラブ合同チャリテイーゴルフコンベンペ(愛知)/宮田村本部:補助犬相談会&オープンデイズ(長野)/八王子事務所:補助犬相談会&オープンデイズ(東京)/美容組合上伊那支部(長野)/宮田村生涯学習グループ おやじ道場ご来所(長野)/第4回GEバリアフリーネットワーク年次総会(東京)/七久保小学校 人権講演会(長野)/シーガル倶楽部チャリテイー食事会(東京)/摂津市立鳥飼北小学校(大阪)/日本ボーイスカウト長野連盟 駒ヶ根第1団カブスカウト隊ご来所デモ(長野)

◇12月 「ふれあいフェスタ 2012」人権教育啓発推進センターと北九州市の共済事業(福岡)/吹田手話サークル「風」(大阪)/駒ヶ根 LC 例会(長野)/弥富 LC 例会(愛知)

当協会へのご寄附は、所得税・相続税・法人税の税制上優遇が受けられます

＜個人様の場合＞みなさまからの(福)日本聴導犬協会へのご寄附は、確定申告により、1.所得控除や 2.税額控除(平成24年4月1日～平成29年3月31日までの5年間)を選ぶことができますようになりました。所得控除と税額控除はいずれか一方の選択が可能ですので寄附者にとって有利な計算方法をご選択ください。

1、寄附控除(所得控除)を受ける場合(総所得金額等の40%相当額が限度)

● 計算方法: 寄附金合計額(総所得金額等の40%相当額が限度) - 2,000円 = 寄附金控除額

例: 10万円の寄附では、10万円 - 2千円 = 98,000円が寄附金控除の金額になります。「98,000円 × その方が適用されている所得税率」が税金の軽減額となります。所得税は「累進課税」ですので、所得が多いほど税率が高くなります。つまり所得税率が10%の方であれば、98,000円 × 10% = 9,800円。20%であれば、98,000円 × 20% = 19,600円が税金の軽減額です。

2、税額控除を受ける場合(所得税額の25%が限度)

● 計算方法: 寄附金合計額(総所得金額等の40%相当額が限度) - 2,000円 × 40% = 寄附金特別控除額
 例: 10万円のご寄附では、(10万円 - 2千円) × 40% = 39,200円が税金の軽減額となります。ただし、所得税額の25%が控除限度額となりますので、所得税が8万円の人であれば、20,000円が税金の軽減額の上限です。

3、相続税

相続により取得した財産の一部または全部を、(福)日本聴導犬協会にご寄附頂いた場合、寄附した財産に相続税が課税されません。相続税の申告期限は被相続人が死亡したことを知った日の翌日から10カ月以内とされています。それまでにご寄附頂いた財産の相続税が非課税となります。非課税の扱いを受けるには、寄附先団体からの領収書と証明書が必要です。

＜法人様の場合＞法人様で、(福)日本聴導犬協会にご寄附いただいた場合は、確定申告によって次の限度内で法人税が課税されません。下記、法人の1、2の限度額は併用することができます

1、一般寄附金(損金算入限度額)

(資本金等の金額 × 事業年度月数 / 12 × 2.5 / 1000 + 当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 1000) × 1 / 4

2、社会福祉法人等に対する寄附金(特別損金算入限度額)

(資本金等の金額 × 事業年度月数 / 12 × 3.75 / 1000 + 当該事業年度の所得金額 × 6.25 / 1000) × 1 / 2

※確定申告には日本聴導犬協会からの領収書が必要です。ご送付した領収書は大切に保管下さい。

ご寄付をお願いいたします(※個人寄付者名の掲載には事前許可をいただきます)

＜郵便振込 口座番号 00590-1-93275 社会福祉法人日本聴導犬協会＞

寄付および支援の種類	使途目的	寄付額	特典
「タッチ&スマイル」サポーター	運営費全般	4000円(年間)以上	サポーターカード発行。協会新聞、協会犬お礼状の送付。当協会聴導犬「あしながおじさん」
介助犬「あしながおじさん」	聴導犬育成のみ 介助犬育成のみ	3000円/月 × 12、 36000円/年額	聴導犬・介助犬訓練士学院座学1コマ(1時間半)受講。ウェブサイトの壁紙・はがき無料ダウンロード
「企業・団体」サポーター	運営費全般	50000円以上	企業・団体名が協会新聞に掲載、協会新聞・協会犬お礼状送付
一般寄付	運営費全般	おまかせ	協会新聞・協会犬お礼状送付
施設整備準備金	訓練施設整備のための建設費用	おまかせ	高額ご寄付者(10万円以上)名をご支援者パネルに永続的掲示
スポンサーシップ	訓練費用1頭分	100万円以上	聴導犬または、介助犬コートに「協会支援者」として、お名前を刺繍
ガーデニング	ケア費用1頭分	100万円以上	協会新聞、協会犬お礼状送付
タカちゃん基金	貸与犬の医療費	おまかせ	協会新聞、協会犬お礼状送付
特注・自販機(ペプシコーラ)設置CSRの当協会オリジナル)	運営全般	自販機契約時に決定	協会新聞、協会犬お礼状送付

インターネット募金。詳細は日本聴導犬協会HPへ <http://www.hearingdog.or.jp>

クレジットカード募金	一般寄付と同じ	おまかせ	協会新聞送付、協会犬からの手紙
電子マネー「ちょコム」			
Yahoo「ボランティア募金」			

聴導犬・介助犬育成のための募金箱設置をお願いいたします!

詳しくは、別紙の「募金箱設置申し込み用紙」をご覧ください。か、(福)日本聴導犬協会までお問合せ下さい。
 ※募金箱の発送料(着払い)は、ご負担いただけますよう、お願い申し上げます。

■ E-mail: inf@hearingdog.or.jp ■ TEL: 0265-85-4615 ■ FAX: 0265-85-5088
 (募金箱設置申込書はホームページ <http://www.hearingdog.or.jp> より、印刷してご使用いただけます)



～Pro-Dog(愛犬家またの名を犬吉) Club

事務局 気賀澤 敬子

紅葉の秋は足早にかけぬけて、冷たい風が身にしみるこの頃となりました。

2012年春スクールの受講生や先輩たちも一緒に、毎月第一土曜日の10時から協会周辺で「無料しつけ教室」を続けております。寒い日あり、暑い日ありですが熱心な生徒さんたちのおかげで、だいぶ定着してきました。時にはちがった場所でも6月には杜の市(駒ヶ根市)で行楽の人波をぬって、飼い主さんは頑張って歩きました。緊張の連続でしたが、山の中は気持ち良かったです。11月には高遠城址の“クラフトハーツ”に集合。会場の中を皆で歩きましたが、日ごろ努力されている成果が出て、落ち着いた素敵なドッグウォークになりました。食事のときのマナーも、お勉強をしましたね。いい匂いがするし、他の犬もたくさんいて大変だったけれど、それぞれとても成果があったと思います。

失敗や苦勞を乗り越えてこそ愛犬との絆も強いものになるでしょうね。先輩たちも、私たちがボランティアも皆経験済みですから、お互いに苦勞がわかり共感し、つい熱もこもり、時間が終わってもなかなか解散できないこともたびたびでした。月一回ですが、その時間を大切に思われる皆様はほんとに愛犬さん想いです。『なにがあっても、うちの子が一番!』という愛情がひひしと伝わります。(福)日本聴導犬協会の貴重な体験と指導を受けられ、相談や情報交換のできる機会でもありますので、より多くの方と、もっと幸せになりたい犬たちにご参加いただけたら、と願っています。

例年どおり、来年も3月からまた“春のしつけ教室”が始まります。どんなワンちゃんとお出會えるか、飼い主さんと出會えるか、とつても

▼しつけ教室でこんな出会い



楽しみます。卒業生であつても、もう一度受講したいと希望される場合は大歓迎です。申し込みをしてくださいね。

さて、この10月6日はビッグイベントがありました。日本聴導犬協会において【15周年記念式典】が行われました。当日は、協会を支えてくださった大切な来賓100名の方々のお出ましをいただきました。ご支援者のお話をお聞きしながら、つくづく有馬さんをはじめとするスタッフの地道なでも広範囲にわたる15年間の活動を思い、強く尊い使命感を抱いて歩み続ける協会の活動に心から敬意を表したいと思ひました。温かい笑顔と空気が協会の庭いっぱい広がっていました。

地域に幸せ犬がたくさんになりますように。



▲クラフトハーツでのしつけ教室

2013年3月31日(日)から5回。第18回Pro-Dog Schoolがスタート

1997年以来、3月末から5回だけのコースとして、毎年行っておりますPro-Dog(愛犬家)Schoolが2013年3月31日から始まります。お早めにお申し込みください。風光明媚な「ふるさと之丘」(駒ヶ根市)で実践を行います。事務局の気賀澤様をはじめ、Pro-Dog School 上級コースを卒業された地元のボランティア・インストラクターの協力が得られるからこそその「地域社会貢献活動」ができます。大感謝です。インストラクターは愛犬家同士だからこそ、参加された方たちの悩みや問題を一緒に解決させていただきます。初級コースは、基礎から応用までの全5回コースをおこないます。

Pro-Dog School 初級は、全5回(10,000円)ですが、その5回を修了した方は、特典として5月以降、月1度のしつけ教室には無料で継続的に参加いただけます。

【問合せ】(福)日本聴導犬協会 気賀澤・佐橋【料金】全5回 受講料:10,000円
TEL:0265-85-4615&5290 FAX:0265-85-5088 E-mail: inf@hearingdog.or.jp
(メールの方は“Pro-Dog 申込”と書添えの上お申込みください)

〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 7030-1



にゃん太通信:猫のしっぽに「すず」

▼必殺! にゃん太パンチ!

2013年に14歳になるにゃん。若い嫁(たけ、本猫にはその自覚はない)も来たし、毎日十数頭の犬たちに囲まれて、のんびりとした中でも緊張感のある毎日にや。猫生としては「いけて



る!」。協会の犬たちの教官として「猫たるもの」について、時にはやさしく、時には「シヤァ」と牙と爪をむき出しにして教授する。ワイはな、一目おかれてる。ワイはな、偉いんや! のはずだった。

テューブルの真ん中でおいしいご飯を食べた。周りの犬たちは、うらやましうに見上げてた。「ええやろ? ぶっちゃけ 猫は犬とはちやうねん。3次元で動けるんや、な」(スタップ「なんで岸和田弁?」。「うまい〜」と上を向いたとたん、グ、グ、グーと後ろに引張られた。尻尾がテューブルの端から下がってたあ。プラプラ揺れている尻尾にすず(川上犬ミックス)がぶら下がりがり「ギヤツ」。(意味は違うが)ひと皮、むけました。

心から、お礼を申し上げます

2012年6月21日~2012年11月28日まで

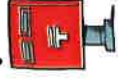
＜物品内容＞ 切手 115,621円、書き損じ葉書 2,432枚、商品券 32,480円、テレホンカード 150枚、図書券 9,100円、JR 東日本カード 7,000円、ピール券 32枚、オレンジカード 2,000円、セブンスマイル商品券 1,000円、花商品券 22,500円、ジェラルムカード 3,000円、コカコーラギフト券 10枚、食事券 5,000円、宝くじ 3枚 ◇協会犬用: フード、タオル、衣類、ごほうび、パスタオル、洗濯洗剤、食器用洗剤、ペットシーツ、ウェットティッシュ、洗濯ハサミ、リステリン ◇スタッフ用: 野菜、お菓子、ヨーヒ、事務用品、カムテープ、ハサミ用品、柿、着物、羽織、帯、イスクラム、ジャカマ、トモモロコシ、15周年お祝いなど。これからも、よろしくお祝い申し上げます。

ぜひ、送ってください。お願いします。

純毛布手! 書き損じハガキ、未使用の切手やテレカ、商品券、ピール券、ガソリンカードで使える金券、各種プリペイドカード、修正液、薄手のペットシーツ、食器用洗剤、液体の洗濯洗剤、ブリーチ、リステリン(オキシナール)、中〜大型までの犬用タワンや洋服(新品のみ)、カムテープ、のり、油性ペン、付箋、洗濯ビンチ、クリアアール、クリアブック等 ●毎年恒例の協会感謝デー(10月)でのハサミ用品にご協力下さい。

書き損じハガキ大募集!

書き損じハガキ 2枚で、
協会新聞1通分の通信費になります。
ご協力をお願い申し上げます。



※7500通郵券を送るのに書き損じハガキ 15000枚が必要です。ご協力をお願いします。

＜ご寄付振込口座:郵便局＞

社会福祉法人日本聴導犬協会 00590-1-93275

施設準備金、運営全般、聴導犬、介助犬、公益等使用目的のご指定願います
クレジットカードご寄付もご検討願いますか。HP: www.hearingdog.or.jp

心からの応援お願いします!

伊那支店

料金引納
郵便

ゆうメール



候補犬「ころ」10カ月

AD(国際アシスタンス・ドッグ協会)国際認定&元理事/NPO 法人(ボランティア)受賞/英国聴導犬協会アシエエート
厚生労働省 関東信越厚生局長所管
厚生労働大臣指定法人 寄附控除および税額控除対象法人
社会福祉法人 日本聴導犬協会新聞

当事者と共に実現する「障がい者支援」と「動物福祉」を使命とし

「人と動物が共存できるまちづくり」をめざす

Tel:0265-85-4615&5290 Fax 専用:0265-85-5088 <http://www.hearingdog.or.jp>



2006年度 2012年度
 (福)日本聴導犬協会新聞
 長野県上伊那郡田村7030-1

発行人:有馬もと
 編集: MAYUMI・矢澤昌子
 村澤久美子・奥嶋千夏
 松澤円・前田来仁子

発行:年2回
 購読料:定価 200 円
 ©(福)日本聴導犬協会
 無断転載コピー厳禁

2014 年前期 Big News 1: 功労動物賞に故・聴導犬みかん

みなさまのお力添えの賜物です。(公財)日本動物愛協会によりユウザーの岸本淑子さんに貸与された聴導犬みかんに「功労動物賞」が授与されました。

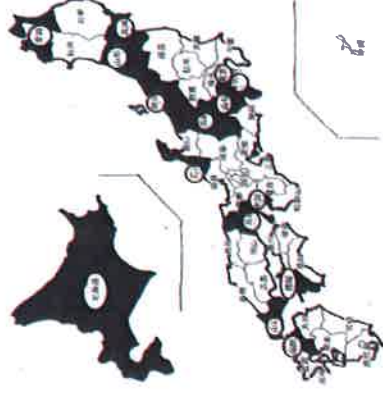
聴導犬みかんは引退後もユウザーの岸本家で暮らし、2012年7月に13歳半で病死しました。幸せな一生でした。みかんは、日本で初めて(身体障害者補助犬法施行前の2001年)、公的機関(JR 西日本)同伴試験に合格。世界で最も成功する「英国聴導犬協会初」のCEOアンソニー・ブランド氏による国際認定試験にも合格。英国での同伴権利を得ました。日本での聴導犬訓練の高さを、国内・外に知らしめ、聴導犬普及に大きな貢献をいたしました。

▼日本初!公的機関合格



Big News 2: 全国15都道府県 19ヶ所での『聴導犬ふきゅうキャラバン』

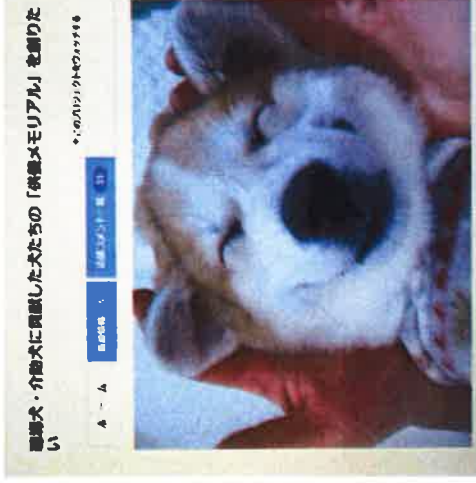
平成25年度「年賀寄附配分金」助成
 全国聴導犬キャラバン(15都道府県)19ヶ所実施



日本郵便株式会社平成25年度「年賀寄附配分金」のご助成で「聴導犬普及のための『聴導犬ユウザー』」による『聴導犬』出前デモンストレーションを、北海道から北九州までの全国19ヶ所で開催。各地の聴覚障がい者協会や聴覚情報文化センターなどのご協力を得て、地元の聴覚障がいのある方を中心に20000名以上の参加者様に聴導犬の働きや貸与方法などの情報をお伝えできました。19ヶ所でのキャラバンでは、各地での日本聴導犬協会ユウザーの協力回数は19回。のべ60名以上のご支援者やボランティア、そして、スタッフが活躍。訓練の質の高さは勿論、講演会後の後片付けや、言葉遣い、礼儀の良さでも高い評価をいただきました。

Big News 3: Readyforクラウドでの「メモリアル」基金 達成

▼Readyforクラウドでの当協会掲載ページ



ご温情により「屋外訓練整備のための施設準備金(目標 2500万円)」のうち約900万円が達成できました。基金は「訓練場整備のため」なので、創設以来の懸案である『メモリアル(墓地)創り』の資金には遣えません。そんな折に「メモリアルのため」として100万円を頂戴しました。1日も早く念願達成をしたいのですが、見込み額には足りないため Readyfor クラウド(インターネット)を介して、不特定多数の方から資金を集めるのサービズ)で2014年3月から60万円を目標額に掲げご支援の呼びかけをいたしました。規定の90日間に695,000円を頂戴できました。現在、東北震災の復興事業で県内の職人さんが足りない状況だそうです。開始日程は未定ですが、可能な限り早く、竣工したいです。

使命は「ユーザーのハッピーと満足」そして、主に保護犬から補助犬への「動物福祉」

厚生労働省関東越境厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会 会長 有馬もと

▼候補犬(元保護犬)と有馬もと



栄えある『功労動物賞』を故・聴導犬みかんに頂きました。みなさまのご支援に心から感謝申し上げます。

2013年度も将来に続く要の年となりました。ご温情に報いるためにも、希望者増加を積極的に図り『補助犬なんでも相談会』を東京・長野で開催しています。が、昨年からOCA(大阪ECO動物海洋専門学校)

のご厚意で、有馬の授業を『補助犬なんでも相談会』に活用させて頂いております。関西方面での希望者も増えました。ただ、都道府県による身体障害者補助犬への補助金申請が毎年5月ごろから始まるため、本格的訓練は申請後となります。『なんでも相談会』に参加された「聴導犬と介助犬体験」を受けた5名の方のうち2014年度は2名様が申請され、補助金なしでの貸与予定の方6名様も訓練継続中です。(仔細P14ご参照下さい)

指導を頂いた英国聴導犬協会は、愛犬でも電車や建物に入れる、もともと開かれた環境にあります。それでも聴導犬貸与数が1600頭に至るには、ユーザーからの理解と大きな協働が必要でした。日本聴導犬協会は創設18年目となる昨年『全日本聴導犬ユーザーの会』の協働による『聴導犬ふきゅうキヤラバン』として2万人以上の聴導犬に

関心をもつ方々と出会いました。東日本震災以後、補助犬への関心は高まりを実感しました。相談者の方々に、貸与後の必要なケアや医療費、食費についてご説明しますと、心つもりのある方がほとんどです。

反面、共通の壁は職場環境として「上司や同僚に理解がない」「就職の面接で補助犬は不利」など。家庭環境では「親が反対」「家族のDV(暴言など)」があり補助犬が心配」「協力が得られない」でした。1996年から日本聴導犬協会は聴導犬を、2001年から肢体障がいと「聴覚障がい又は声の出にくい方」からのご依頼で目線や手の動きで命令できる介助犬も育成しています。一人でも多くの身体障害者のある方に聴導犬・介助犬を無料貸与・無料アフターケアを継続してまいります。

候補犬数は、2013年度は18頭(認定済み2頭。認定予定3頭含む)です。全国的な保健所などでの保護犬数の低下により、ARKなど良心的な動物保護団体との提携を拡大。加えて、繁殖の専門家の助言を頂きながら協会内繁殖も開始しました。使命である「ユーザーさんのハッピーとご満足」のために。そして保護犬からの補助犬育成という「動物福祉」のために。気質の良い能力の高い候補犬を育成します。従来どおりに各地の動物保護センター、保護団体からの保護犬で補助犬育成を促進しますが、同時に専門性の高い繁殖家の協力で使命を達成してまいります。

今後とも、みなさまからのご支援をなにとぞよろしくお願いいたします。心から感謝をこめて。

ご支援のお願い
 日頃より日本聴導犬協会の使命と活動にご理解をいただき、あたたかなご支援をくださいます全国の皆様、心よりお礼を申し上げます。毎年繰り返される天災や事故による被災の状況を考えますと、このようなお願いをさせて頂くのは本当に、心苦しいのですが、ユーザー増加に伴い、ケア充実のための運営費が必要になっていきます。聴覚に障がいのある方に聴導犬を、肢体障がいのある方に介助犬を無料貸与する「障がい者支援」と、保護犬から候補犬を選び、聴導犬・介助犬を育成する「動物福祉」。この2つの福祉を推進するために、改めまして日本聴導犬協会へのご支援をお願い申し上げます。
 <寄付先: 郵便00590-1-93275>
 社会福祉法人日本聴導犬協会

●五月、聴導犬「いこま」ユーザーアフターケア、無料しつけ教室&パピークラス、本部オープンデイ、新・琴奏候補「たんたん」お見合い、学院・あわしまマリナパーク研修、ソーシャルライザー希望者宅訪問、パピークラス(西席布)、日本GIE企業ボランティア(菜所&ムンバイカレー講座、イオン飯田店「イエローシート」PR活動、NCAにて講師、ラフ・ファイブにて候補犬アセス、OCAにて講師)&「補助犬なんでも相談会」、アプリイ・ネットワーク新人社員研修(菜所)、駒ヶ根市立赤穂中学校職場体験受入れ、日本獣生命科学大学にて有馬講師、宮田中学校職場体験受入れ、「ほじよ犬の日」啓発シンポジウム出席、聴導犬「けい」ユーザーアフターケア、介助犬ユーザー希望者訪問、駒ヶ根ふれあい広場結成式、聴導犬ユーザー希望者「家族体験指導」、聴導犬ユーザー希望者訓練体験(菜所)、学院見学会、第一回理事会・評議員会、全日本聴導犬ユーザーの会総会、職場体験・駒ヶ根市立東中学校職場体験受入れ、聴導犬ユーザー希望者訓練体験(菜所)、第六回「日本動物大賞功労動物賞」聴導犬みかちゃん受賞、全天使会東京大会参加●六月、全天使会東京大会参加、飯島中学校職場体験受入れ、一般職場体験受入れ、愛犬しつけ訪問個人カウンセリング、無料しつけ教室&パピークラス、本部オープンデイ、兵庫県身体障害者補助犬貸与審査会へ会長有馬出席、春日井中央しんがく学下見(菜所)、駒ヶ根ふれあい広場打合せ、ベイビー・ブー候補犬アセス、イオン飯田店「イエローシート」PR活動、学院・棚橋秋彦先生「運動がひとの子どもの脳の発達に及ぼす効果について」、ソーシャルライザー希望者宅訪問、聴導犬「あい」ユーザーアフターケア、候補犬「ぞん」フリーダー(菜所)、NCAにて講師、パピークラス&きょうご「ドッグリゾート」旅行、学院・棚橋徳重先生「身体の構造」、聴導犬ユーザー希望者訓練体験(菜所)、NPOスコップ(菜所)、介助犬ユーザー希望者審査立会い、ラフ・ファイブにて候補犬アセス、OCAにて講師)&「補助犬なんでも相談会」、学院・原和子先生「作業療法と介助犬」、学院・飯田慎司先生「イヌの動物行動学」

小学校からの夢。聴導犬ユーザーをめざします 候補犬ぎんちゃんと水口さん

主人と結婚して、1年が経ちました。私たち2人とも耳が聞こえないため、目覚まし時計はバイブレーション付きです。玄関チャイムはフラッシュ付きにするなど、生活の中でも、少しでも聴覚の障害を補ってききました。でも、福祉機器だけでは聴覚障害を補えない場面はたくさんあります。

特に就寝の時は2人とも補聴器を外しています。その間、火災や地震などの緊急事態を知らせるサイレンが鳴っても、逃げ遅れてしまいうるのではないかと、とても心配でした。



▲聴導犬訓練体験(OCAにて)

そんなある日、神戸ろうあ者協会主催のイベントに日本聴導犬協会の『聴導犬ふきゅうキャラバン』が参加しました。ここでは、聴導犬についていろいろ

ろと聞いたり、体験もできると知り、私は主人と共に行ききました。実は、私は小学生の頃に聴導犬のデモを見たことがあります。いつかは、自分も聴導犬のユーザーになりたいかと思っていました。『聴導犬ふきゅうキャラバン』で、スタッフさんは聴導犬が生活で必要な音だけでなく、災害時には耳の不自由な方の命を守る働きもすると強調されていました。聴導犬の優れた働きを再認識し、自分や家族の命を守るために主人と話し合っ聴導犬との生活を選ぶことに決めました。

候補犬となる子に初めて出逢った時は、お互いになんとか緊張してしまいました。スタッフさんからは「人の緊張が伝わるので、リラックスしてくださいね」と言われました。候補犬となるぎんちゃんやんのやわらかな毛触りに触れたとたん、ぎんちゃんやんがリラックスしてくれました。私の表情が堅くて、ぎんちゃんはちよつと怖かったのかもしれない。この子となら信頼関係を築いていくことができるかも知れないと思いました。その後も協会が大阪市四ツ橋で定例に行う「補助犬なんでも相談会」(OCA)での授業にもうかがい、協会スタッフとの相談や聴導犬訓練体験を重ねました。6月に、兵庫県での補助金申請の面接を受け、補助金の対象者に決まりました。県の規定で、本格的な訓練は8月ごろからですが、ぎんちゃんと共に私たちの人生をより明るくしたいと思っています。

私たちが聴導犬と暮らせるのは両親を含め、日本聴導犬協会にご支援を下さるみなさまのあたたかなご理解のおかげです。ぎんちゃんに愛情を注いでくださいました、多くの方のみなさまに感謝を申し上げます。ぎんちゃんと共に、訓練もその後の生活もがんばります。



▲ちよつと雪だるま状聴ぎんちゃん

(福)日本聴導犬協会

二〇一四年一月～六月活動報告(敬称略)

●一月・光前寺「早太郎初詣」&新規登録者無料しつけ教室(以下無料しつけ教室)、日本テレビ取材の下見、パピークラス、こまぼろ社ワンフーニ来所、候補犬「みちみち」&希望者昌宅訓練、兵庫県動物愛護センター淡路支所にて候補犬アセス、兵庫県聴導犬希望者面談、愛犬個人カウンセリング、新・家族候補「ニコ」お見合い、日本聴導犬・介助犬訓練士学院(以下学院)入学試験、名古屋コミュニケーション専門学校(以下NCA)にて講師、日本GEノートン社長特別会、グラウンドワークス新年会に会長有馬招待、芦屋ハーモニートライオンズクラブ(以下LC)三分の一成式に参加、聴導犬「けい」ユーザーケ、沖縄県聴導犬希望者面談、学院・柿沼美紀先生「脳の発達」、愛知医療学院短期大学にて有馬授業、台湾台中市府副市長「光臨」二月、無料しつけ教室&パピークラス、クラウド勉強会、大阪コミュニケーション専門学校(以下OCA)にて授業、学院五期生卒業式、六期生入学式、聴導犬候補犬「みちみち」&希望者昌宅訓練、愛知医療学院短期大学にて有馬授業、LC国際協会34→地区88、Nチャリティボウリング寄付金贈呈式、シーズリーグから候補犬「がぶりえる」アセス、こまぼろ社ワンフーニ来所、奮闘のため「東京キャラバン」「沖縄キャラバン」中止、国立障害者リハビリテーションセンター学院「介助犬・聴導犬訓練者研修」にて有馬講師、研修生・日本獣医生命科学大学より、OCA特別講義、聴導犬普及車輪ラッパリング、88ラジオより有馬取材、聴導犬候補犬「みちみち」&希望者認定試験前の滞在訓練、長野県聴導犬希望者面談、三宅長野より学院生の取材

●三月・無料しつけ教室&パピークラス、聴導犬候補犬「みちみち」&希望者認定試験、研修生・日本獣医生命科学大学より、シモノ学園「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」成果報告会出席、池の平ホテル来所、愛犬個人カウンセリング、西尾LC50周年記念チャリティゴルフ大会寄付金贈呈式、NCA講師会出席、聴導犬「いこま」ユーザーアタターケア、JAM甲信打合せ、慶喜管理打合せ、パピークラス、第三回読書員会・第三回理事会、聴導犬「もり」ユーザー来所、外部監査、担当者こまぼろ社ワンフーニ来所、クラブ・ファイブにて候補犬アセス、棋盤まるとマーケット打合せ、第十九回P.O.P.S.スクール①、聴導犬「あい」ユーザーアタターケア●四月・聴導犬「みちみち」ユーザーアタターケア、P.O.P.S.スクール②、学院受験者こまぼろ社P.O.P.S.スクール③、NCAにて講師、三宅甲信ボランティア受入れ、パピークラス、88ラジオ取材、聴導犬希望者訓練体験、本部オープンデー、P.O.P.S.スクール④、学院、吉田貞澄先生「身体障害者補助犬法」「動物愛護管理法」、赤穂中学校職場体験打合せ、弥富LCこまぼろ社、NCAにて講師、伊那ふれあいひろば打合せ、三重県ユーザー希望者面談、クラブ・ファイブにて候補犬アセス、OCAにて講師&「補助犬なんでも相談会」、P.O.P.S.スクール⑤、声優ハーモニーLC式典会長有馬招き、候補犬でんちゃん&たつ君オフ会参加

名は体を表す。アタシは「RUN」「らんらん」の協会犬「らん」です。 らんちゃん的事情「・・・だからこそ、日本聴導犬協会の訓練メンソッド」 首輪だって、一言あり。夏・冬対策も、バッチリ！



▼河津桜見物。ダウン姿のらんちゃん
スーパー・デモンストラーション犬を目指す「らん」で～す。
レモン・ピーグル＋イタリアン・グレーハウンド MIX といわれるシャープなボデイ！
2年前はね。今は「樽らん？」と呼ばれるほどふとちよちよ2kg。(スタッフ談:他の子のフードを脅し食いするからよ)

さて、ラン的には、犬であっても「当事者」主権の時代と強く訴えたいです。協会の代表犬をめざすものとして、ひと言ふた言、この紙面をおかりして申し上げます。アタシは「首輪もリードも、反対！！」。でもね、ロジカル(理論的)なアタシとしては、人との共存のために、理想と現実のギャップにある程度、いや、相当に妥協しなければならぬと考えております。飼い主さんを取り囲む社会への兼ね合いってあるしね。ラン的には、どんな首輪も絶対に対処です。アタシたちの首や背骨に悪い影響を与えない首輪ってないと、思う。ねえ。飼い主さん、一度、首輪で愛犬さんたちみたいに引っ張られる体験してみてください。体験なしでも、頭脳明晰な動物であるヒトは、首輪をつけてみたら、どんな気分か！？想像できるでしょ？無慈悲に喉はしめつけられ、頸椎(首の骨)や気管、食道だって痛める。「ゴホ、ゴホ、ゴホ・・・」って咳をしたり、食べてはすぐに吐くって、気管や食道を痛めてるんじゃないかって、疑いもわく。少しでも、アタシたちの体に負担の少ない犬グッズを選ぶように心がけてほしいです。結果、日本聴導犬協会では首輪ではなく、3点に力が分散する「スポーン博士の胴輪(通称スポーン)」を使っています。スポーンは、首輪と比べて犬の首への負担は大きく軽減。それも、脇部分にはスポーンジ付きの紐がついている優れ物。こんなに考えられたスポーンであっても、完全ではないことは重々理解していますが、現状の中で、良い品質のものを使ってください。日本聴導犬協会のトレーナーたちは、みんなスポーン(サイズ XL)を自分たちで経験し、勿論、ユーザーさんにもお見せしています。パートナーとなるアタシたちの体や気持ちに分かって、長い間相棒となる聴導犬・介助犬とそのユーザーさんにとってとても大事なことです。でも、歩くのが上手な、アタシのような犬でしたら、首輪やリードはもういらぬのでは？(スタッフ:ダメ)

さて、地球が温暖化し、環境破壊による豪雪、豪雨、猛暑と厳しい環境です。激寒の冬に。猛暑の夏に。ユーザーと行動を共にする補助犬たちに、どのような配慮がされているのか。ご支援者の皆様からもお尋ねが届くことがあります。補助犬育成団体により温度差がありますが、日本聴導犬協会に限定して申し上げます。と一緒の暖房と冷房完備の環境で暮らすので「人が寒ければ犬も寒く、人が暑ければ犬も暑い」がチェックポイント。ユーザーさ

んたちにも深く理解していただいています。

「ちょっと、過保護じゃない？」と言われる方もあるかもしれませんが、寒暖で膨れたり縮んだり温度調節を自分でするダウンのジャケットを着用。犬にも『冷え』は万病の元。もつと寒い時には腹巻とセーターを、重ね着することもあります。お出かけ用に、敷物は常時携帯。冬はウールやダウン製品。夏は綿の薄物です。結構、気を使っていると思います。冬には、雪を溶かす融雪剤を使っている地域もあるので、外出先から自宅に戻ったら、お湯で私たち犬の手足を洗ってくれます。

人間と違い、アタシたち犬の皮膚には汗腺がないので、特に夏は苦手です。夏の外出では水を十分に含ませた「爽やか T シャツ」を着ています。ユーザーさんは、ご本人のためにも日陰を選んで歩き、状況により小型犬は抱っこをします。上からの直射日光だけでなく、地面からの反射熱を防ぐ工夫もしています。協会スタッフは、ペットボトルを氷らせ、それをタオルに巻いたものを持参してくれていて、小休止の時になどに枕がわりになり、とても、気持ちいいです。

外出にはマイカーで移動する事が多い沖縄在住の上原さんは、協会のご指導どおりに、車から聴導犬を降ろす前に、地面に手をあて温度を確認しています。一瞬で、やけどしそうなくらい、暑い時があるそうです。その後、野外なら、爽やか T シャツを着せて、水の入ったペットボトルを持参。ほとんど抱っこして建物の中へ。

② もちろん、聴導犬コートとリードを用意して出ます。

③ 車に戻る時は、車のドアを全開し、中の熱い空気を出して、エンジンをかけてエアコンのスイッチを入れる。

④ 頃合いを見て、けいちゃんを車内に乗せ、お水を与えておきます。

⑥ 窓を閉じて、エアコンは継続。マイカーを発車！

賛否両論あるのは否めません。でも、「働く犬はかわいそう」なんて誤解されること自体、ユーザーさんのご負担になります。ユーザーさんが「すばらしい」と認めていただければよいに、人生の相棒となる犬への配慮を大事にしたいと思っています。



▲胴輪の試着体験(NCA 授業にて)

**聴導犬・介助犬に関心のある方は、
日本聴導犬協会にお気軽にご連絡ください。**
Fax:0265-85-5088、Tel:0265-85-4615
<http://www.hearingdog.or.jp>
メール: Inf@hearingdog.or.jp



1941年生れ。訓練開始時で最高齢。長谷部美江子さん聴導犬みちみちペアは、ご高齢者の希望

▼「ちいき新聞」(埼玉県)で紹介されました



2014年3月付けで、身体障害者補助犬(聴導犬)認定試験に合格した聴導犬みちみちと長谷部美江子さん。現役の聴導犬ユーザーとして2番目のご年齢ですが、訓練を始められたお歳としては最高齢(1941年生まれ)です。その上、聴導犬訓練や世話を学ばれるのは、初めての内容が多く大変だったでしょう。

ご高齢であり、たくさんの学習や訓練が必要でも、6名(補助犬訓練士、耳鼻科医師、獣医師、社会福祉士、言語聴覚士、障害者相談員)以上の補助犬認定委員が「全員一致」で合格でなければ、聴導犬には認められません。

認定試験は、ユーザーさんの管理能力と候補犬の訓練能力が査定されます。試験内容は

仕事で立寄ったペットショップに、静かに私を見つめていた黒のラブラドルがいました。生後7ヶ月の子は、我が家で初めて飼うには成長しすぎと思いますが、その犬がどうなってしまうのか気になって仕方なく、次の日に娘を、別の日に主人を連れて会いに行き、飼うことに決めました。

名前を「アラ」と名付け、「青犬」が始まりました。人の年だと中学生くらいという「アラ」は環境馴れがされており、どうしてよいか分からずに手探りのしつづけを始めた時、偶然、バスターミナルで「Pro-Dog(愛犬家) School」のチラシを見つけ、参加しました。実践では、先輩となる地元愛犬家がい

ンストラクターとなり指導してくれました。実技では、上手な誉め方やご褒美のタイミングなど“魅力的な”飼い主になるための「極意」を教えてくださいました。効率的なリードの持ち方や歩き方、座れ、ふせ、リードを放して「呼び戻す」訓練。すれ違う犬を無視したり、愛犬との信頼関係を



- ① 公的な場所(バスや電車への同伴、飲食店やスーパーへの同伴試験など)での管理と訓練能力
- ② 身体障害者補助犬法の権利を理解しているか? 同伴拒否に対する説明や補助犬、ユーザーの権利を伝えられるか?
- ③ 聴導動作試験: 聴導犬は生活に必要な音をきちんとすみやかに教えているか?
- ④ 面接: 専門家による「自立、社会参加に役立っているか」「聴導犬の必要性」「聴導犬の健康管理や福祉について理解」「負担になっていないか」などが、面接のポイントです。その際に聴導動作の実技試験も行われます。

修得しなければならぬ項目や実技は多く、聴導犬が本来に必要であれば合格できません。難関を突破した「聴導犬みちみちとユーザー長谷部美江子さん」の合格は、埼玉県「いちいき新聞」で大きく紹介されました。長谷部さんの認定は、「歳だから」と聴導犬をあきらめている耳の不自由な方々にとって、大きな希望となるに違いありません。



▲認定試験後。柴内裕子先生と ▲電車同伴試験中

「アラ」の能力を活かせるのは、私たち飼い主 Pro-Dog School 修了生 明尾文恵 & ララ

築く方法などを学びました。

Pro-Dog School には小型から大型犬まで30頭以上が集まり、老若男女の愛犬家が家族で受講します。人にも犬にも馴らすという社会性を学ぶ点でも、「アラ」にはとても良い経験になったと思います。

その後、愛犬にパフォーマンスを教えることで、愛犬がもとも備えている能力を引き出す「ナイトスクール」を受講し、福祉施設への訪問犬活動にも参加しました。新しい訓練を覚えてもらうためには、根気と時間はかかってでもアラの能力を引き出してやれるかは、私たち飼い主だとわかりました。

こうして1年が過ぎた「アラ」は、私とのアイコンタクトがとれ、車から降りた時や散歩に行く時には「Go」サインが出るまで待てるようになり、自分からヒールウォークもできるようなになりました。先輩愛犬家や協会のおかげで「アラ」との信頼関係が築けたこと、本当に感謝しています。

「アラ」が我が家に来たことで、協会の聴導犬活動も知ることで、大勢の先輩愛犬家の方々とも交流できるのうれしいです。

みなさんから頂く「アラちゃん、すばらしい!」の言葉を励みに2年目の「青犬」を楽しみます。

ソーマライザー通信

『次はどんな子犬来るのかな』家族全員で待っています 原 かほる

(福)日本聴導犬協会「元気がいい聴導犬・介助犬訓練センター」がある長野県宮田村に住んでいます。ちょうど去年の今頃、『日本聴導犬協会新聞』が送られてきました。その中に「ソーマライザー(候補犬育てのボランティア)募集」の記事がありました。「こんなボランティアがあるんだ。これならできるかもしれない」。

我が家ではラブMIXと長年一緒に暮らしていました。その子が亡くなってからずいぶんたちまちです。夫からは「もう犬は飼わないぞ」とダメ押しをされました。ソーマライザーは家族の協力が重要です。恐る恐る夫に相談したところ「この家族が役に立つなら」。家にいる娘からも「いいんじゃないやない」。有難いことです。猫4匹が何と何と?

さて、開けてびっくり。てっきり子犬が来るかと思ひ込んでいました。初回お試し犬は“中型犬4才。あさひちやん”トイレの失敗ゼロ、食事はガツリいつも完食。いたずらなし、タイマーの音にピッと反応します。私にはすぐに懐きました。が、問題がひとつ。特に夫が仕事から帰ってき時は大変でした。攻撃的ではないのですが、吠えます。そんな時、あさひの生立ち「大阪のホームレスに飼われていて、妊娠後、手にあまり動物保護団体ARKに手放した」という物語に助けられました。



▲新入りのぎんです。

「仕方ないよね。捨てた飼いきの悪影響なのか、ホームレス生活の不安からか」と、夫はよく我慢してくれました。保護犬はどのような過去か分かりません。

どんなタイプの人が苦手か見極める、それもソーマライザーの役割とお聞きしました。

子犬たちも来ました。私の仕事中は、娘が世話をしてくれました。いたずらやウンチの後始末やら大変だったと思います。感謝です。次々に犬がやがやが来て来ました。どの犬も個性があつて、それがまた楽しい。やっとなりの力が抜けてきたところでした。

聴導犬たちには物語があります。例えば、協会新聞に度々登場した”みちみち君”。淡路島で保護後、ソーマライザーの手にバトンされ、関東に住むユーザーさんとの努力で認定試験に合格できました。「みちみち頑張れ」思わず応援してしまいます。

聴導犬のソーマライザーは、ずっと見守っていただける喜びがあります。スタッフの方々の熱意と誠実さには脱帽です。「犬の移動をお願いしたいんですが」遠慮がちに電話がかかってくる。「いつでもいいですよ」次は、どんな子が来るのか楽しみです。原家では、家族全員で待っています。

(「原家のみなさま、とっても感謝しています」スタッフ)



長野&東京、大隈いづれが月に一度来られる方。お手伝いください！ 候補犬の育て親大募集

書類のご記入→家族との面談
宮田・八王子・芦屋のいずれか→自宅テイク→決定

◆ソーマライザーへの役割
※フード代、定期的な医療費は協会負担ですが、①のボランティアの旅費は、自己負担になります。

⑤ 叱らない、たたかないを實踐できる、愛情深い家庭

④ 室内で、愛情深く育ててくださる家庭

③ 家族構成は問いません

② 留守がちでない家庭。子犬を一人きりにする時間が少ない家庭

① 月一度のピークラスに、本部(長野県宮田村)か、事務所(東京都八王子、または兵庫県芦屋)のいずれかまで子犬とお勉強に来られる方を

◆条件:

候補犬の預かり期間は2〜4ヶ月間。※何頭も継続できるご家庭に限ります。

日本聴導犬協会の候補犬は、ほとんどが元捨て犬。聴導犬や介助犬候補となるこの子たちを愛情豊かに育ててくださるソーマライザー(候補犬育てのボランティア)さんを募集します。候補犬の預かり期間は2〜4ヶ月間。※何頭も継続できるご家庭に限ります。

▼色々な場所でピークラス(社会化)実施: Xmas パーティ、1泊お泊り、東京や長野での散歩、レストラン同伴等



ソーマライザーや「新・家族」(犬の里親)等のボランティアのお問合せは:

☎: 0265-85-4615、FAX: 0265-85-5088、メール: inf@hearingdog.or.jp



新・家族通信



先代の愛犬サンが、十分の一になって戻ってきた?!

Pro-Dog School 事務局/クーちゃんの新家族 氣賀澤 敬子



大好きなお父さん、お母さん!

クーちゃんは日本聴導犬協会の候補犬の中でも体が小さいためか、他の子たちとは離され通路にひとりです。協会に来たばかりで、人が誰か通るたびウロウロ・オドオドしている感じでした。出会いは3年前でした。

その数日後、自宅に預かることになりました。当時、我が家には訳があって引き取ったロン(10歳。ラブラドルレトリバー)がいました。2頭ともはしゃぐ歳でもなく、最初から静かに落ち着いて過ごし、まったく心配はありませんでした。その後、Pro-Dog School のインストラクターをさせていただいていることもあり、有馬会長から「聴導犬にはならない子です。訪問犬として一緒に訪問活動してくださいますか?」。ご縁で、譲渡いただくことになりました。

我が家にとっって初の愛犬だったサン (ニューフ

ァンドランド)。私の愛情とエネルギーの全てを注ぎ込んだ“サン”の命日(2006年の11月)の数日前に、クーちゃんが生れました。クーちゃん誕生から何人かの手を渡り歩いた4年という月日は、私の“サン”への想いを静かに沈めてくれる時間であったのかとさえ思えます。クーちゃんに触れた時 “サン”の毛質に似ている “サン”が十分の一になって戻ってきた様な気がしました。胸が熱くなり、感激しました。

サンもクーちゃんも、老人施設や児童施設への訪問でふれあい活動も何度かできました。今、我が家に来て3年が過ぎ、クーちゃんは10月で8歳になります。物音には相変わらず敏感で、隣近所の話し声にも耳をぴくぴく**。家族の車以外にはすぐに反応し、玄関の来客の声にはもう大騒ぎで知らせてくれます。電話の音も鳴る前にわかる位です。夜、夕食が終わって、ソファで私や夫に撫でられながらくつろぐ時間は、私たちにとって

も、たぶんクーちゃんにとっっても、いちばん癒される時間です。ありがとう。クーちゃん。まだまだいい思い出を作ろうね。



▲まだまだいい思い出作ろうね。

補助犬よりも、家庭犬向きの子たちの“新・家族”募集中!



みなみちやん(♀)
日本犬Mix H25.1生 11kg
大きな耳と長い尻尾が特徴の日本犬 Mix です。頭がよく、とっても遊び好きです。一緒に遊んでくれると嬉しいです。初めての人等に吠えませんが、慣れるととても甘い子です。



がぶりえるくん(♂)
シーズー H25.生 5kg
人と居るのが大好きな甘えん坊のおっとりとした男の子です。遊ぶことも好きで、どんなご家族とも仲良く生活をしていきます。まだまだ子供ですので、ゆっくりと愛情をかけてあげてください。



すずくん(♂)
川上犬Mix H21.5生 14kg
遊び好きで、とっても愛らしい子です。人や犬で好きなタイプが限られませんが、現代は幅広く友好的でした。日本犬特有の氣質が強く出ますが、結構、良い子です。

ペット犬をお探しのご家庭に! 補助犬にならないことを選んだ子たち。欠点のある子の、その欠点でも愛情で包み込んでくださる「新しいご家族」= “新・家族” を募集しています。

★新・家族のプロセス

- 第1次審査: 申込書記入
- ↓
- 第2次審査: 面接およびご家庭訪問
- ↓
- 第3次審査: ご家族と犬とのお見合い
- ↓
- 第4次審査: 1ヶ月のマッチング期間
- ↓
- 最終審査: ご家族と犬の“しあわせ度”チェック

★主な条件

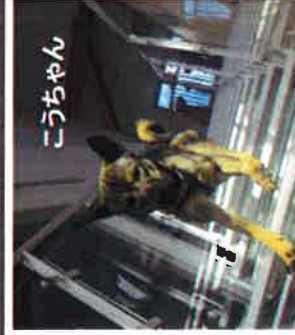
- ① 家の中で一緒に生活してくださる方
- ② 犬を一人きりにする時間が少ない方
- ③ 愛情をもって一生懸命に暮らせる方
- ④ 小協会発行の新家族通信に手紙を送って下さる方
- ⑤ 時間の合う時に、協会のイベントに犬と一緒に参加して下さる方
- ⑥ 方大歓迎 (協会の活動にご理解のある方)
- ⑦ これまでにかかった去勢、避妊手術代や、ワクチンなどの費用の一部として5万円以上のご負担をお願いします。



お陰さまで、「元気いっぱい日本聴導犬・介助犬訓練センター」で「げんき」しています



まつ君、わんちゃん



こうちゃん



りん君



ゆうちゃん、たろう君



わんちゃん、むっちゃん、こうちゃん



遊びは、知育。補助犬は「知能と体力」



えじこちゃん



みちみち君
ゆうちゃん、みなみちゃん



(左奥から)
みち君
たんたん君
でん君
あさひちゃん
むっちゃん
こうちゃん
さちちゃん
らんちゃん
りん君
もりちゃん



さくらこちゃん



でん君



せん君



むっちゃん、のぶ君

日本聴導犬協会の地域社会貢献活動「Pro-Dog (愛犬家) School」



▲第19回 Pro-Dog School ご家族31組参加



▲愛犬の才能のばし



▲1日目の講義「訓練は楽しく、即効性のある」



▲犬だって防災訓練は、必須。愛犬のために、避難歩行(樹液や水たまり、ダンボールの上や水たまりなど)も楽しく願います



やさしさをいただけの光栄と感謝

▼「全日本聴導犬ユージャーの会」会員総会



▼日本GEノーパーン社長 送別会



▼台湾台中市副市長ご光臨



お招き▼東京新都心RC



▼芦屋ハーモニールC



▼大町LC



▼毎日一品持寄り屋食(日本獣医生命科学大学研修生と。協会ボランティアルームにて)



▼弥富LCご来訪



▼シモノノ学園入学式



「補助犬なんでも相談会」(OCA) 聴導犬ユージャーが希望者に訓練指導▼



▲NHK 手話ニュースキャスター那須英彰さんと



▲認定試験中: 柴内院長(赤坂動物病院)



▲名古屋市での実践授業



▲ご支援者様のご意向で「聴導犬普及車」



▲聴力障害者情報センターデモ・講演/幼労働物賞受賞:ユージャー一岸本淑子▲



▲訓練士学院5期生卒業式 ▲6期生の訓練中

▲国立障害者リハセンター学院研修会 ▲スタッフ猫たけ姫 吉田真澄先生学院講義▲

※ ご覧ください。紙面では恐入りますが 敬称略、順不同 略(例、RC(ロータリークラブ)LC(ライオンズクラブ)ともさせていただきます

■ 取材&パブリシティ

(2013年12月～2014年6月まで、敬称略、順不同)

- ◇1月:(広告)日本聴導犬協会「新年/月刊かみいな1月号 Vol.265 第19回 Pro-Dog School 受講生募集/ろうあ信州第371号謹賀新年:(パブリシティ)ハローア二マルふれあいホットニュース「新春おたのしみDay」
- ◇2月:月刊かみいな 2月号 Vol.266 Pro-Dog School 紹介(広告)/三河新聞「日本聴導犬協会に13万円 LC2Z 慈善ボウリング大会」/アイユ Vol.273 会員募集のご案内(会員特典)聴導犬デモンストラーション&講演会共催団体:栃木県、北九州市/「訓練士学院卒・入学式」について⇒駒ヶ根ケアーブルテレビ/長野日報「前田さん准訓練士に日本聴導犬・介助犬訓練士学院卒業式と入学式」/信濃毎日新聞「聴導犬育成の夢へ一歩。宮田訓練士学校で卒業・入学式」/中日新聞「目指せ聴導犬訓練士聴覚障害者の萩原さん入学宮田の学院」
- ◇3月:TV:テレビ東京:チルドレンズ・エクスペレス 年次報告 2013年度 聴導犬目覚ましデモンストラーション



■ デモンストラーション&講演会

- 2013年12月3日～2014年6月29日まで(敬称略、順不同)
※省略:LC=ライオンズクラブ。RC=ロータリークラブ。聴障会:聴覚障害者協会、民児協:民生委員児童委員協議会、社協:社会福祉協議会。☆で表示:通称:全国聴導犬普及キャラン(日本郵便株式会社「平成25年度年賀寄附分配金」「聴導犬を普及するための『聴導犬ユーザー』による『聴導犬』出前デモンストラーション」)。◎で表示:本部へのご来所デモ。
- ◇12月 豊田ルネッサンスLCチャリティゴルフ大会支援金贈呈式(愛知)/昭和記念公園「かぞく市」(東京)/☆北九州市立聴覚障害者情報センター(福岡)/大阪市立聴覚特別支援学校(大阪)/三重県鳥羽市障害者互助会(三重)/八王子事務所:補助犬なんでも相談会(以下:八王子相談会)/SMBC コンシューマーアドバイザー「かぞく参観日」(東京)
- ◇1月 ◎村民会館福寿学級「新春お楽しみDay」/ハローアニマル公開講座(長野)/◎宮田村本部:補助犬なんでも相談会(以下:本部相談会)/神戸ろうあ者市民講座(兵庫)/芦屋ハーマニーLC 第8回二つの一成人式(兵庫)/愛知医療学院短大・有馬授業(愛知)/◎台湾台中市政府関係者ご一行
- ◇2月 ◎第30回上伊那ブロックボランティア交流研究会/日本 GE キックオフ(東京)/愛知医療学院短大・有馬授業(愛知)/LC 国際協会 334-A 地区 8R2Z チャリティボウリング大会(愛知)/◎和歌山県有田市老人クラブ連合会/国立障害者リハビリセンター学院有馬講義(埼玉)/三重県津市ユニバーサルデザイン発表会(三重)
- ◇3月 ☆第43回耳の日記念文化祭(東京)/◎神奈川県川崎市幸区連合町内会/第33回耳の日記念大会(兵庫)/◎本部相談会/西尾 LC・CN50 周年記念チャリティゴルフ大会(愛知)/◎愛知県知多郡阿久比町議会「済々会」
- ◇4月 シモノノ学園入学式(東京)/◎JAM 甲信/◎長野県宮田村教育委員会/◎長野県電力総連女性委員会/◎本部相談会/◎愛知県弥富 LC/新都心 RC(東京)/大町 LC50 周年記念式典(長野)/芦屋ハーモニーLC 式典(兵庫)
- ◇5月 ◎本部相談会/みみサロン講演会(大阪)/◎静岡県アプライ・ネットワーク/日本獣医生命科学大学有馬授業(東京)/◎兵庫県福崎町民児協/◎岐阜県太田民児協/◎長野県長和町社協「あゆみ会」/◎長野県伊南地区助け合いの会総会 研修会
- ◇6月 SMBC コンシューマーグループ大阪(大阪)/本部相談会/◎兵庫県「かえでグループ」/◎大阪府高槻市民児童協/◎長野県 JTB 旅ホ連続長野支部&中誘協信州地区会/第62回全国ろうあ者大会 in 長野(長野)/◎長野県宮田中学校1学年/◎愛知県ナゴヤ福祉歯科医療専門学校/◎奈良県五條市民生児童委員連合会/聴力障害者情報文化センター(東京)/◎愛知県笠寺学区公民会



台湾出身のわんちゃん
介助犬デモ。
聴導犬もできます。

- ◇4月:中日新聞「応援自販機」聴導犬普及に一役 宮田の協会支援設置 2年 全国で38台が稼働」/第37回信州発ボランティア・地域活動フォーラム報告書宮田村日本聴導犬協会/信州自治研No.266 表紙写真および記事で日本聴導犬協会紹介/長野日報「愛犬のしつけ学ぶ聴導犬協会初級スクール開講」/新都心 RC 会報誌『ShintoshinWeekly』第1209回例会 No.38「聴導犬支援活動について」引地正修会員/中日新聞 夕刊中部発「聴導犬自販機で応援売上金の一部寄付に」
- ◇5月:ちいき新聞 三郷版 Vol.330「僕がおおばあちゃんの耳の代わりになって音を知らせるよ!聴導犬」みちみち君と聴導犬ユーザー「認定者美江子さん/市広報 伸びゆく三田No.956 人権さんだNo.422「身体障害者補助犬には、盲導犬の他に介助犬や聴導犬がいます」/三田市のHPにも掲載 <http://www.city.sanda.lg.jp/aprily-net> ワーク CORPORATE GUIDE「地域のために今、自分たちができること啓業活動アピエル募金」人の耳となる犬がいます。『皆様の善意をアピエル募金に!』
- ◇6月:みみより⑬「みみサロン」を開催しました! / 動物たち New Edition Vol.166「第6回『日本動物大賞』審査結果&表彰式」功労動物賞」聴導犬「みかん」が受賞

日本聴導犬・介助犬訓練士学院：日々の学びを大切に。さらなる成長を目指して

第5期卒業



現スタッフ 前田 来仁子 第5期生として、日本聴導犬協会附属「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」を3月に卒業。現在、スタッフとして勤めさせていだいております。30年ちかく勤めた看護師とはまったく違う生活を送っています。

学院生での1年間では「学びたい」と思うことに、トシに関係ない」とがんばって見たものの、これまでとはガラリと違う生活や慣れない訓練の連続で戸惑うことばかりの学院生活でした。でも、とても充実した時間で、1年間は、あっという間でした。

スタッフからはもちろん、全国各地で協会を支援してくださる方々やボランティアさん、ユーザーさんからもたくさん事を学びました。学院生の頃は「とにかく失敗しないように」という緊張感で、お客様の反応どころか、一緒にデモをしてくれる協会犬たちの気持ちや体調にも気づけませんでした。デモを通じて、協会犬に「成功体験を積ませる大切さ」を頭では分かっているつもりでも、自分のことで精一杯で、表情

も硬くなりがちでした。その緊張感は協会犬にも伝わります。毎回「笑顔でね」とスタッフから声をかけていたことで、私自身がリラックスでき、自然な笑顔になりました。お目にかかるみなさまが楽しく、より理解しやすいよう、そして協会犬たちが「成功体験」を積めるデモを心がけていきたいと思えます。

1年が過ぎて、日々の訓練の一つひとつがどういう意味があるのか、少しずつ全体が見えるようになり、協会犬たちの成長ぶりにも嬉しさを感じながら、毎日の積み重ねの大切さを実感しています。

学院生時代は、1から10まで教えていただき、指示していただきながらの訓練でした。これからは、まず自分で考え、それぞれの候補犬ごとに合わせて工夫しながら、訓練に取組んでいかなければなりません。聴導犬・介助犬訓練だけでなく「人」と接する時間も、とても貴重です。学院で学んだ基本を大切に、候補犬に対する理解が広がり一人でも多くの方に「笑顔」になっていただけるよう、また補助犬を必要とされる



▲グループ、只今、勉強中！

文字パネル+手話での補佐付き授業で、5ヶ月目です 第6期生 萩原 怜

私は小さい時から、動物が好きで、動物に関する勉強と就職がしたいと思い、日本聴導犬・介助犬訓練士学院に入学させていただきました。入学して5ヶ月が経ちました。聴覚障がいがあるので、授業中は、文字を書いたプレートで指導をいただいたり、手話での補助も日常的に行われます。でも、まだまだ聴導犬・介助犬訓練で苦勞しています。学院生も、施設外のデモンストラーションや専門学校、大学での授業にも参加し、訓練中の候補犬たちと私がデモを披露する機会もあります。それは、候補犬達にとって成功体験を積む貴重な時間となります。私もご褒美や笑顔に気を付けながら協会犬に接しています。するように心がけています。学院生活はあと7ヶ月です。これまで以上に充実した学院生生活を送れるようにスタッフや先輩に指示されたこと、自分で気づかなければならないことなどを、念頭に入れて行動していきたいです。みなさま、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



▼全国ろうあ者大会にて 右前

毎月第1土曜日無料しつけ：新規犬登録者 & Pro-Dog 修了者は参加できます

◇毎月第1土曜日 無料「犬のしつけ教室」：日時・毎月第1土曜日(10:00～11:00) 場所：(福)日本聴導犬協会本部(宮田村)。日本聴導犬協会では、犬種ごとの能力をいかした「聴導犬・介助犬育成」を行っています。その技術を『地域社会貢献活動』として一般愛犬家に伝える「Pro-Dog(愛犬家のための)しつけ教室」を実施。受講修了者は毎月第1土曜日の無料「犬のしつけ教室」に何回でも参加できます。お耳の不自由な飼い主さんには協会スタッフが手話で指導をいたします。☆新規犬登録の方は1回のみ無料指導が受けられます。

☆個人カウンセリング：1対1で愛犬ごとのペースに合わせて、協会スタッフがご指導いたします

・日時：飼い主さんのご都合に合せます ・場所：(いずれも1時間) 協会では3,000円、

ご自宅までうかがう場合は、5,000円+交通費です。【問合せ】協会 松澤・奥嶋

TEL:0265-85-4615&5290 FAX:0265-85-5088 E-mail: inf@hearingdog.or.jp

(メールの方は“Pro-Dog 申込”とご明記ください)



みなさまのお力添えで、候補犬はスクスク&補助犬は元気で、引退犬もイキキです (2013年12月1日～2014年5月31日まで)

これまでは、ご迷惑がかかる場合があり個人名は掲載していませんでした。企業様および団体様と、2014年度からはご了解をいただいたご支援者様のみご紹介させていただきます。紙面の関係上、ライオンズクラブ様は LC、ロータリークラブ様は RC と略し順不同、敬称および(株)などは省略させていただきます。



<自動申込者数>36名のみな様※郵便局&ネット募金からの自動振込み
<聴導犬・介助犬育成>ホクシツグ&ガ・デ・イアツグ>アブリアイ・ネットワーク、大阪 ECO 動物海洋専門学校(OCA)、日本 GE、SMBC コンシューマーファイナンス、ロート製薬「かるがも基金」、アジュワン、JAM 甲信
<企業・団体サナー> ピロート、日本小動物獣医師会、マルキンインターナショナル、リコー電子デバイスカンパニー手話クラブ>一同

<ご寄付を頂きました皆様> 赤坂動物病院、いちい、松岡クリニック、富國地所、アケナサド、ファミリーストラソナたいが、ぬのかかわ犬猫病院、ヒューマングリーンサービス、トヨタローラ八戸、甲賀すずき動物病院、こころの医療センター駒ヶ根事務部、のぐち動物クリニック、おがた動物病院、海のおさんぽ会、麻布セント・マリー教会 メアリー倶楽部、ダクワ列動物病院東京医療センター、川崎市立稲田小学校 4年募金チーム、白樺リゾート池の平ホテル、クレオパ、パシフィックエイジェンティ内平野遊技業組合、東京リオネット販売、手話サークルたんぽぽ、国際ソロプチミスト八戸、おはなし「こるり」、かへはし、豊田ネッサンス LC、静岡県立浜松聴覚特別支援学校、八戸 LC、西尾 LC、葡萄の木・ブルーベリー企画、日本発条 労働組合、橋倉動物病院、シモヅノ学園、弥富 LC、大町 LC、芦屋ハーモニー LC、長野市立豊野西小学校 6年1組の皆様、アヤハデ・オ、LC 国際協会 334-A 地区 8R・2Z・ZC、かよ、平澤 たつ子、松本秀子、伊藤一樹、大西庸之りさ子、志田茉紘、瑠璃光寺 關恒明、伴康俊、斎藤純一、丸山妙子、中村主計、佐藤ハロー・もん太とみか、牧田由樹子&なつ、長谷川陽一、コロちゃん、戸倉淳、辰ちゃん、高梨陽子、ラプ、宮花浩一・淑・優、櫻井みどり、前田善隆、林七菜子、山田英子、勝野モモ、服部みどり、大崎美加、アルル、佐伯貴彦、須山洋平、石井重則、細山亜紀子、石川康彦、プリンパパ、上村典子、よもぎ・ドルルフ、三橋央隆、大村達朗、チツチ、繁益悦子、新家プリン、村下・エルヴェ・フレディ、矢野芳子、橋本メルモ、ゆめ、ルーシー、マーティイ、田中昭彦、栗谷剣太郎、遠藤陽一、中島幸幸、池田正幸、ふーみん、スギヤマ、手話でしやべりたい、高梨静枝、浅野ハルカ、片山正幸、斯塔ジオエーキヤット、茂木洋司、竹田裕子、亀山浩一、奥田富美子、田邊大夢、渡邊美紀、アグリ労働管理事務所、玉城ネル&ハナ、さくらモル、稲垣史子、ちゆら、がんだママ、小暮昌敏、斉藤陽子、高橋智子、増本多喜子、山口以昌、町田勇税理士事務所、葎葉・秋定法律事務所、Kuro&Run
<Suntory & ペプシコーラ「日本聴導犬協会おうえん自販機」寄付(2013年12月1日～2014年6月30日)>
いちい、SMBC コンシューマーファイナンス、岡谷東高等学校、おかせう、アリス動物病院、さくら動物病院、三井住友海上 CNT センター IF 喫煙所前、日本 GE、日本 GE リアル・エステート、森本耳鼻咽喉科医院、さいき犬猫病院、みかわ動物病院、シューマート伊那店
ご支援者のみなさまに心から感謝申し上げます。

(福)日本聴導犬協会犬おうえん自販機の
売上の一部が寄付となります。
おうえん自販機設置にご協力をお願い申し上げます。

お問合せ先⇒



◆ 厚生労働省 関東信越厚生局長見所管
社会福祉法人 **日本聴導犬協会**
法 社 会 福 祉 法 人
TEL:0265-85-4615 FAX:0265-85-5086
http://www.hearingdog.or.jp



◆◆ 商品などのご提供を頂きましたスポンサー企業のみなさま (敬称略、順不同) ◆◆
<物品支援: ものすこく助かっていきます> 日本全業工業から健康管理のための「オーツジャンプー」「各種予防薬」。日本ヒルズ・コルゲートから優れた栄養バランスの「犬用フード」。スマイルから施設内の衛生管理「除菌アルコール」。デビフベツから安心安全「犬用おやつ&缶詰、シグ」。ワンワから高品質「犬用&猫用フード」。花玉から「ビオハンドソープ」などの各種洗剤。サンテックオプトからマナー管理のうんち処理袋「ボイトくん」。アラ ジャパンから犬用玩具「KONG」「KONG 用トリーツ」。みちのくファームより自然派の「犬用トリーツ」。ご提供いただきました企業のみなさまに深く感謝申し上げます。

<ご助言とご支援:心から御礼を申し上げます>柴内裕子獣医師、赤坂動物病院のスタッフのみなさま。キヤロ「IT 関係管理」サービス。せいしん特許法律事務所、小林会計事務所、スワテック建設、Dog Garden BABY BOO のお力添えを賜りました。
※ペットシーツをご寄付いただいた企業を探しています。ご協力をお願い申し上げます。



★チャリティグッズ「消費マナーポーチ」(特別色。ロゴ入り Love style より活用)できました⇒



泳ぐのだって得意だよ!

年賀寄付配分金助成アンケート報告

2013年6月から15都道府県19ヶ所で行われた『聴導犬ふきゅうキヤラバン(日本郵便株式会社平成25年度「年賀寄付配分金」)』では、各地での聴導犬講演会の他に『聴覚障がい者521名の聴導犬の必要性』のアンケート調査を実施。①2000年と②2007年の調査結果とを比較した。福祉機器やスマホなどの進歩で「聴導犬の必要性」は低下かと思われたが、「聴導犬と暮らしたい」「暮らしたいができない」の答えを合わせると62%(①60%②64%)と変化は見られなかった。「期待される働き」の上位3位は3回の調査で順位の入れ違いはあったが「警報機」「ドアベル」「目覚まし」となった。出典：日本聴導犬協会はあつたべ『聴覚障がい者(521名)における聴導犬の必要性 Part 3』

▲遊びも得意な、候補犬そん君

ご支援を心より、ありがとうございます。

＜協会募金箱のご送金を頂きました皆様＞ミヅラザ、アーツ動物クリニック、中軽井沢郵便局、井口卓也、渡辺昌則、シバタ動物病院、ロン動物病院、はぎや動物病院、平岩動物病院、あるば動物病院、工房アース、とよおか動物病院、東濃クリニック、ニシザワ辰野色彩館、県立広島大学コミュニケーション障害学、菓子庵石川、あきやま動物病院、ペットセラモニーやすらぎの丘、あけぼの歯科医院、藤平耳鼻咽喉科、高草山どうぶつ病院、横尾動物病院、石原耳鼻咽喉科医院、佐々木あすなろ整骨院、ノア・ナマ、ペンション南季の灯、ふじまる動物病院、ちーま、わだ動物病院、トマテイスリスニングセンター東京、ダイアナコスメル坂本智美、よこやま耳鼻咽喉科医院、丹波田中畜産 牛屋たなか、霞町蕎麦処ますだ屋、メガネの洋光、ニシザワベルシヤイン伊北店、セブンイレブン東部滋野店、クウ DOG&CAT CLINIC 鴨野、さぎ山クリニック、近藤ゆか耳鼻咽喉科、五稜郭補聴器センター、小児歯科ふじわら歯科、えびす海岸、東北愛犬専門学校、デジタルヒヤリング、森田獣医科病院そば工房はなわ、神奈川リネット販売、フレッシュ・マツヤ、ミヅラザ 郡山、八ヶ岳わんわんパラダイス、アーツ動物クリニック、中倉動物病院、いのうえ動物病院、井口動物病院、ミヅラザ 福島店、中軽井沢郵便局、ロン動物病院、シバタ動物病院、動物病院、院善診堂、いぬ倶楽部、平岩動物病院、あるば動物病院、ハッピー・サロニア、とよおか動物病院、五井動物病院、happy-Spore、DOG Lover's shop+CAT、工房アース、魔女の家、東濃クリニック、食堂多来福、ヘアーサロン ヒロ、あきやま動物病院、藤平耳鼻咽喉科、県立広島大学コミュニケーション障害学、高草山どうぶつ病院、横尾動物病院、A2P(エーツ・ピー・ジャパン)、ふじまる動物病院、ペンション南季の灯、直新会、石原耳鼻咽喉科医院、佐々木あすなろ整骨院、しろね動物病院、加茂川ふるさと交流プラザ、ONN、ペットクリニックアーマレ、田中耳鼻咽喉科、メガネ・時計ササガワ、美容エステータル Bea ペット美容室ペリーとゆ、メガネの洋光、クウ DOG&CAT CLINIC、近藤ゆか耳鼻咽喉科、五稜郭補聴器センター、和ダイニング 風ぐるま、外科・内科・内科耳鼻咽喉科さぎ山クリニック、小児歯科 ふじわら歯科、ニシザワシヨウパース辰野色彩館、サークル K 伊那西町店、ベルシヤイン伊那店、山荘ミルク、ペットメモリアルパークやすらぎの丘、焼肉・冷麺 金太郎、伊那バス 伊那営業所、鍋辰、菓子庵石川本店、北原製菓、友野菓子店、みのりや、トマトの木、ニシザワシヨウパース春近大橋店、ウイング、A コープ東春近店、久良運、マーキス・アーススタジオ、松下歯科医院、カアオケ You 遊、菊香堂、フルーツおおさわや、ポック、ライオン薬局、志ぶ布、宮下歯科医院、金丸菓子舗、門・やません、アルプス中央信用金庫本店、永井仏壇センター、三澤珈琲伊那店、朝日スポット、佐藤整骨院、あけぼの歯科医院、A コープ伊那中央店、サークル K 伊那上の原店、支那そば よきな、小椋、飯田歯科医院、菓匠 Shimizu、ペットのあしあと、みはらしファーム、そば処喜野や、佐寿一中央スーパ、明治亭本店、西駒郷、すずらんハウス、つちかね整形外科クリニック、民権天山、よこやま耳鼻咽喉科医院、サロン・ド・サエ、ペンションウツ・イーン、こまきさの湯、アップランド・アソシエーツ駒ヶ根、アンジャンテ、A コープ駒ヶ根店、駒ヶ根ファームス、南信州ビール「味わい工房」、岸歯科医院、キタハラマテ伊那店、喫茶 CA、越後屋菓子店、そば処こやぶ、セジュール、神戸炭火焙煎珈琲喫茶はるか、金鶏園茶店、カフェ・ア・ラス・シャレ、斉藤診療所、創作菓子みにぶらん、藤原商店、トムラ薬局、きりの実、宮田村役場住民福祉課、ぐうでん、フアウエース、ニシザワシヨウパース宮田店、モンパル、北原医院、A コープ宮田店、生活雑貨ミク、ユースアイ、あさひや、正木屋酒店、レストランかすが、チャルメラ、ベルシヤイン伊北店、ペリカン、ひろみ動物クリニック、たけの子食堂、くに旅行サービス、はぎや動物病院

第7期の入学生を随時募集中! 日本聴導犬・介助犬訓練士学院 (http://www.hozyokengakuin.jp)

(※日本聴導犬・介助犬訓練士学院の生活は、学生ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kunrensi-gakusei> または、有馬もととブログ http://blog.goo.ne.jp/moto_taka でご参照ください)

第7期生を随時募集しております。入学試験合格者は、2015年4月以前でも随時入学ができます。訓練に関する経験不問。年齢不問。退職後の方も第2の人生プランとしてもお考えください。

◇お問合せは yazawa@hearingdog.or.jp か、Fax: 0265-85-5088 まで ◇在学期間: 1年間。随時入学ができます

◇授業料: 71万円(訓練用具1万円含む) ◇自費: 国内内外の研修のための旅費、外国人講師による特別講義受講料。生活費、訓練のためのごほうび代など ◇卒業生には日本聴導犬協会発行の「聴導犬・介助犬の准訓練士」資格

◇就職: 適性のある卒業生に限りスタッフとして採用 ◇日本聴導犬協会は日本初(2012年)に合格した補助犬育成団体です。副学

◇団体加盟。国際アシスタンス・ドッグ協会)の国際認定更新試験(世界22番目)に合格した補助犬育成団体です。副学

院長有馬もととは日本初の英国聴導犬協会から「国際聴導犬インストラクター資格」と ADI(聴導犬・介助犬の国際認定インストラクター資格)を取得 ◇国内外を代表する講師により国際基準を満たす訓練実践や訓練理論を学ぶことができます

◇学院長には、森本尚武(信州大学元学長)に就任いただいております。

日本聴導犬協会 2013年(4月～2014年3月まで)度の事業報告書

相談者14名のうち、認定合格&訓練および体験継続中が8名

I：聴導犬・介助犬貸与状況

ご相談者14名のうち8名が(認定試験合格2名、認定試験受験予定3名、体験及び訓練3名)進行中

No	希望者ご職業	相談および訓練状況	備考
1	大学生	2013年5月 認定試験合格	認定試験合格
2	専業主婦	訓練開始時では最高齢。2014年3月 認定試験合格	認定試験合格
3	リハビリ中	1年に渡る相談・体験の結果 補助金申請済&自宅訓練開始	2014年度 認定予定
4	専業主婦	1年半目。滞在訓練終了後、認定予定でしたがご事情で延期	訓練継続中
5	専業主婦	ご相談→面接→自宅訪問(10カ月間)後、ご家族の反対で断念	
6	団体職員	11ヶ月前から職場や医師の協力体制を得られ、現在体験中	訓練継続中
7	専業主婦	候補犬とのトライアル中。	2015年度 認定予定
8	専業主婦	10月に相談後 ご家族は賛成。ご本人からお断り	
9	専業主婦	10月に聴導犬申込後→お手伝いペット犬に変更。訪問予定	お手伝いペット犬
10	専業主婦	9月から、講演会で相談受ける。その後、ご連絡なし	
11	専業主婦	2014年1月に沖繩で面談。その後、条件的に難しいと判断	
12	専業主婦	「補助犬なんでも相談会」に参加。8月合同訓練予定	2014年度 認定予定
13	団体職員	お手伝いペット犬を希望。候補犬とお見合い	お手伝いペット犬
14	専業主婦	ご体調もあり、2014年5月から自宅での訓練体験開始	訓練継続中

※相談者14名の地域(北海道、埼玉、大阪、神奈川、長野、東京、宮城、三重、兵庫、沖縄)と広域に及ぶ。相談の方は、主にFacebookなどの情報を元に各地での講演会や「補助犬なんでも相談会」で情報を得ていた。



II：候補犬状況 協会所属犬は合計32頭

保健所などでの収容頭数低下により良心的な保護団体4ヶ所との提携や繁殖を実施。4頭の子犬誕生。※32頭の犬訳：候補犬22頭、PR犬10頭

- ・聴導犬候補犬：18頭 (ふじ、みちみち、こころ、こう、たんたん、あさひ、ざん、たろう、さくらこ、りま、みみ、ゆう、わこ、がぶりえる、こまつ、こふじ、みらい、つぐ)
- ・介助犬候補犬：4頭 (でん、そん、たつ、子犬)
- ・デモンストラーション犬：10頭 (あき、たいすけ、らんりん、のぶ、じん、でん、わん、あさひ、えじこ)
- ・新家族：決定1頭(きん) 募集中4頭(すず、みなみ、ま、まも)
- ・ユーズー決定の訓練犬：決定2頭(そん、ざん) 予定3頭(ゆう、こまつ、みみ)

III：講演会：講演会総数：276回(昨年182回)

- ・施設利用者数：1878人(ユーズー及び研修修を含む)
- ・ご利用者数：総数146回(35回はバスツアー)
- ・長野県内デモンストラーション：31回
- ・愛知県LCの集中チャリティ：10回
- ・聴覚障がい者向けデモ：43回(※全国ろうあ者大会、日本郵便株式会社 平成25年度「年賀寄附分配金」全国15地域19回含む)

IV：教育への寄与

- ① 第5期「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」から1名をスタッフに起用。
- ② 第6期3名が入学
- ③ 補助犬に関する授業：国立障害者リハビリテーションセンター学院、日本獣医生命科学大学、帝京科学大学、愛知医療学院短大、台湾国立屏東科技大学(獣医学部)、OCA&NCA 専門学校

V：『全日本聴導犬ユーズーの会』との協働

- ① 『聴導犬ふきゅうキャラバン』により全国15都道府県19ヶ所での普及活動
- ② 長野、東京、大阪での『補助犬なんでも相談会』でユーズーが希望者に体験指導や相談を行う
- ③ ユーズーが自主的に地元でのイベントを企画、普及活動を計画。大阪と新潟での打合せ中。

VI：webの活用

- ① Readyforクラウド「聴導犬・介助犬に貢献した犬たちのメモリアル」基金：約65万円募金
- ② Facebook「日本聴導犬協会」と「補助犬と応援団」による聴導犬・介助犬の普及活動を実施。
- ③ Facebook「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」で入学生募集



経理報告：日本聴導犬協会は、寄付控除および税額控除対象法人です

お力添えの賜物です。みなさまから2013年度は58,646,143万円(社会福祉事業：約4998万円。公益事業：約866万円)のあたたかなご支援を頂きました。下記の会計報告では収入は80,489,704円ですが、表内の①②③の合計21,843,561円は法人内の事業間での運用費の動き表わずだけになります。収入の中には故畑中冴子様と故鈴木京子様からの2つのご遺贈が含まれます。厚く御礼を申し上げますと共に、護んでご冥福をお祈り申し上げます。補助犬の希望者が増えています。相談や体験会。認定試験までの訓練とアフターケアなど運営費がさらに必要です。みなさまからのご理解とご支援をなにとぞよろしくお願いたします。日本聴導犬協会の経理は、麻布税理士法人の外部監査を受けております。

▼未来をになう、新米のみらいちゃん



● 2013年度収支会計報告

(2013年4月1日～2014年3月31日 単位:円)

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	合計
補助犬認定事業収入	0	0	0
経常経費補助金収入	1,501,500	0	1,501,500
公益事業収入	0	6,029,242	6,029,242
寄附金収入	38,876,915	2,625,630	41,502,545
施設整備等補助金収入	0	0	0
施設整備等寄附金収入	8,042,155	0	8,042,155
雑収入	1,552,898	8,740	1,561,638
借入金利息補助金収入	0	0	0
受取利息配当金収入	8,157	906	9,063
①会計単位間繰入金収入	1,053,561	0	1,053,561
② 経理区分間繰入金収入	18,390,000	0	18,390,000
③ 積立預金取崩収入	2,400,000	0	2,400,000
収入計	71,825,186	8,664,518	80,489,704
人件費	16,395,003	2,283,708	18,678,711
事務費	16,763,160	2,057,480	18,820,640
事業費	7,065,917	2,341,288	9,407,205
借入金利息支出	0	0	0
経理区分間繰入金支出	18,390,000	0	18,390,000
会計単位間繰入金支出	0	1,053,561	1,053,561
固定資産取得支出	4,412,050	0	4,412,050
積立預金積立支出	8,668,189	900,000	9,568,189
支出計	71,694,319	8,636,037	80,330,356
当期資金収支差額合計	130,867	28,481	159,348
前期未支払資金残高	18,760,659	1,677,169	20,437,828
当期未支払資金残高	18,891,526	1,705,650	20,597,176

● 2013年度財産目録

(2014年3月31日現在 単位:円)

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	合計
1.流動資産	13,520,719	1,299,853	14,820,572
現金貯金	3,200,739	1,015,750	4,216,489
未収金	2,767,765	1,755,869	4,523,634
貯蔵品	0	0	0
立替金	267,355	26,890	294,245
前払金	0	0	0
仮払金	1,871,892	7,720	1,879,612
その他の流動資産	0	0	0
流動資産合計	21,628,470	4,106,082	25,734,552
2.固定資産	112,677,266	0	112,677,266
(1)基本財産	82,280,266	0	82,280,266
建物	30,397,000	0	30,397,000
土地	0	0	0
基本財産特定貯金	63,616,308	4,982,744	68,599,052
(2)その他の固定資産	98,000	1,901,706	1,999,706
建物	23,061,232	0	23,061,232
構築物	29,976	0	29,976
機械及び装置	3,552,949	1	3,552,950
車両運搬具	3,680,862	1	3,680,863
器具及び備品	18,106,976	0	18,106,976
補助大育成基金	9,936,313	0	9,936,313
施設準備金積立預金	2,000,000	0	2,000,000
施設修繕積立預金	0	284,095	284,095
広報出版基金	0	196,941	196,941
イベント基金	0	2,600,000	2,600,000
その他の積立預金	3,100,000	0	3,100,000
その他の固定資産	50,000	0	50,000
固定資産合計	176,293,574	4,982,744	181,276,318
資産合計	197,922,044	9,088,826	207,010,870
1.流動負債	1,029,210	32,290	1,061,500
未払金	124,645	12,873	137,518
預り金	0	2,051,666	2,051,666
前受け金	6880	200	7,080
仮受金	1,576,209	303,403	1,879,612
その他の流動負債	2,736,944	2,400,432	5,137,376
流動負債合計	5,371,884	2,788,172	8,160,056
2.固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	5,371,884	2,788,172	8,160,056
差引純資産	195,185,100	6,888,394	201,873,494

屋外訓練施設整備のための施設準備金 10,015,105円(総数 313名)になりました。

ユーザーのみなさまと協会犬の福利厚生のための屋外訓練整備準備金の第1次目標額2,500万円を目指しております。工事内容は、隣の畑との境界線となる土留め、バリアフリーのための駐車場整備、フリーラン部分のタータン設置などです。2008年12月18日～2014年6月15日まで313名様から10,015,105円を頂きました。今回は、2013年12月16日～2014年6月15日までのご支援で、掲載許可を頂いたうえで(敬称略、順不同)ご紹介させて頂きます:平尾秀夫、土井正典&ハッピー、神田見、海のお散歩会、故鈴木京子。ご芳名の掲載確認中のみなさまは次回に掲載させていただきます。お力添えに心から御礼を申し上げます。



にゃん太通信:「しみじみと感謝にゃ〜」

▼たけちゃん、にゃん太君、お互い知らんぷり



嫁のたけちゃん(5歳)はまだまだヤン〜ダ。おいしいフードもろてる。ワイ(にゃん太15歳)は、尿管結石やから、処方食にゃん。たまに嫁とフードの交

換をするやろ。嫁はミネラル不足になり、ワイは、結石が…。夫婦一緒に食卓は囲めへん。冬場は、嫁もくっついて寝てたけど、夏は別々に、はな〜れて寝てる。さみしいもんや。「それも、これも、生餌の食べすぎ」(スタツ弁)。そういわれれば、昔は、ネズミやモグラ、時には蛇まで狩ってきた。食べ損ねた蛇がカーペットの下に入って大騒ぎになったことも…あった。ドライフードなんて見向きもなかったが、今は大の加工食好き。キヤット缶に、生きてないフードならなんでも大歓迎。わからんもんにゃ。「猫(人)生も、山坂多い旅の道」。まあまあの猫生。これからも嫁と協会犬たちと、安生暮らしていきますにゃん。ほんと。みなさまからのご支援で、おかげさんにゃ〜(しみじみ)。

心から、お礼を申し上げます

2013年12月18日〜2014年6月10日まで

＜物品内容＞ 切手 548,139円、書き損じハガキ 7,494枚、商品券 45,500円、図書カード 12,000円、レカ 214枚、JCBギフトカード 17,000円、オレンジカード 4,000円、ハーケンダツツ券 7枚、アイス券 8枚、ユーラ券 3枚、Tカード 500円、東急ハスネット 1000円、ふみカード 1500円 ◇協会犬用:除菌アルコール、ヘッドシート、おやつ、洗濯洗剤、食器洗剤、タオル、服、毛布、ウェットティッシュ、首輪、おむつ、リード、うんち袋、アランケット、ブラシ、訓練用携帯電話、大用ケーキ、大用靴下、ジャンパー、おもちゃ ◇猫用:シート、おやつ ◇スタツ弁用:事務用品、お菓子、果物、生花、ハザー用品、食品、石鹸、ハットソープ、スポンジ、正月飾り、ワイン、ビニール袋、カレンター、宝くじ、マスク、ハットクリーム、日焼け止めクリーム、ローション、洗濯ハサミ、紅茶、ビール、お酒など。あたたかかなご寄付に心より感謝申し上げます。

ぜひ、送ってください。お願いします。

書き損じハガキ、未使用の切手やレカ、商品券、ビール券、ガソリンスタンプなどで使える金券、各種ギフトカード、食器用洗剤、液体の洗濯洗剤、ハットソープ、アクリチ、リステリン(オジナル)、中〜大型までの犬用タオルや犬服(新品のみ)、布カムテープ、のり、油性ペン、付箋、クレアファイル、マーカー、修正ペン、テープ、新品ボールペン、4色ボールペン、リンクアップ

書き損じハガキ、送ってください！

書き損じハガキ 2枚で、
協会新聞1通分の通信費になります。
ご協力をお願い申し上げます。



※9,000通新聞を送るのに書き損じハガキ 20,000枚が必要です。ご協力をお願いします。

＜ご寄付振込口座:郵便局＞

社会福祉法人日本聴導犬協会 00590-1-93275

施設準備金、運営全般、聴導犬、介助犬、公益等使用目的のご指定願います
クレジットカードご寄付もご検討頂けますか。HP: www.hearingdog.or.jp

嬉し〜いご支援で ぎん&ぎん、パワ〜！

伊那支店

料金別納
郵便

ゆうメール



ぼく、ミニチュアプードルのぎん。ぎん公とも呼ばれ、通称「頭取」。「step by step」で聴導犬訓練に励んでいます

クレジットカードご寄付受付始まっています(詳細は www.hearingdog.or.jp E-mail: inf@hearingdog.or.jp)
差出人: 厚生労働省 関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会
〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 7030-1 Tel: 0265-85-4615&5290 Fax: 0265-85-5088

ADJ(国際アシスタンス・ドッグ協会)国際認定&元理事/NPO 法人グラントプリア受賞/英国聴導犬協会アソシエート

厚生労働省 関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 寄附控除および税額控除対象法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会新聞

当事者と共に実現する「障がい者支援」と「動物福祉」を使命とし

「人と動物が共存できるまちづくり」をめざす

Tel: 0265-85-4615&5290 Fax 専用: 0265-85-5088 <http://www.hearingdog.or.jp>



2006年度 2012年度

(福)日本聴導犬協会新聞
長野県上伊那郡田村7030-1

発行人: 有馬もと

編集: MAYUMI・矢澤昌子・

奥嶋千夏・村澤久美子・

松澤円・小松美紗紀

助っ人: 佐橋菜月

発行: 年2回

購読料: 定価 200円

©(福)日本聴導犬協会

無断転載コピー厳禁

Big News 1: 感謝! 念願の屋外訓練施設にラバー舗装を完備

2008年の新施設竣工以来の、みなさまからの屋外訓練場整備事業へのご支援と共に 2015年度年賀寄附分配金「聴導犬、介助犬用屋外歩行訓練施設改修工事」助成金により、競技場などで使用される犬の足にも車いすにも快適なウレタン素材の舗装ができました。おかげさまで、聴導犬だけでなく、車いすとの歩行訓練にも効率化が図れました。2014年に続き、介助犬認定ができました。次のユーザーさんの訓練にも活用されております。10万円以上のご支援を賜りましたみなさまのご芳名も「ご支援者パネル」に永久掲示をさせていただきます。ぜひ、施設見学にお出ましく下さい。

Big News 2: リピーター・ユーザーさんが増えています



聴導犬・介助犬の希望者の増加(仔細はP14)に加え
光栄なことに2頭目や3頭目を希望されるリピーター・ユーザーさんが増えています。「音を報せる」聴導犬の働きは、音を利用した「経験がない」または「少ない」聴覚障がいの方には想像しにくい補助犬です。聴導犬の10年ちかい生活をされたユーザーさんから「聴導犬のいい生活は考えられない」と。このお言葉は訓練の励みです。2000頭前後が活躍してきた英国では聴導犬引退後に、次の聴導犬希望の割合は90%以上と聞きます。日本聴導犬協会でも90%以上の方が再度、聴導犬を希望されています。年末も2頭目、3頭目の訓練開始をされるユーザーさんが続々。感動です。

▲先輩犬に学んで、二代目をめざしています

Big News 3: 延べ370(うちユーザー41)名参加 ほじよ犬サミット in 松本

6月20日21日、2015「全国身体障害者ほじよ犬サミット」in 松本に延べ370(うちユーザー41名)名様を、サミット事務局としてお迎えしました。補助犬ユーザー(当事者)による「ユーザーと希望者」そして「補助犬」のための環境改善に向けて「当事者が発言し、当事者自身の行動につなげる」のがサミットの使命です

今回は、ユーザー同士、育成団体同士との意見交換会として、分科会を実施。KJ法により参加者全員の意見の洗い出し、課題の整理ができました。2016年の第2回で、それらの実行方法を検討し実現化を果たします。

▼多くの参加者の考えを広く共有するKJ法





念願成就！「屋外訓練場完備」「ユーザー主導のサミット開催」「介助犬賞与」

厚生労働省関東信越厚生局長所管 厚生労働大臣指定法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会 会長 有馬もと

国土交通省へのご訪問



みなさまからのお力添えの賜物で、聴導犬希望者からの問い合わせは増え聴導犬貸与と共に、昨年引き続き10月に介助犬認定ができました。まず、2つの屋外訓練場整備がくつも叶えられた年です。まずは、創設以来の念願であった「聴導犬・介助犬に貢献した犬たちが仲間犬と一緒に眠れる『供養メモリアル』」です。供養のためだけでなく、後輩犬たちにも活かせるよう、納骨堂をやさい土やクロバーで包む築山のようなメモリアルを落慶。その1ヵ月後に2015年度年賀寄付配分金「聴導犬、介助犬用屋外歩行訓練施設」助成金により、犬の足にも車いすにも快適なウレタン素材の舗装を完備できました。10数年間、夢に描き続けた2つの屋外訓練場の整備です。スタッフは訓練への意欲を高めております。

6月20日21日「長野県ハーネスの会」と「全日本聴導犬ユーザーの会」共催による2015「全国身体障害者ほじよ犬サ

ミット」in 松本の事務局として、全国から370(述べ人数)名様をお迎えできました。ユーザー主導型。「ユーザーの声と行動で、自分たちを取り囲む環境改善を図る」のがサミットの使命です。2016年の第2回目を計画中です。このような小さな協会では奇跡のようだと常に感謝しております。資産総額は、不動産を中心に2億ちかく計上できます。しかし、運営費への国からの補助金はまったくなく、ご寄附や募金だけで運営されております。日本聴導犬協会のゴールは、深い愛情と幸せな訓練で「補助犬」を育て、その補助犬を身体障がいのある方に無料で貸与する「補助犬」と「ユーザー」双方のハッピーです。人も犬も、幸福でなければ使命は果たせないと感じ、身体障がいのある方に無料で「聴導犬」「介助犬」を貸与しアフターケアを継続する「身体障がい者支援」と、主に保護犬から「聴導犬(時には介助犬)」を育てる「動物福祉」の2つの使命に今後ともご支援を賜れば幸甚です。

▼ みやちゃん



▼ まるちゃん



▲ 聴導犬候補ネットワークは全国16施設(兵庫県動物愛護センター 波路支所とアニマルハーツレスキューなど)から候補犬が。

ご支援のお願い

日頃より、(福)日本聴導犬協会の使命と活動にご理解をいただき常にご支援をくださいます全国の皆様にご心よりお礼を申し上げます。被災された方々の状況を考えますと、このようなお願いをさせていただきます。心苦しいのですが、ユーザー増加に伴い、ケア充実のための運営費が必要ですが、聴覚に障がいのある方に聴導犬を、肢体障がいのある方に介助犬を無料貸与する「障がい者支援」と飼い主の見つからない犬から候補犬を選び、聴導犬・介助犬を育成する「動物福祉」社。2つの福祉推進のためにご支援のお願いを申し上げます。

郵便振込:00590-1-93275
社会福祉法人日本聴導犬協会

信越厚生局指導監査、高遠城址公園「クラフトライフ」参加
犬健診みみ「ゆう」かない動病、富田村環境協会打合、厚生労働東
達「柿沼美紀教授、連合長野贈呈式、公明党名刺交換会、聴導犬候補
金贈呈式、候補犬「まる」日本G社社内社会化開始、学院講義「脳の発
達」柿沼美紀教授、連合長野贈呈式、高遠「シマヤリティーゴルフ寄付
訓練、候補犬アセス(アニマル・ハーツ)、高浜「シマヤリティーゴルフ寄付
学院講義「聴覚と障害」榎橋聰子耳鼻咽喉科医師、聴導犬希望者⑦⑧
ザー認定試験、P&Pパピークラス日馬旅行、ダイエーYR贈呈式、
訓練「ナイル」取材 ●十月 候補犬アセス(ARK)、介助犬・聴導犬工
しまりパーク視察、連合長野寄付金贈呈式、聴導犬希望者⑤滞
説明、聴導犬希望者⑧訓練、学院講義「イルカとアシカの訓練」あわ
演、聴導犬希望者③滞訓、学院希望者受験、日本Gエロー「シヤライズ
一トナリ」、沖縄聴覚障害者センター「表敬訪問、沖縄FMラジオ出
導犬希望者⑦訓練、沖縄聴導犬けい「ケア、候補犬アセス(アリス・パ
導犬希望者⑦訓練、沖縄聴導犬けい「ケア、候補犬アセス(アリス・パ
将命先生、聴覚障害者団体役員相談、無料しつけ&パピークラス、聴
訓 ナイトスクール⑤、学院講義「仔犬の社会化」「犬の海外事情」加藤
聴導犬・介助犬ユーザーと表敬訪問 ●九月、介助犬希望者①②滞
聴導犬・介助犬ユーザーと表敬訪問 ●九月、介助犬希望者①②滞
と介助犬「原和子教授、公明党矢倉議員」来所、聴導犬宮田村村長、
ア、聴導犬希望者⑥訓練体験、地元社会貢献駒ヶ根「ふれあい」打合、
化を見つめる」柴内裕子獣医師・菅野晶子獣医師、介助犬「そん」ケ
審査会、学院講義「補助犬に必要な健康管理」「毎日のケアで体調の変
体、日本茶茶葉組寄付金贈呈式、ナイトスクール③、兵庫県兵庫補助犬
新「家庭きち」託犬、研修「日本獣医学大学学生」、聴導犬希望者①訓
那「ふれあい」打合、研修「飯田養護学校教師」、聴導犬希望者③⑤滞訓、
者⑤訓練&聴導犬希望者⑥見学、パピークラス(豊洲)、研修「松川

モアナとの介助犬訓練で、生きる楽しさを再確認

介助犬モアナユーザー 新倉邦子

私は10年くらい前より病気を患い、徐々に歩けなくなり、生活を楽しんでいきましたが、それ以降、主人の休日以外の外出はできなくなりました。誰とも接点がなく、段々と精神的にもおかしくなりました。人と話すことも、車椅子に乗ることも嫌で外に行けなくなりました。以前はゴールデンレトリバーを飼っていたので、家族は私が「犬を飼えば癒され、世話をし、話しかければ元気が出てくるのではないか？」と、ゴールデン・ドゥードル(ゴールドラダーYさんからモアナを迎えました。モアナの子犬時代はやんちゃで、前の子と違って大変でしたが、生活が一変しました。ところが、去年の初めにさらに大病を患い、ショックによるストレスで歩行困難が進みました。

そんなときYさんから日本聴導犬協会の有馬会長を紹介されました。連絡を取ると協会スタッフが我が家に来て相談と同時に、私とモアナの面接。協会からも当初は、自宅内だけのお手伝いでも、まずは社会化と介助お手伝い訓練が開始されました。協会の訓練は特殊で、ストラップを使い、犬にわかりやすく楽しい方法です。毎日の繰り返しでみるみるうちにモアナは、朝は洗濯物を洗濯機に運び、風で飛ばされた物を拾う。電話がなると子機を手元まで届け、リモコンやひざ掛け・携帯などあらゆるものを持ってきてくれます。日々の暮らしが楽になりました。モアナが一緒ならば、元気が出てどこへでも行けるようになりました。協会(長野)での滞在訓練中に、理学療法士や作業療法士の方の助言を受けました。バス・電車・スーパー・レストランへの同伴訓練と、高度な訓練がスタート。回数を重ねるたびに、最初は乗車訓練中に落ち着けなかったモアナも安心して同伴でき

るようになりました。一番苦勞したのは室内トイレです。どこの多目的トイレでもシートで排泄させます。これで安心して同伴できます。

私自身も訓練で協会スタッフやボランティアさんとの会話が、外でもたくさんの方に話しかけられて段々と人と話す元気がでてきました。生きている楽しさも感じられるようになりました。

これも協会との出会いがなければ、今の私はなかったでしょう。介助犬訓練に、家族が大ききサポートをしてくれたおかげで、協会と出会って1年目で介助犬認定試験です。有馬さんの助言で、私の緊張がモアナに感じ取られぬために「訓練の延長」と繰り返し受験しました。試験当初は知らないモアナも、ウトウトとたまたま寝ていました。訓練当初はビビっていた乗車も、ウトウトとたまたま寝ていました。はれて介助犬モアナの涙が出ました。そして無事に合格。はれて介助犬の修得した能力をユーザーとして維持していきます。最後になりましたが、有馬会長をはじめ日本聴導犬協会の方々、本当にお世話になり感謝しております。今後は介助犬についてより多くの人々に理解していただければ、できる限りお手伝いさせていただきます。(*日本聴導犬協会では2002年から聴覚と肢体障がいのある方のために介助犬訓練を実施。聴導犬の候補はほとんどが保護犬を活用していますが、介助犬の場合はユーザーの負担を考え、介助犬そんやモアナのような毛の抜けにくい犬種を選んで介助犬に育ててゆきます)

▼介助犬モアナちゃんと新倉様



(福) 日本聴導犬協会 活動報告 二〇一五年五月〜二〇一五年十月

敬称略・自宅訓練→自訓。滞在訓練→滞訓。訓練体験→訓体。無料しつけ教室→無料しつけ。PR活動→PR。Dog School→ドッグスクールケア。NPO全国身体障害者ほしよ犬サミット→松本サミット。愛犬個人指導→愛犬指導。見学会&聴導犬・介助犬なんでも相談室→相談室。イオン飯田店「イローシート」PR活動→YR。日本聴導犬・介助犬訓練士学院講義→学院。動物病院→動病。職場体験→職場。社会福祉協議会→社協。略しました。講演会は13頁で紹介。

●五月・無料しつけ&パピークラス、聴導犬ごきんぐケア、新・家族候補生エコートライアル、岐阜県動物愛護センター訪問、サミットみらい学舎ボランティア説明会、岐阜社協打合、YR、サミット実行委員会、介助犬ごきんぐケア、聴導犬候補犬①アセス、LC国際協会334-A地区PR、献血献腎献血骨髓移植推進聴覚委員長会議出席、職体(赤穂中学校)、聴導犬希望者②面接、サミットボランティア研修、兵庫県動物愛護センター淡路支所打合、第一回理事会・評議員会、伊那ケーブルTV取材、職体(宮田中&駒ヶ根東中)、伊那ふれあい打合、永岡厚生労働副大臣表敬訪問、古屋議員表敬訪問、ブラックロックジャパン打合、協会新聞二九号発送

●六月サミット実行委員会、聴導犬希望者⑧自宅訪問、候補犬アセス、職体(飯島中&箕輪中)、YR、サミット日本GEボランティア打合、伊那ふれあい打合、候補犬アセス、愛犬指導、聴導犬希望者③自宅訪問、沖縄聴導犬「けい」ケア、サミット開催&補助犬パレード、介助犬希望者①乗車訓練、聴導犬希望者④訓体、西駒郷訪問犬活動打合、国土交通省訪問、屋外施設工事、安倍首相夫人首相私邸表敬訪問

●七月・TV大阪読売打合、関西事務所へ兵庫県庁へ来訪、聴導犬希望者⑨自宅訪問、ナイトスクール①、新・家族候補がぶりえる「譲渡、日本獣医生命科学大有馬講義、TV取材、YR、聴導犬希望者⑤訓練、「いちい」表敬訪問、聴導犬ごきんぐ取材、介助犬ごきんぐケア、動物保護団体(東京)訪問、聴導犬希望者④面談、アプリイ「社会貢献大賞」授賞式同席、地元社会貢献伊那&駒ヶ根ふれあい打合、聴導犬希望者⑤訓練、社会化訓練(宮田祇園祭り花火)、新・家族「すず」家族ご来所、新・家族「りん」託犬、事務所ネット配線接続(キャリコ)、聴導犬ごきんぐケア、勉強会クラウドについて、新・家族「きち」託犬、ナイトスクール②、東京都面接・聴導犬希望者③

聴導犬ぎんちゃんが、聞き逃していた音に気づかせてくれた



タンデム聴導犬ぎんちゃん

ユーズー 水口貴稔

私は生まれつき聴覚障がいがあり、聴力は両耳 100dB 程度です。補聴器を装着していない時はまったく音が聞こえません。補聴器を装着すればある程度みなさまとコミュニケーションが取れます。社会人になってから、練習して電話も出来るようになりました。そのため「聴覚障がいがあっても補聴器さえあれば、そんなに困ることはない」と思っております。

2年前に妻から「聴導犬ユーズーになりたい」と話があった時、聞こえる自分がそばにいるのに何を言っているのかわからないと思いましたが、しかし、補聴器を外して寝ている間に災害が起きたら非常に怖く、サポートが得られにくいなど、私に気がつかなかった問題点を妻から知らされ、己の障がいにもう一度向き合うことになりました。妻は、日本聴導犬協会での滞在訓練を経て、去年11月から妻と当時は候補犬だったぎんちゃんとの自宅訓練が始まりました。毎日、妻とぎんちゃんの様子を見ました。ぎんちゃんはすばらしく優秀で、冷蔵庫が開きっぱなしの音、洗濯が完了した洗濯機のお知らせ音など「そんな音もなっていたのか」と、それま

で夫婦だけでは気づけなかった音を妻や私に教えます。日中は一人きりで過ごす妻にとっては、安全でリラックスできる生活が得られました。私は、補聴器だけでは聞き取れない音もあると再認識しました。何よりもびっくりしたのは外出時です。聴導犬ぎんちゃんや周りの同伴で、周りの方が妻の聴覚障がいに気づき、多くの方が笑顔で話しかけてくれます。中には「少し手話が出るの」と照れくさそうに「こんにちには」と手話での挨拶をされる方もいらっしゃいました。これは、私が体験しなかったこととです。外に出たら人混みや騒音の中で、健聴の方から話しかけられた経験ばかりの私には、とても新鮮で嬉しい体験でした。妻は協会の指導で聴導犬ぎんちゃんやユーズーとして2015年2月、認定試験において好成绩で合格。このように聴導犬の効用と生活の変化を目の当たりにした私は「自分も聴導犬ユーズーになりたい」と思い、協会に相談しました。会社勤めなので、協会では土日や連休を利用する特別な訓練スケジュールを立て、厳密なユーズー指導のおかげで2015年10月にタンデム(2名で1頭の補助犬を活用する)聴導犬ユーズーとして認定試験に合格できました。聴導犬がもたらす安全な生活と、趣味の旅行にもぎんちゃんや同伴を伴うので安心して宿泊できます。聴導犬は他の補助犬に比べると知名度が低く、公共施設や乗り物で同伴拒否もしばしば受けます。ユーズーを取り囲む環境改善のためにも協会と共に聴導犬普及活動を行ってゆきます。ぎんちゃんのご支援企業アブリ様に御礼を申し上げます。

聴導犬、介助犬をご希望の方はお気軽に Fax: 0265-85-5088、Tel: 0265-85-4615

補助犬育成への企業支援② まるちゃん、社長のお供で「御前会議」に出席

日本GE(株) 人事部 永田拓也



日本GEではボランティア活動の取組みにより以前より日本聴導犬協会との活動で、社内イベントに来て頂いたり協会本部「元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」に遊び(?)に行かせて頂いたり、聴導犬育成支援

に寄与(詳しくは日本GE聴導犬候補生チーム/Team GE hearing dog trainees <https://www.facebook.com/GEhearingdog>)してまいりました。活動の中で今回、初めて有志社員による聴導犬候補犬のソーシャライズ(社会化)に協力できることになりました。「ソーシャライズって? 一体何をやるんだろう!?!」と、思いつつも、犬好きの私たち3名は二つ返事で候補犬「まるちゃん」(シーズー犬:男の子2歳)のソーシャライズに手を挙げました。さて、ソーシャライズ(社会化)ですが、聴導犬として人間社会のお勉強をするのがお題目であり、ワンちゃんの世界にもいろんなワンコがいるように、人間の生活様式も人や家庭によって様々ですので、「まるちゃん」はGE社内と3名のソーシャライズ一宅での生活を共にして、いろんな事を見聞き、体験してもらい、共に学ぶことになりました。いよいよご対面の当日。3名で順番にお預かりすることに少し不

安になるもワクワクドキドキで、待ちわびた「まるちゃん」をオフィスに迎えました。きつと「まるちゃん」も初めてのオフィス出勤のため、少々緊張し“猫”をかぶっていたようです。わが家に来た初日は、お互いに距離を測り部屋の空気がなんとも張り詰めた状態、家庭内別居のような状況だったのが懐かしい思い出です(いまでは、すっかり慣れてオフィスでも後を追っかけてきます)。

平日の朝は、担当ソーシャライザーと共に電車でおオフィスに“出勤”し、社内イベントやお客様との打合せ。時には社長のお供として「まるちゃん」も御前会議に出席。オフィス内をあちこちお散歩して回り、休み時間には何人もの社員が「まるちゃん」に癒されに訪れ、エレベーターホールでもみみなを和ませました。オフィスワークも立派にこなしてくれました。休日には、各々の自宅でもゆとりゆたかに遊び、公園やカフェなどに連れて行き、リフレッシュ。それぞれの家庭で、バランスの良い食事やおやつを堪能したのか、最近、少し大きくなったような気も。当初は、担当ソーシャライザーであれこれ心配しましたが、社内やビル管理会社を含めた多くの方々の支援や理解により和やかな環境で社会化に協力できたことは、日本GEという会社としても個人としても貴重な体験となりました。今後も、聴導犬育成支援を個人として、企業としてもサポートできればと思います。



日本GE 熊谷社長に感謝!

「らんの」な事情 No.6: 日本聴導犬協会の女犬管理職率は100%?

みな様にこの場をおかりしてお話をさせていただきましたこと、心より幸せに存じます。「ラン」、「乱」、「らん」と、本名「らん」です。安倍首相は、「社会のあらゆる分野で2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%以上とする」という大きな目標をかかげています。しかし、2011年、企業の課長以上や管理的公務員を指す『管理的職業従事者』に占める女性比率は、アメリカ43.1%、フランス39.4%に比べて日本は11.1%とか。

ここ日本聴導犬協会では、1996年、前身であるボランティア団体として設立以来、代々、協会犬のリーダーはレディ。初代はクロ姉さん。黒ラブ+甲斐犬 MIX。広報スタッフとして一世を風びし、デモンストレーションでは、「スタッフは来なくて良いのでクロちゃんだけ来てもらえませんか」と声もあがるほど。デモンストレーション会場の体育館の入り口から入ってきた野球ボールを追って運動場へ消えたり、時には、会場の子どもベンチをくわえてうれしそうに放り投げ回る姿に、歓声が上がります。子供たちが興奮してしまえば、ぐちゃぐちゃになり、楽しんでいたみたい。でも、初対面の方でも、すぐにキーパーソンを見極め、スタッフに頼りにされ、かなり協会に貢献してきただけ。任期は長く続き、2010年まで。

2代目は、いわずと知れた、わたくし、「らん」、女の子です。日本が目指す「女性登用」は、ここ日本聴導犬協会にあることは、今や常識です。くら姉さんの引退から少しブランクがあり、就任は2013年頃。特別に任命書や辞令があったわけでは無いのですが、協会スタッフの何人かからは、協会犬のリーダーと思われています。人間の社会同様に犬の社会も「やさしい男の子と、強い女の子が増えています」、聴導犬や

介助犬の候補犬として選

ばれ、thinking Dogとして育てられた子たちの代表犬です。体力ではなく、知力、そう、知的でなくてはいけません。体重4kg~35kgの協会候補犬にあつては、要ダイエットの私とはいえ、12kgのピーグル MIX はやや小柄。一代目とは違い、私の戦略は、日頃から仲間をよく観察して、コミュニケーションを細かくとっています。「口うるさい、口の出しすぎ」という声も、よく、耳にしています。「吠えている」と、誤解されることも度々。「仕事は命令されてやるものではなく、自分で工夫、探し出すもの」、「ごほうびは、もらうものではなく、報酬として獲得するもの」と、自分で自発的に仕事し、日々、後進の育成に励んでいます。

協会代表犬としては、仲間のQOLや将来を考えることは重要な役割です。候補犬として選ばれた子たちですが、「家庭犬、ペットになりたい!」、今後の進路を希望している子たちもいます。人間同様、十人十色。気の弱い子や強い子、口数の多い子、仲間と交われない子、アレルギーマの子、世話に時間が必要なお子、小型犬から大型犬まで犬種も様々。相性と環境が合えば、きつよ子たちです。「生涯一緒に生活、欠点までも受け入れてくださるみな様」との出会いをお待ちしています。(P7「新・家族」募集中を参照ください)

▼鼻をかきやす Thinking Dog らん



■Since1997 Pro-Dog School は日本聴導犬協会の地域社会貢献活動です ■ Pro-Dog School で '別犬' になったエルフと、日々努力を重ねています

Pro-Dog School (2013年受講) インストラクター 下村 歩隆 & 幾久恵



お兄ちゃん... は、早く

今まで飼った動物といえればウサギくらいで、小型犬はおろか犬を飼ったことすらありませんでした。私の大型犬への憧れからゴールデンレトリバーのエルフを家族に迎え入れました。賢い犬種なのでお手だったり、マテ、座れ等の基本はほぼ教えずに覚えてくれました。しかし気質なのか本能なのか、拾い食いや散歩での引っぱり張りが治らず素人の躰を繰り返していました。どうやっても改善の様子はなく困り果てていたある日、母がスーパーパーのチラシで Pro-Dog(愛犬家) School を知り、藁にもすがすがる気持ちで迷わず申し込みました。

Pro-Dog School 当日、車を降りるとエルフはすぐに人や犬に吠えかかってしまいました。分けては D クラス(社会性無し)でした。他の犬と接する機会がなかったのもあり、仲良くするどころか、気をつけないと喧嘩になってしまいました。肝心な講座はというと「リードの種類、持ち方、歩き方、ご褒美のタイミングや量」など初歩の初歩から教えていただきました。また、エルフが少しでも他の犬に慣れて欲しい。そんな思いで今年度は愛犬のパフォーマンスを習う「ナイススクール」も受講させていただきました。他の芸達者な愛犬たちと異なり、エルフには特に見せられるような芸がなくて焦っていましたが、家で何気なくやっていた鼻パク(鼻の上にご褒美を乗せて自分でキャッチして食べる)が、協会のスタッフさんに大好評で、本番では周りに見えやすくするためにミニマートで鼻パクを披露しました。このような機会がほぼ初めてのエルフでしたが、前で緊張し、成功して大拍手をもらって(家では疲れすぎてぐったりしてましたが) Pro-Dog School やナイトスクールを通してまるで別の犬になったように成長を実感しています。今では Pro-Dog School の愛犬さんとは仲良く穏やかに過ごせるようになり大変嬉しく感じます。犬も飼い主もまだまだな部分が多すぎてとても人に教えられるような立場ではないですが、さらに高みを目指し Pro-Dog School でのインストラクターとして他の愛犬家のご指導をしていきます。エルフとも

ソージャライザー通信

学生時代にTVで見た「聴導犬しん君」 その後輩たちのお勉強に『犬のようちえん』にも通園！

ソージャライザー 山田舞子

私とけん君、真つ黒のワンちゃんの写真うつりが悪くて悩んでいます…(苦笑)



日本聴導犬協会との出会いは、学生時代にテレビでたまたま拝見した「しん君」のドキュメンタリーでした。しん君が、愛犬のミック(シーズーミックスのオス)と似ていたので、思わず夢中になりました。保護犬を聴導犬として訓練し救済システム、そしてしん君が訓練に一生懸命向き合う姿に感動をし、何度かインターネットからの募金をさせてもらっていました。

今年の3月にミックが17歳と7ヶ月で天国に旅立ちました。私が10歳のときに飼った初めての犬で、一人っ子の私にとっては本当に弟のような存在でした。特に、息子以上に可愛がっていた母の落ち込みは激しく「もう二度と犬は飼わない」と、こちらが見ていると心配になる程でした。

葬儀が終わわり自宅に戻ったときに、ふと日本聴導犬協会のことを思い出し、フードの寄付ができることを知りました。高齢でごはんを食べなくなっていたので、東京中のペットショップを駆け回り、色々なフードを買っていたのですが、封も切っていないものが多数残っていました。「日本聴導犬協会のわんちゃん達に食べてもらったら、ミックも喜ぶよね」。すぐにフードを宮田村にお送りしました。有馬会長にメールをお送りしたところ、温かい言

葉を頂き、ソージャライザーになることを考え始めました。49日過ぎて、宮田村にもお邪魔しました。ソージャライザーになることを即決し、やがて「おおちゃん」がやってきました。おおちゃんと4週間過ごした後、しよ君に交代です。日本聴導犬協会を支援している「犬のようちえん」が近くの白金にあり、母はしよちゃんと通園することになりました。通園当初はシャイだったしよちゃんが「犬のようちえん」で、他の園犬(児?)たちと触れ合っていくうちに、みるみるうちに精神的に成長していくのも興味深かったことです。

今、自宅にはけんちゃんがいいます。けんちゃんも協会の支援者である陳建一さんの「建」の字を頂戴した子です。社会化を担当した子は、まだ3頭目ですが、1頭1頭、みんな違う！と毎日楽しい日々を送っています。

当たり前のことなのですが、1頭しか飼ったことのない私たちににとっては新鮮な驚きです。さみしがり屋さんだけでなく、底抜けに明るいおお君、警戒心が強く何事も慎重に考えながら行動するしよ君、穏やかで愛情深いけん君、みんな我が家の大事な家族です。どこまでお役に立てるかはわかりませんが、私たちがやり方で、聴導犬の育成・普及のお手伝いができたら良いなと思っております。



久しぶりに再会したしよ君と母。立派になって泣きそうになりました！

候補犬の育て親大募集 長野&東京&大阪いづれかに、月1度来られる方。お手伝いください！

日本聴導犬協会の候補犬は、ほとんどが保護犬。聴導犬や介助犬の候補となる子たちを愛情豊かに育てるソージャライザー(候補犬育てのボランティア)を随時、募集しています。候補犬の預り期間は2〜4ヶ月間。※何頭も継続できるご家庭に限ります。

◆条件：

- ① 月一度のピーククラスに、本部(長野県宮田村)か、事務所(東京都八王子、または、兵庫県芦屋)のいずれかまで子犬とお勉強に來られる方
- ② 留守がちでないご家庭。子犬を一人きりにする時間が少ないご家庭
- ③ ご家族構成は、問いません
- ④ 室内で、愛情深く育てくださるご家庭
- ⑤ 叱らない、たたかぬを実践できる、愛情深いご家庭

※フード代、定期的な医療費は協会負担ですが、①のピーククラスの旅費は、自己負担になります。

◆ソージャライザーへのプロセス
書類のご記入→ご家族との面談(宮田・八王子・大阪・芦屋のいずれか)→自宅チェック→決定



▼色々な場所でピーククラス(社会化)実施: X'masパーティ、1泊お泊り、東京や長野での散策、レストラン同伴等

ソージャライザーや「新・家族」(犬の里親)等のボランティアのお問合せは：
☎ : 0265-85-4615、FAX:0265-85-5088、メール : inf@hearingdog.or.jp

候補犬のうち、聴導犬・介助犬よりも家庭犬向きと判断された子たちの近況報告



新・家族通信



嬉しい・嬉しい・嬉しい・元気な8人目の家族は、すず君です

熊原家一同

「僕、幸せいっぱいです！」



我が家は昨年春、高齢の両親と同居する為引越し、7人家族となりました。田んぼや畑の中の農家のような作りの昔の民家です。

家族が増え賑やかにするはずだったのですが、のどかな日々は少し寂しくも感じられました。

「犬がいいたらいいね」が始まりました。そして、日本聴導犬協会のホームページの新家族の候補犬紹介で川上犬mix「すず君」に一目惚れました。

2014年末、協会スタッフと家族との面接後にマッチング(相性チェック)としてすず君が我が家に来ました。事前説明のように最初はなつかず、何にでも吠えました。

協会からも心配して幾度か「大丈夫ですか？」の電話がありました。我が家でも「無理かもしれない」と何度も心が折れそうになりました。そんな中、すず君がお腹をこわし、スタッフから「ストレスではないですか？ 少し様子をみましょうか」の助言で、すず君を協会にいったん戻すことになりました。協会から我が家へと環境が変わり、本当の意味で一番強くストレスを感じていたのは、すず君だったんだと気づきました。みんなまで痛切に反省。すず君のいない数日間がなんて寂しく長い日々だった事か…。

お腹が治り、我が家に戻ったすず君は玄関に入るなり「わお〜っ」と、まるでライオンのような大きな声で遠吠えを

しました。すると、家族全員が我先に「すず君だ〜」と奥の部屋や2階から全力で駆け寄り、あつという間に玄関に勢ぞろいしました。「遠吠えひとつで、家族全員集めちゃうなんてすごい」と、みんなで笑いました。この時がたぶん、すず君が我が家の家族の一員になってくれた瞬間なのかなと、後々感じました。何か特別な事をした訳ではありません。徐々にお互いが慣れていき家が楽しく賑やかになる幸せを少しずつ実感しました。今では、すず君の部屋が家族の憩いの場となり、テレビを見たりご飯を食べたり、笑ったり、ちよつと喧嘩をしたり…それと何故か、お母さんと子供たちが、すず君と同じ布団で毎日枕を並べて寝るようになりました。すず君は、じいちゃんばあちゃんとも仲良しです。朝夕の楽しい散歩では、近所の柴犬の「はなちゃん」「しろちゃん」とお友達になりました。



家族みんなで初詣

こうして、ちよつと寂しい3世代7人家族だった我が家に、嬉しい嬉しいうれやかな8人目の家族ができたのです。そして彼はいつも、みんなの真ん中にいます。家族になってくれたすず君。いつも温かくフォローして下さる協会の皆様。そして、毎日訪れる幸せな日々心から感謝しています。

補助犬よりも、家庭犬向きの子たちの“新・家族”募集中！



まこと君(♂)
♣ 1才
♣ トイプードル



たんたん君(♂)
♣ 3才
♣ 雑種



たろう君(♂)
♣ 3才
♣ シーズーMix



こぶじ君(♂)
♣ 2才
♣ 甲斐犬 Mix



たつ君(♂)
♣ 2才
♣ ゴールデンドウードル

ペット犬をお探しのご家庭に！ 補助犬よりも家庭犬向いている子たち。「吠え」や「怖がり」など欠点までも愛情で包み込んでくださる「新しいご家族」＝ “新・家族” を募集しています

★新・家族のプロセス

- 第1次審査: 申込書記入
- 第2次審査: 面接およびご家庭訪問
- 第3次審査: ご家族と犬とのお見合い
- 第4次審査: 1ヶ月間のマッチング期間
- 最終審査: 家族と犬の“しあわせ度”チェック

◆新家族の主な条件: ・家の中で飼ってくださる方

・犬を1人きりにする時間が少ない方

・吠えや、こわがり等、その子の欠点でも、家族として愛情をもって、受入れられる方

・聴導犬・介助犬の無料訓練、無料貸与、無料アタケーアの活動の為に、これまでにかかった去勢・避妊手術や、ワクチン代等の費用として5万円以上のご支援に賛同して下さる方





たくさんのおみなさまのご支援に支えられた 20年間



▲延べ人数370(補助犬パレードは156)名様のご参加。当事者主催の2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」in 松本 大成功でした！



実行委員会の打合せ会議



理解
社会の
制度補助



▲全員参加のワークショップで意見を反映。分科会は①盲導犬ユーザー— ②聴導犬と介助犬ユーザー— ③育成団体 ④一般向けの4部屋に実施。



感謝！ 29号新聞発送／候補犬社会化。日本GEノーボン前社長と熊谷社長と、まるちゃん↑/早瀬久美(中央↑)様「ゆずり葉」憲太郎監督ご来訪

やさしさをいただける光栄と感謝



▲ 介助犬ユーザーもご挨拶。20年ちかいご支援を頂戴する「シーガル倶楽部チャリティー食事会」。フレンチの巨匠に感謝！



藤野真紀子先生のご高配で↑安部昭恵首相夫人に表敬訪問。スポーツ↑↓オプハートで高橋尚子選手と。↑宮田村長表敬訪問



▲宮下財務副大臣と「全日本聴導犬ユーザーの会」岸本会長。 おかげさまで、介助犬&聴導犬認定試験合格↑



▲Pro-Dog School 恒例愛犬連れ旅行で気球こい！。訪問犬コースで、ペットの子がカタカ修得。 ↑協会の子は、どの子も元気です。

各地のボランティア広報支部長から応援メッセージ

「感動・感動！」で、協会支援は17年間に

日本聴導犬協会 大阪市広報支部長 御田えり子

日本聴導犬協会と私の出会いは、平成10年1月にさかのぼります。17年以上のお付き合いになります。

当時、主人(歯科医)が在籍していた大阪阿倍野ロータリークラブ(以下RC)の創立20周年記念事業を思案していた時でした。政府広報誌『フォト』の「障害者を支えるアシスタンスドッグ」という記事に、タカちゃん(有馬さんの膝やベッドに寝たスタッフの体にタッチする写真が掲載されていました。主人が協会に聴導犬について問い合わせると、近々に大阪での打合せがあるとのこと、その前日に有馬さん、MAYUMIさん、そしてPR犬として元保護犬だったタカ、クロ、ケンタの3頭と、手作りのデモンストレーション用品を、ボランティアさん所有の車にギューギューに詰め込んで大阪へと来てくれました。

阿倍野ビルにある当診療所の控え室での大阪阿倍野RC 会員さん向けのデモンストレーションを経て、2頭分の育成資金が寄付される運びとなりました。この育成資金がいかせるように、大阪市阿倍野区にも働きかけ区報『広報あべ』で聴導犬ユウザー募集記事の掲載を重ね、いくつかの難関をくぐり抜け「大阪初」の聴導犬「みかん」が誕生しました。テレビや新聞の取材や撮影に当診療所を提供し、お手伝いしているうちに、私も聴導犬や障がいのある方の勉強をさせて頂きました。

当時、盲導犬は認知されていましたが聴導犬はまだ認知度が低く、先ずは自分の身近な友人達に聴導犬の素晴らしさを話すうち、次第に他のRCや学校のPTA向けに講演会やデモンストレーション、募金箱の設置、署名活動等も行いました。これまでの広報活動の中で、何度か自分の曖昧な考えによる言動が誤解を招くこともあり、情報を正確に伝え理解して頂くことが何より重要だと痛感しました。日本聴導犬協会スタッフの献身的な姿にも毎回感服しておりますが、ユウザーさん達が聴導犬を得ることにより自信をもってご自分の体験を話され、犬との固い信頼関係が築かれてゆく様に本当に感動です。

協会犬達は訓練したこと以外でも、ユウザーさんが必要とすることを常に考え行動しているのも素晴らしいと思います。また、聴導犬にならなかつた犬達も皆、それぞれが個性的でスタッフやオーナーチャライザーさんの深い愛情を受けて育ったことが良くわかります。

私が17年間もボランティアを続けてこられたのも、協会の理念が終始一貫ゆらぐ事なく、障がい者や犬達の福祉の為に日々研究、努力されている所だと思います。日本聴導犬協会のみならず、これからも応援してまいります。



◆ボランティアPR：日本聴導犬協会ではご自身の地元で、広報活動として、公的施設への広報ツールの設置や聴導犬おうえん自販機の普及、補助犬に関する講演会(交通費と謝礼が必要)の主催などの協力を頂いております。◆榎田様のようないま報支部長は、現在、全国8カ所にいらつしやいます。もともとご支援者様です。その中で日本聴導犬協会の使命や運営方針への共感の元に、ボランティアPRのみならず共に各地での補助犬普及をしていただくこととなります。

参加されませんか？ 協会の地域社会貢献としての愛犬家教室

日本聴導犬協会の多種多様な犬種への訓練ノウハウを、地域社会貢献として提供させて頂いていただいています

① 2015年3月～『Pro-Dog(愛犬家)School(教室)』講義1回実践4回(受講料：1万円)

※聴覚障がいの方向けに手話や筆記でのご指導もできます。

② Pro-Dog School 修了生への特典：2015年5月～ 新規飼い犬登録者(1回のみ)。Pro-Dog School 受講修了者は何回でも参加無料。毎月第1土曜日「どこにでも一緒にいける愛犬をめざす

無料・犬のしつけ教室」

③ 随時：愛犬の問題行動 個人カウンセリング(1時間程度)

カウンセリング料＝協会施設：3000円 ご自宅：5000円(交通費別途)



応募お待ちします！ 2016年4月入学の第8期生(奨学金を授与予定) 聴導犬と介助犬訓練の基礎として「障がい」「福祉」を学ぶ

日本聴導犬・介助犬訓練士学院 コーディネーター 矢澤昌子

2009年2月に開校した「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」も来年、第8期生をお迎えします。聴導犬・介助犬訓練士は補助犬訓練の修得だけでなく「ユーザーとなる身体障がいの方との共感に基づく犬訓練と指導。ユーザーの生活エリアでの環境整備。ご支援者様との応対」も学びます。保護犬からの聴導犬育成という難しくも「動物福祉」として意義ある育犬方法も得難い内容です。

2016年4月入学予定の日本聴導犬・介助犬訓練士学院の第8期生には、ご支援者からの「後進の育成」のためというご意向で、奨学金が授与されることになりました。多くのやる気のある方々の入学をお待ちしています。入学生にきっかけをお尋ねすると「子供の頃から抱いていた夢」が多く、様々な社会経験を経て夢を叶えるチャレンジャーです。みなさま高い志を持ち、住み慣れた環境から離れ、学院生活に挑戦されます。入学後、前期では日本聴導犬協会訓練スタッフと共にOJTで、訓練犬の健康維持のための「施設の掃除」から「犬用品の整頓」、「保健所等での候補犬の選び方」「訓練実技」などを学びます。7月の夏休みを経て後期は座学が増えます。『獣医学、理学療法、作業療法、障がい福祉、補助犬ユーザー心理のほか、犬の漢方治療』など。日本を代表する講師陣による講義を受けすぐにレポート提出です。前期に学んだ技能を生かし、講演会やデモンストレーションも学院生が行うようになります。「座って授業を受ける」学校とは異なり、1年間で聴導犬・介助犬の准訓練士資格が取得できる凝縮した生活となります。入学からの時間経過とともにユーザーさんにとって頼りになる人材へと成長されます。

協会にご来訪されるお客様へのご挨拶やご接待、講演会や会議、ご支援者様との打合せなど、犬の訓練とはかけ離れた場面にも同席して頂き、時には礼儀作法まで

もご指導させて頂きます。みなさまから「礼節をわきまえた学院生さんたち」と高い評価を頂きます。

学院での聴導犬・介助犬の訓練は「できた時にもものごとく誉め、できない時はできるまで待つ」という特殊な方法も、訓練馴れしている方には難しく、逆に命令しがちです。「命令しない」訓練についても、日々の訓練で自然に身につけられ、協会犬達の成長に関わる役割も実感して頂きながら、徐々に、ユーザー訓練にも同行して頂きます。特に、聴覚障がいのある方に訓練や補助犬に関わる権利と義務。聴導犬同伴の際の社会的マナーを習得して頂くには、各々のユーザー候補者に合わせた手話や筆談を交えた意志の疎通が必要です。

肢体障がいの方の身体能力や体調にも、繊細に対応することは固定観念や先入観を持たず、柔軟さが重要です。常にユーザーの立場で訓練を考えます。

毎回、新規のユーザー訓練では細かなコミュニケーションをとりながら信頼関係を築いていく貴重な経験となります。それらのプロセスを経て、希望者様と候補犬が国家試験にあたる「補助犬認定試験」に合格され、補助犬ユーザーと認定補助犬として社会参加をされる場面に携われますのは、人生においても掛け替えのない「感動」につながるはずです。

聴導犬・介助犬の普及がなかなか進まない現状の中、聴導犬・介助犬訓練士を目指す、卒業後は協会スタッフとして貢献できる第8期入学生を心よりお待ちしております。デモンストレーションでも笑顔と褒めが大切



募集中！ 第8期生には奨学金が授与予定 日本聴導犬・介助犬訓練士学院
18歳以上の方なら、年齢不問・訓練経験不問、試験あり

学院ホームページ <http://www.hozyokengakuin.jp>
学生ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kunrensi-gakusei>
有属もとブログ http://blog.goo.ne.jp/moto_taka **ご参考にしてください**

◆試験あり。18歳以上の方なら、年齢不問。訓練経験不問 ◆在学期間：1年間。随時入学可 ◆入学金：10万円 ◆授業料 61万円(用具代1万円含) ◆自費：寮費、生活費、国内外の研修のための旅費。外国人講師による特別講義受講料。訓練のためのごほうび代など ◆卒業生には日本聴導犬協会授与の「聴導犬・介助犬の准訓練士」資格 ◆就職：適性のある卒業生は何名でもスタッフとして採用 ◆日本聴導犬協会は日本初（2006年と2012年）で、唯一 ADI(世界160育成団体加盟。国際アシスタンス・ドッグ協会)の国際認定試験(世界22番目)に合格した補助犬育成団体です。副学院長有馬もとは、日本初の英国聴導犬協会から「国際聴導犬インストラクター資格」と ADI「聴導犬・介助犬の国際認定インストラクター資格」を取得 ◆国内外を代表する講師により国際基準を満たす訓練実践や訓練理論を学ぶことができます ◆学院長には、森本尚武(信州大学元学長)が就任。

お問い合わせは：「学院」と明記の上、inf@hearingdog.or.jp または Fax: 0265-85-5088

みなさまのお力添えで、候補犬はスクスク&補助犬は元気で、引退犬もイキキです (2015年5月1日~2015年10月31日まで)

これまでは、ご迷惑がかかる場合がありますが、2014年度からはご了解をいただいたご支援者様、企業および団体様のご紹介させていただきました。紙面の関係上、ライオンズクラブ様はLC、ロータリークラブ様はRCと略し、順不同、敬称および(株)などは省略させていただきます。



じん&えじこ

〈自動払込者数〉 48名のみなさま (※郵便局からの定期的な自動お振込み)

〈企業・団体サポーター〉 HARIO(社、福)日本聴導犬協会を支援する会

〈ご寄付を頂きました皆様〉 黒柳徹子、八戸LC、岐阜県耳鼻咽喉科医会、奈良県中央・難聴者協会女性部、葭葉、秋定法律事務所、高野榮子、LC 国際協会 334A 地区 8 リジョン 15 クラブ、高浜 LC、LC 国際協会 334-A 地区 8R・1Z、刈谷 LC、高橋うらら、ハロー・もん太、連合長野、宗教法人 円応教清水教会 深沢正光、マサコ、しのざき動物病院(東京都)、おがた動物病院、マルギンインターナショナル、柏心寺 安静達祐、セントラルインターナショナル、クレオン、みどり動物病院、アシュラン、SI 大阪 南登代子、長谷川妙子、中田ボブ、長野県電力総連女性委員会、よもぎ&ルドルフ、兵庫県プロフェッショナルダンス協会、木津川市木津西部民生児童委員協議会、金井みやや子、村田玉美、金巻とも子、瑠璃光寺 關恒明、中沢正子、日吉恵子、ぼんたファミリー、三橋央隆、丸山里香、大西庸之りさ子、小松原智美、坂口九兵衛、佐合祐美子、猪股奈緒美、浪川光代、小川幸司、正田良次、松本秀子、岡野安雅、西林洋子、埜村昌子、伊藤るうちゃん、高梨陽子、ケンのかちゃん、石川隆史、横川清志、稲垣正久、原田薫、ピュア動物病院、丸山妙子、氷川彰一、平尾秀夫、クッキー、金子ゆめ、滝沢ナナ、竹本佳徳、小林コロシ、百瀬利行、おおさきみか、四ノ宮英紀、亀山ちやちや、大夢、神島満子、清水章、鈴木大和、夏目百合子、上牧町手話サークルたんぽぽ、琴・ムー、大菅雅宏、峯尾マイ、伴康俊、栗原りらん、松本大、渡辺和子、IPC ペットカレッジ、NPC 高等学院名古屋校、片岡恵美子、有馬もと、MAYUMI

〈協会募金箱のご送金のご協力を頂きました皆様〉 棚橋耳鼻咽喉科、県立広島大学コミュニケーション障害学 科、長野大学付属図書館、平野遊技業組合、ペットのあしあと、てくてく、アリアン駒ヶ根、アルプス中央信用金庫飯島支店、ベルシャイン伊北店、写真の店山、漂島庵、サークル K 伊那上の原店、菊香堂、藤外伊科、A コープ東春近店、ニシサワ宮田食彩館、ホテルニューオーターニ大阪、メガネの洋光、安城南 LC、美容室ベルマン、さぎ山クリニック、釜利谷ベトナムクリニック、霞町蕎麦処ますた屋、フレッシユ・マツヤ、ショコトバー ジーノ、中軽井沢郵便局、グッドドッグ、ルナ動物病院、国际旅行社サービス、魔女の家、チャンピオンカレー、たかはし動物病院、セブン-イレブン東部滋野店、スマイルどろぶつ病院、あるば動物病院、ピュア動物病院、砂川犬と猫の病院、トマティスリスニングセンター東京、A2P ジャパン、クワ DOG&CAT CLINIC、美容室ペル、セレモ、鳥羽ショピビングクラブ、あきやま動物病院、美容室ボナミ、パン工房トムソーヤ、かわたクリニック、まるい園茶舗、藤平耳鼻咽喉科、カインズ名古屋 びなと店 3F しつけ教室、佐々木あすなる整骨院、満油商事、歌里坊 篠山店、松原いんこう科医院、アトリエ RASISA、ペットクラブメルヘン、わかば台動物病院、ペンション南季の灯、AC プラザ刈谷動物病院市川橋病院、萬徳院釈迦寺エンジェルペット霊園、中村文具店、ベニーカリーハウス表、さわもと犬猫病院、

〈サントリコーロボレポートビジネス 日本聴導犬協会おうえん自販機〉

長野県岡谷東高等学校生徒会、さいき犬猫病院、みかわ動物病院、シュエーマー ト伊那店、SMBC コミュニティセンター大阪、アイリス動物病院、さくら動物病院、SMBC コミュニティセンター福岡、SMBC コミュニティセンターアイナンス 東陽町、モビット、三井住友海上 CNT センタービル IF 禁煙所前、J-SMBC コミュニティセンターマリアナンス本社、おかしら、あらかし動物病院、いちい、ラッキーレイカ、森本耳鼻咽喉科医院、ペットホテル マウナロア、日本 GE、日本 GE リアル・エステート、GE センシング月馬、GE センシング晴海

〈物品・犬洋服・手作りコート・ダウナー・バザー用品・文具・スタンプ用食品・猫用もろもろ〉 アニマルプラザ、レナ、岩垂はな、そら、連合上伊那地域協議会、小沼あんこ、竹谷祐彰、具志堅美恵子、大谷こま、根城秀峰、田辺こじろう、高野京子、中村きみ子、平沼齒科医院、日下早苗、ネロ、BIG サチ、新倉浩一、すみれ、山田ミック、ピーちゃん、アトリエ RASISA、福島小雄、木下宏昭、喜代美、犬飼大和、五十嵐美和、葵、さくら、勝又美紀、八尾もも、京ハウス、関戸扶美子、神田見、加藤サラダ、中村主計・明美、坂井多恵子、中村優子、樋本美恵子、高野京子、チーとフー、石黒幸美



みんな笑顔で(わん&だいまけ)

■ご助言および商品をご提供頂きましたご支援者さま ■

(敬称略、順不同) 補助犬ユーザー & 協会スタッフ、協会犬一同、心よりお礼を申し上げます
 〈物品支援: とても助かっています〉日本ヒルズゴルフから優れた栄養サプリメントの「犬用フード」。スマイルから施設内の衛生管理「除菌アルコール」。ワンフーから高品質「犬用&猫用フード」「ごほうび」。花王から「ビオレ」などの各種洗剤。地域社会貢献活動に、「天然素材のご褒美」をみちのくファームから。「しつけ用トリート」をデビフペット。サンテックオアプトから便利なウンチ取りポイ太くん」をご提供いただきました。深く感謝を申し上げます。

〈相談及びご支援: 心から御礼を申し上げます〉 柴内裕子獣医師 赤坂動物病院のスタッフのみなさま、キャリアIT 関係管理」サービス、せいしん特許法律事務所、小林会計事務所、スワテック建設、Dog Garden BABY BOO

講演会・デモンストラーション、パブリシティ

取材&パブリシティ

2015年5月～2015年10月まで(敬称略、順不同)

◆5月:伊那ケープTV:ご来所デモ取材/会長有馬執筆『社会福祉研究』第122号「知名度が低く、普及が進みにくい聴導犬をめぐる問題点と改善策」/静岡新聞 メス犬「こころ」静岡から長野の協会へ聴導犬目指し、きょう巣立ち/剣路新聞巻論 聴導犬協会の発展願う 大災害への備えに向けて/社会福祉協議会だより第131号「聴導犬」の候補犬育てる ボランティア(ノーシャライザー)さん募集/松本市民タイムス「おもてなし」補助犬も松本で宿泊施設研修会フロント担当ら30人参加

◆6月:タウン情報 6月松本で「全国身体障害者ほじょ犬サミット」課題出し解決探る/朝日新聞「厚生労働省関東信越厚生局長所管 日本聴導犬協会 東京事務所 聴導犬・介助犬の無料貸与・無料アフターケア」/信濃毎日新聞「補助犬への理解深めて 松本でサミット 課題話し合う」/中日伊那ホームニュース「日本聴導犬協会 家族の一員として継続的な訓練を 愛犬しつけ教室 毎月第一土曜開催中」/2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」



大阪読売TV取材

の水口様と聴導犬ざんちゃんやんの生活」/長野県動物愛護会松塩筑支部発行「人どうぶつ」編集者取材:「本部見学会&ほじょ犬なんでも相談室にて」/愛知医療学院短期大学平成26年度ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI(研究成果の社会還元・普及事業)実施報告書【プログラム名】補助犬と共にリハビリお助け隊~障害適応の作業療法プログラム研究~

◆8月:ラジオ出演:FM軽井沢「軽井沢チャリティバザー」ご支援のお願い」/「テスネット」:東遊商の社会貢献活動「日本聴導犬協会」の活動/会長有馬執筆「手話通訳問題研究」133「福祉最前線」もとも周知されていない聴導犬普及は、当事者(聴導犬ユーザー)の結集力で」

◆9月:ラジオ出演:沖繩ラジオ「FMLレキオ 80.6」聴覚障がい者で漫画家、聴導犬ユーザー上原さん 日本聴導犬協会の活動について/信濃毎日新聞「聴導犬協会に連合長野寄付 宮田余生過ぐす犬の医療に」/長野日報「波状線」に掲載「連合長野」ふれ愛資金カンパから寄付」/信濃毎日新聞「起きて聴導犬に拍手 小諸で愛護フェス」/雑誌「NILE」

◆10月:川崎市ケープTV「イツココミュニケーションズ」川崎市の北身館における聴導犬デモ(日本GE&手話グループのぞみ)「おかえり」神奈川にて放映(10/29)『Toyusho(トューション)』vol.71 東遊商の社会貢献活動「日本聴導犬協会」の活動 聴導犬の育成を通し、人と動物が幸せに暮らせる社会の実現を目指す/第34回 きたもと福祉まつり報告書で聴導犬ユーザー紹介

デモンストラーション&講演会

2015年5月～2015年10月まで(敬称略、順不同)

※省略:LC=ライオンズクラブ、RC=ロータリークラブ。聴障協=聴覚障害者協会。民児協=民生児童委員協議会。社協=社会福祉協議会。ECO:大阪ECO動物海洋専門学校。◎で表示:本部へのご来所デモ。

◆5月:◎本部見学会&聴導犬・介助犬なんでも相談室(以下、相談室)/第26回東部空手道選手権大会募金活動(神奈川)/◎南部教頭会/国際ソロプチミスト札幌ノイエ第

23回チャリティインターコンサート&ミニバザー(北海道)/◎日本労働組合総連合会長野県連合会/ECO 有馬授業&相談室(大阪)/◎長野県電力総連女性委員会/◎葛城市当麻地区民児協/◎木津川市木津西部民児協/◎アブリイ新入社員研修/◎NHK カルチャー信州社会見学/◎ブランク・ロック・ジャパン有志&鐘の鳴る丘少年の家/第16回松本手まり時計まつり(長野)

◆6月:◎八八民児協/◎本部相談室/◎名古屋市昭和区民生委員連盟/名古屋学院大学有馬講義(愛知)/第63回全国ろうあ者大会inぐんま(群馬)/◎東京都板橋区桜川地区民児協/三郷市立北中学校PTA講演会(埼玉)/◎ナゴノ福祉歯科医療専門学校/社会人権教育研修会(長野)/◎長浜第一地区民児協/ECO 有馬授業&相談室(大阪)/◎湖西市日本赤十字団

◆7月:◎岐阜市社協黒野支部/◎本部相談室/◎松本市立波田中学校社会貢献/ECO 有馬授業&相談室(大阪)/◎三ヶ日赤十字奉仕団/「子ども点字・手話教室」(東京)/◎船方民児協/◎東部民協/NCA 有馬特別講座

◆8月:◎本部相談室/日本 GE ファミリー(東京)/軽井沢カーデニングチャリティバザー(長野)/◎天満床クラブ/GEへルスクエアジャパンオープンオフイス(東京)/プレ日本ろう博覧会(東京)/◎八王子事務所:相談室/アブリイ主催「ShiMiZoo」に聴導犬がきます」(静岡)

◆9月:ドッグトレナーズ協会有馬講義(東京)/◎岐南町障害者福祉協会岐南ブロック大会(秋田)/撰津まるごととまーケット(大阪)/地域社会貢献活動:①駒ヶ根ふれあい祭/きたもと村ふくし祭/③伊那ふれあい広場/④中川ふくし祭/きたもと福祉まつり(埼玉)/第38回総合リハビリテーション研究大会(愛知)/ペット博2015inなごや(愛知)/白河動物愛護フェスティバル(福島)/アブリイ主催「ShiMiZoo」に聴導犬がきます」第2回(静岡)/岐阜県獣医師会 東濃支部動物愛護フェスティバル(岐阜)/動物愛護フェスティバル2015イン小諸(長野)/◎長島町ボランティア連絡協議会/日本臨床獣医学フォーラム年次大会2015(東京)/◎福井法人会/◎桑名市民児協

◆10月:労福協まつり(長野)/◎町田市南第一民児協/◎土岐市曾木町民生所同委員/宮田中学校1学年人権学習(長野)/◎土岐市社協鶴里支部/◎行方市麻生地区民児協/二見西小学校(兵庫)/◎上越市民児協/石川県障害者ふれあいフェスティバル(石川)/◎伊那西小学校6年生/◎下石民生児童委員/◎志村坂上地区民児協/ECO 有馬授業&相談室(大阪)/スポーツ・オブ・ハート2015 協会ブース設置&介助犬・聴導犬ユーザーがモデルとして参加(東京)/中川ふれあい福祉広場(長野)/◎東部地区人権啓発推進協議会・東部町内館長会/川崎市北身館日本 GE&手話サークルのぞみ(神奈川)/◎東大和市民児協/岡谷東部中学校人権教育講演会(長野)/◎上郷地区民児協/◎荒子学区民児協/全大阪ろうあ者文化祭(大阪)/公益社雪谷営業所(東京)/◎所沢市三ヶ島第一民児協



▲ご来所デモ (静岡県湖西市日本赤十字のみな様)

日本聴導犬協会 2015年(2015年4月～11月まで)度の事業報告書 相談28名のうち、認定試験受験予定&訓練および体験継続中が15名

I：聴導犬・介助犬賞与状況 2015年度(2015年11月20日付け)

ご相談者28名うち15名(2015年度認定試験合格2名、受験予定1名、体験及び相談中12名)が進行中

No	ご職業	相談および訓練状況	備考
1	就労	6月面接→土日、休日を利用する特別訓練計画→10月認定試験	2015年度 認定合格
2	専業主婦	介助犬：自宅訓練→社会化訓練中。滞在訓練12月3月予定	2015年度 認定合格
3	専業主婦	2頭目の聴導犬申請→8月東京都面接	2015年度 認定予定
4	ご退職	10月に書類受理→自宅訪問→訓練体験修了→12月訓練開始	2016年度 認定予定
5	手話指導	聴導犬引退→ご家庭に合う候補犬探し	2016年度 認定予定
6	専業主婦	聴導犬引退→ご家庭に合う候補犬探し	2016年度 認定予定
7	ご夫婦	集合住宅→6月体験開始→自宅訪問→2016年滞在訓練予定	2016年度 認定予定
8	ご夫婦	集合住宅→6月体験開始→自宅訪問→2016年滞在訓練予定	2016年度 認定予定
9	専業主婦	2014年10月問合せ→3月自宅訪問→転職→延期	延期
10	専業主婦	介助犬：社会化訓練中→9月体験開始。医療的な診断	訓練体験開始
11	自宅	介助犬：訓練体験を開始する予定	訓練体験開始
12	学生	聴導犬希望のお嬢さんとの面談予定	面談予定
13	パート	聴導犬：愛犬の訓練希望→1度は断念→再度相談予定	再・相談予定
14	専業主婦	聴導犬：愛犬の訓練希望→自宅訪問→7月愛犬・8月本人体験	ペットお手伝い犬
15	専業主婦	聴導犬：相談室での面談予定→延期	延期

※相談者28名の地域(大阪、神奈川、長野、東京、三重、兵庫、岐阜、沖縄)と広域に及ぶ。相談者の方は、主にインターネット情報を元に各地での講演会や「聴導犬・介助犬」に体験に参加されています

II：候補犬：協会所属犬は、合計34頭

(11月20日付け。役割がズブっている子もいます。)

保健所などでの収容頭数低下により全国の動物愛護センター7カ所ならびに良心的な保護団体と繁殖家のみなさまから合計で16カ所から候補犬を譲っていただいております。現在の所属犬34頭の内訳(聴導犬候補犬：15頭(こう、たろう、みみ、ゆう、こまつ、みらい、ぐ、げんき、けん、おね、こりん、ひめ、ふく、しよ、まる)、介助犬候補犬：3頭(でん、こころ、げんき)、デモンストレーション犬：11頭(あき、たいすけ、らん、のぶ、じん、わん、ふじ、でん、さくらこ、こりん、ゆう)、引退犬1頭(まつ)、新家族募集中7頭(やま、まも、たんたん、たろう、まこと、たつ、こぶじ)、新家族決定3頭(えこ、りま、がぶりえる)※候補犬のうちユーザー決定2頭(まる、みみ、しよ)

III：講演会：講演会総数150回以上

途中経過なので確かな数字ができませんが、各地での講演会を始め、(福)日本聴導犬協会「元気いっぱい、聴導犬・介助犬訓練センター」にご来場いただきましたバスツアー(40件以上)を合わせ、11月20日現在で150回以上の講演会とデモンストレーションを行わせていただいております。特に今年が「プレ日本ろう博覧会」や「全難聴・全要研東北ブロック大会(秋田)」そして「スポーツ・オプ・ハート2015」のお招きをいただきました。感激です

IV：教育への寄与：

- ① 訓練士学院第7期生さん、がんばっています。
- ② 学院第8期生には、奨学金が授与されます
- ③ 補助犬に関する授業：日本獣生命科学大、帝京科学大、愛知医療学院短大、大阪 ECO&NCA 専門学校
- ④ 職場体験&研修生の受入れも、積極的に実施

V：『全日本聴導犬ユーザーの会』との協働

- ① 協働：日本聴導犬協会の全国での『聴導犬普及イベント』にメンバー1名は同行
- ② 長野、東京、大阪『聴導犬・介助犬なんでも相談会』でメンバーが希望者の相談を行う
- ③ ユーザーが自主的に地元でのイベントを企画、普及活動を計画。大阪で実施。

VI：インターネットの活用

- ① Facebook「日本聴導犬協会」と「補助犬と応援団」による聴導犬・介助犬の普及活動を実施。
- ② Facebook「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」で入学生募集
- ③ ホームページを更新中。2016年1月にはアツプできます。やっとうです。お待ちしています。

おかげ様で「聴導犬・介助犬用屋外歩行訓練場を車椅子対応に改修する事業」完成

◆ 屋外歩行訓練施設改修 前 ◆



車椅子が沈む歩行訓練場

◆ 屋外歩行訓練施設改修 後 ◆



車椅子対応歩行訓練場



平成27年度日本郵便の年賀寄付のご助成とみな様からのご支援で「聴導犬・介助犬用屋外歩行訓練場(トレーニング・ロード)舗装を車椅子対応に改修する事業」が2015年7月完成いたしました。車椅子での歩行が容易であり、候補犬にとってもクッション性による足への負担と、反射熱の軽減がなされる。介助犬での歩行訓練

に影響されにくい耐候性、透水性も高い舗装資材 GPM 導入が実現できました。ウレタンパースト GPM は、公園などの遊具周り、多目的広場ジョギングコースなどに使用されており、これを幅約3m×長さ約72mの舗装改修工事を行い介助犬希望者のみならず、聴導犬および介助犬の候補犬にとっても大切な歩行訓練や体力作りの場として全天候型で使用できまします。質の高い補助犬の供給を可能とする屋外訓練場の改修工事にご支援を賜りましたことより感謝申し上げます。

第2期屋外訓練場整備計画：目標

日本聴導犬協会として質の高い補助犬の貸与数を増加させるために、ご高齢や肢体障がいの方にとって、安全で利便性に富むアクセスビリティ確保のため下記の2箇所の改修工事が必要と考えています。

1、乗車訓練のため庇設置(施設入口のアクセスビリティ)

施設入口のバリアフリー化：エントランス部分に大きな庇を設けることで、車椅子使用者や聴導犬使用者の中でも、特にご高齢者による聴導犬を伴った車の乗降訓練や歩行訓練を可能とする

2、車椅子や杖使用者のための屋外歩行訓練場の改修

現在の歩行訓練スペースなど屋外訓練場を車椅子対応とし季節や天候に左右されにくく、訓練動線などをその舗装面にデザインできるインターロッキング(歩行訓練用舗装)で改修する。

3、土留(擁壁整備)：屋外訓練施設東斜面の整備

改修工事により、多様化する社会環境に対応できる屋内外での聴導犬・介助犬訓練が容易となり、聴導犬、介助犬の質の向上につながります。

みな様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆ ①駐車場のバリアフリー整備 ◆



屋外訓練施設整備等のための施設準備金 7,829,741円(総数353名)になりました

おかげさまで、353名のあたたかなご支援により、累積で11,459,741円(目標額2000万円)となりました。

念願のメモリアルの落慶と、平成27年3月末に宮田村からの土地購入代の一部として300万円、7月末に念願の屋外訓練整備のウレタンパースト設置費用の一部として63万円(年賀寄付助成450万円)を施設準備金より遣わせて頂きました。今後の工事内容は ①乗車訓練のため庇設置(施設入口のアクセスビリティ)、②車椅子や杖使用者のための屋外歩行訓練場の改修、③土留(擁壁整備)：屋外訓練施設東斜面の整備です。2015年5月1日から2015年10月30日までのご支援、及び、掲載許可をこの期間にご返信頂いた方(敬称略、順不同)をご紹介させていただきます：ふじもとらら、布の工房モリショー、長谷川妙子、榎田えり子、石川康彦・美枝子・なな・かよ、長岡恒存、桑野仁美、ベル、松下正博、森本尚武、水谷敬、土井正典&ハッピー、稲垣史子、片岡恵美子、八戸ライオンズクラブ。ご芳名の掲載確認中の方は次回に掲載。お力添えに心から、心から御礼を申し上げます。



にゃん太通信:最高19歳!「長寿にゃ長寿にゃ」



協会の子は長
生きなんにゃ〜。
ワイの先輩の訓練
猫 Me ちゃんは21
歳で大往生。ワイ
も聴導犬みかんち
ゃんと一緒に1999
年生まれで、16歳
真っ只中にゃ。猫
だけニャニャイ!

日本で初めて航空3社の搭乗試験に合格した「聴導犬
かよ」ちゃんはワイと同じ年。大手術後に引退し、漢方薬
と若犬に説教することでイキイキ暮らしの「まつ君」は15
歳くらい。聴導犬を引退したばかりの「もりちゃん」は13
歳過ぎ。亡くなったとはいえ、ヒルズ社の長寿犬として受
賞されたクロ姉さんは、ほぼ14歳まで現役聴導犬デモ
犬だった。ペットPR犬として活躍した大型犬はなちゃん
は16歳で永眠。もっすごいのは、伊那保健所の収容
犬で、1996年に英国聴導犬協会のCEOトニー・ブラン
ト氏に聴導犬候補として選ばれた柴犬ミックス「もも」ちゃ
んは19歳で今年、虹を渡ったんにゃ。長寿の基本は良
いフード+5〜6種の生野菜+手作りヨーグルト。それに毎
日のエクササイズ。何より、ポランティアさんやスタッフの
愛情。愛情たっぷりです。ええもん食べさせて、ワイは30歳く
らいまでいける? いける!

心から、お礼を申し上げます

2015年3月22日〜2015年10月まで:

<物品内容> 切手 181,496円、書き損じハガキ 4,490枚、商品券 27,500円、
図書カード 12,500円、テレカ 108枚、クオカード 18,300円、収入印紙 400円、
ビール券 5枚、お米ギフト券 12枚、宝くじ 1枚、スクラッチ 1枚 ◇協会犬用:
除菌アルコール、スプレー各種、犬用薬、ペットシーツ、フード、缶詰、おやつ、
犬用アイス、各種洗剤、タオル、バスタオル、毛布、服、首輪、リード、胸輪、レイン
コート、犬用ブーツ、犬用おむつ、マナーパット、保冷バッグ、保存バッグ ◇猫
用品:フード、缶詰 ◇スタッフ用品:お菓子、果物、野菜、食品、調味料、ラップ、ジュー
ス、お酒、お茶、食器、事務用品、バンダナ、ガムテープ、両面テープ、石鹸、
洗濯用洗剤、食器用洗剤、ハンガー、洗濯バサミ、石鹸各種、スポンジ、ブラ
シ、タワシ、タオル、ハンカチ、シーツ、バスマット、ブランケット、ティッシュ、キッチ
ンペーパー、ゴミ袋、はるカイロ、マスク、カクタロギフト、加湿器、洋服、和服、レ
ジャーシート、簡易トイレ、軍手、包帯、たぐさんのバザー用品(着物、時計、雑
貨、衣類)など...あたたかかなご寄付に心より感謝を申し上げます。

ぜひ、送ってください。お願いします

書き損じハガキ、未使用の切手やテレカ、商品券、ビール券、ガソリンスタ
ンドで使える金券、各種プリペイドカード、食器用洗剤、液体の洗濯洗剤、
柔軟剤、洗濯バサミ(大)、ゴム手袋、ハンドソープ、ブリーチ、リステリン(オ
リジナル)、外履き用スリッパ(新品)、中〜大型までの犬服(新品)、犬用コ
ーム(新品)、アイボン AL、布ガムテープ、養生テープ、セロハンテープ、
のり、クリップアイル、マーカー、修正ペン、テープ、4色ボールペン、油性
ペン、リングファイル、ホチキスの針、ポストイット、スティックシユガー、コーヒ
ーフレッシュ、ジップロック、チャック付きアルミ袋、折り畳みラック

書き損じハガキと切手。送ってください!

書き損じハガキ 2枚で協会新聞1通分の通信費になります。
※10,000通新聞を送るのに書き損じハガキ 20,000枚が必要です。ご協力をお願いします。

<ご寄付振込口座:郵便局>

社会福祉法人日本聴導犬協会 00590-1-93275

使途を、運営全般・聴導犬・介助犬・公益・施設準備 のうちで指定ください
クレジットカード寄付もご検討くださいHP: www.hearingdog.or.jp

2016年! 運・勢・根・樹・超! 超!



アニマル・ハート・レスキュー様からの譲渡犬「まる」ちゃん
まれにみる聴導犬候補犬。運命・鈍感・根性は最高

伊那支店

料金別納
郵便

ゆうメール